

# すずむし

NO. 131

May, 1997

倉敷昆虫同好会



重井 博博士 (1924~1996)

## 重井博先生追悼号

倉敷昆虫館の館長で、本会の顧問でもあった重井病院名誉院長重井博先生が、平成8年8月24日(土)午前10時20分、心不全のため入院先の川崎医科大学付属病院で死去され、密葬が8月26日(月)に、病院葬が9月1日(日)にとり行われました。享年72歳でした。謹んでご冥福をお祈りいたします。

## 重井博先生著述目録

1962

倉敷昆虫館の開館にあたって、すずむし、12(3) : 1.  
1961年及び1962年に採集したトンボ10種。すずむし、12(4) : 5.

1963

ムラサキツバメの雌を倉敷で採集。すずむし、13(1) : 7.  
オオヒカゲ天銀山に産す。すずむし、13(1) : 7-8.  
新庄村の昆虫調査報告(その1)。すずむし、13(2) : 1-16. (青野孝昭・小野洋・近藤光宏・林憲一と共に著)

1964

備中産カミキリムシ類採集目録(1961-1963年分)。すずむし、13(4) : 1-4. (林憲一と共に著)

1965

新庄村の昆虫調査報告(その2)。すずむし、14(4) : 1-7. (青野孝昭・小野洋・近藤光宏・林憲一と共に著)  
美作産カミキリムシ類採集目録。すずむし、14(4) : 7-11. (林憲一と共に著)

1966

クビアカモモブトホソカミキリを臥牛山で採集。すずむし、16(1) : 14.  
北八ヶ岳奥蓼科のカミキリ。すずむし、(100) : 32-33.

1968

岡山県のガロアムシについて。すずむし、17(1) : 27-28. (小野洋・青野孝昭・宇野弘之・近藤光宏と共に著)  
岡山文庫(18) 岡山の昆虫。225pp. 日本文教出版、岡山. (安江安宣・青野孝昭・赤枝一弘・宇野弘之・小野洋・近藤光宏・林憲一と共に著)

1970

岡山県大百科事典上巻、1493pp. 同下巻、1462pp. 山陽新聞社、岡山. (共著)

上巻

アオイトトンボ: 28-29, アオカミキリモドキ: 30, アオバアリガタハネカクシ: 34, アカイエカ: 37, アカトンボ: 49, アキアカネ: 54-55, アメンボ: 105, アリジゴク: 109-110, ウスバカゲロウ: 240-241, ウスバキトンボ: 241, ウチワヤンマ: 248, オオキンカメムシ: 319-320, オツネントンボ: 518, オニヤンマ: 522-523, カトリヤンマ: 633, カワトンボ: 697-698, キイトトンボ: 723, キトンボ: 746, ギンヤンマ: 821, グンバイトンボ: 896, コガタアカイエカ: 981, コシアキトンボ: 1003, コフキトンボ: 1033, サナエトンボ: 1107, シオカラトンボ: 1148, ショウジョウトンボ: 1261, シラミ: 1290, セスジイトトンボ: 1388.

下巻

タイリクアカネ：37, タカネトンボ：50-51, チョウトンボ：185, ツノトンボ：212, トンボ：330, ナツアカネ：360, ナニワトンボ：366, ノシメトンボ：463, ノミ：468, ハグロトンボ：487, ハッショウトンボ：509, ハマダラカ：527, ハラビロトンボ：541, ヒトスジシマカ：604, ヒラサナエ：633, ヘビトンボ：727, マイコアカネ：802, マユタテアカネ：847, ミヤマアカネ：928, ミヤマカワトンボ：928-929, ムカシトンボ：948, ムカシヤンマ：951-952, モノサシトンボ：984, ヤブカ：1029-1030, ヨツボシトンボ：1103, ルリボシヤンマ：1135.

岡山県のカミキリムシ すずむし, (105) :1-42, (青野孝昭・宇野弘之・脇本浩と共に著)

1975

マツクイムシ防除のために空散したスミチオンによる昆虫類の直接的被害について, 遺伝, 29 (10) :104-111.  
(宇野弘之・青野孝昭・近藤光宏と共に著)

1976

福山山系のトンボ目, 倉敷の自然 福山山系, 林熊野神社山系, 下津井城山:55-58, 倉敷市企画部, 倉敷.  
蟻蜂山周辺のトンボ, 倉敷の自然 福山山系, 林熊野神社山系, 下津井城山:140, 倉敷市企画部, 倉敷.  
由加山のトンボ目, 倉敷の自然 福山山系, 林熊野神社山系, 下津井城山:207-209, 倉敷市企画部, 倉敷.  
過疎と開発と自然保護—都市における自然保護運動の反省一, 倉敷の自然をまもる会会報, (6) :1.

1978

鴨ヶ辻山系のトンボ目, 倉敷の自然 鴨ヶ辻山系:47-48, 倉敷市衛生局環境部, 倉敷.

1980

竜王山山系のトンボ目, 倉敷の自然 竜王山山系:49-52, 倉敷市衛生局環境部, 倉敷.

1981

おかやまの自然, 263pp, 岡山県環境保健部自然保護課, 岡山. (共著)  
種松山山系のトンボ, 倉敷の自然 種松山山系:47-50, 倉敷市衛生局環境部, 倉敷.

1982

弥高山山系のトンボ, 倉敷の自然 弥高山山系:59-61, 倉敷市衛生局環境部, 倉敷.

1983

酒津八幡山周辺のトンボ, 倉敷の自然—高梁川河川敷—:25-26, 倉敷市衛生局環境部, 倉敷.  
ごあいさつ, 倉敷の自然, (24) :1, 倉敷の自然をまもる会, 倉敷. (会長就任挨拶)

1984

『ホタルの宿は…』倉敷の自然をまもる会が生息調査, 倉敷の自然, (25) :8-9. (近藤光宏と共に著)  
岡山の昆虫, 岡山の自然と文化, (Ⅲ) :95-115, 岡山県郷土文化財団, 岡山.

1985

冬の蝶、倉敷の自然、(26) : 18.  
岡山県立森林公園自然ガイド、106pp. 岡山県林政課編、岡山。(共著)  
釜島探検記倉敷市釜島の生物調査おはえ書、倉敷の自然、(28) : 6-7.  
釜島の昆虫、倉敷の自然、(28) : 10-11. (青野孝昭・近藤光宏と共に著)

1986

ホタル前線北上す、五月二三日・午後八時五三分 岡山県祇園、アヒマ、(162) : 21-22.  
自然観察会(報告)森の神秘・ヒメボタルをみる会、倉敷の自然、(30) : 5.  
〔報告〕昭和61年10月25日倉敷川の生物調査と川下り、倉敷の自然、(32) : 9-11.

1987

マルタンヤンマ *Anaciaeschna martini* SELYS 一倉敷市玉島の柏島で小学生が採集ー、すずむし、(122) : 35-36. 川  
よ湖よ、よみがえり倉敷川と児島湖とー、倉敷の自然、(33) : 4.  
ヒメボタルを発見しませんか、倉敷の自然、(34) : 15.  
下津井の展望タワー地方自治の試金石 倉敷市民の文化性が問われている、倉敷の自然、(35) : 3.

1988

「児島風土記」の販売を終って、倉敷の自然、(36) : 14.  
原色図鑑岡山の昆虫、271pp. 山陽新聞社、岡山。(青野孝昭・小野洋・近藤光宏・脇本浩・織田明文・中村具  
見・山地治・渡辺和夫と共に著)  
まえがき、総括、倉敷川水系自然環境調査報告書倉敷川水系の自然環境に関する研究ー水と緑と歴史を活かした水  
辺空間をめざしてー: 卷頭-9. 倉敷の自然をまもる会、倉敷。  
倉敷川水系の動物Ⅲ. 昆虫類、倉敷川水系自然環境調査報告書倉敷川水系の自然環境に関する研究ー水と緑と歴史  
を活かした水辺空間をめざしてー: 131-155. (青野孝昭・近藤光宏と共に著)  
“藤戸の渡し”のエノキが危ない!! 大切にしよう、歴史的記念物、倉敷の自然、(37) : 3.  
倉敷川水系自然環境調査報告書倉敷川水系の自然環境に関する研究ー水と緑と歴史を活かした水辺空間をめざして  
ー。 倉敷の自然、(37) : 5-14.  
トンボの珍種「マルタンヤンマ」8月14日、倉敷市児島で中学生が採集、倉敷の自然、(37) : 15.  
森の神秘・ヒメボタル遂に倉敷市内で発見!! 倉敷の自然、(37) : 23.  
“藤戸の渡し”的景観について 自然と一体になった歴史的環境を大切にしましょう、倉敷の自然、(38) : 3-5.

1989

湯原湖における昆虫、自然保護基礎調査報告書ー昭和62年度湖沼・湿地地域生物学調査結果ー: 47-57. 岡山県  
環境保健部自然保護課、岡山。(青野孝昭・近藤光宏と共に著)  
山崎見君と近藤光宏先生のこと、倉敷の自然、(39) : 15.  
ふるさとの川倉敷川の整備計画についてーその夢と現実ー、倉敷の自然、(39) : 25-34.  
“酒津八幡山自然公園”設定に関する要望書について、倉敷の自然、(40) : 26-30.  
ゴルフ場の開発に歯止めを 地方行政の試金石岡山県知事の英断を期待、倉敷の自然、(42) : 3-4.  
国立公園由加山地区及び辺縁部の昆虫、倉敷の自然、(42) : 14-16. (近藤光宏・青野孝昭と共に著)  
日本最後の清流四万十川を訪ねて 下流(中村市)から上流(窪川町)まで、倉敷の自然、(42) : 38.

トンボ土国見聞録. 倉敷の自然, (42) : 40-41.

1990

佐伯町田尻大池周辺の昆虫. 岡山県佐伯町田尻大池周辺の自然: 66-88. 岡山県環境保健部自然保護課, 岡山. (青野孝昭・近藤光宏と共に著)

調査にあたって. 倉敷の自然—酒津八幡山周辺地域—; 卷頭. 倉敷市衛生局環境保健部, 倉敷.

酒津八幡山周辺地域の昆虫 [トンボ目]. 倉敷の自然—酒津八幡山周辺地域—: 92-94. 倉敷市衛生局環境保健部, 倉敷.

1991

倉敷市由加山系の自然環境調査にあたって. 倉敷市由加山系の自然—南東部地域 (特にC地区) —; 卷頭. 倉敷の自然をまもる会, 倉敷.

倉敷市由加山系南東部地域の昆虫. 倉敷市由加山系の自然—南東部地域 (特にC地区) —: 111. (近藤光宏・青野孝昭と共に著)

倉敷市由加山系南東部地域の昆虫 [トンボ目]. 倉敷市由加山系の自然—南東部地域 (特にC地区) —: 112-114.  
『高梁川流域の水と緑をまもる会』創立にあたって. 高梁川流域の自然, (1) : 1. 高梁川流域の自然をまもる会, 倉敷.

倉敷市由加山系南東部地域の昆虫. 倉敷の自然, (48) : 14. (近藤光宏・青野孝昭と共に著)

温泉に迷い込んだ? イシガケチョウ. 倉敷の自然, (48) : 40.

稀種“ネアカヨシヤンマ”発見 1991年8月・笠岡市北木島. 倉敷の自然, (48) : 43.

鶴の歌. 倉敷の自然, (48) : 44.

1992

かけがえのない自然の宝庫三室峠を消さないで!! 高梁川流域の自然, (2) : 1.

1993

倉敷市由加山地区のトンボ. しぜんしくらしき, (3) : 2-3.

岡山県の赤とんぼ. しぜんしくらしき, (3) : 4.

自然観察会の記録 由加山管轄地区のトンボ. しぜんしくらしき, (3) : 15.

おかやまの自然第2版. 332pp. 岡山県環境保健部自然保護課, 岡山. (共著)

自然への想い岡山—昔を探り、今を見つめて. 274pp. 山陽新聞社, 岡山. (共著)

かけがえのない自然を未来へ. 高梁川流域の自然, (6) : 2.

ふるさとの川モデル事業で様変わりする倉敷川. 倉敷の自然, (53) : 20.

1996

“ふるさとの川モデル事業”が進む倉敷川. 倉敷の自然, (60) : 6.

## 重井博先生を偲んで

青野 孝昭

本会顧問重井博先生が1996年8月24日、心不全のためお亡くなりになりました。最近のご様子からある程度の覚悟は出来ていたとはいうものの、深い悲しみをどうしようもなく、痛恨の極みです。

重井先生は、1924年8月1日のご出生で、1948年岡山医科大学専門部をご卒業後、直ちに同大学第一内科に入局なさり、医学博士の学位を得られた後、1955年に重井内科診療所を開業されました。まもなく、1958年医療法人創和会、重井病院を開設され、1962年には大変なご熱意のもと、倉敷昆虫館を病院内に開設されました。

その後、1968年に岡山県初のアメリカ製キール型人工腎臓2台を導入しての人工透析を開始され、1978年重井医学研究所（腎研究センター）、1979年重井医学研究所付属病院（および腎臓病センター）と矢継ぎ早に新しい施設を設立、国内外の有能なスタッフを結集され、基礎と臨床、医学と医療の理想的な姿を整えられながら、地域医療の向上にパイオニア的な貢献を重ねてこられました。

その間、ご趣味の昆虫研究にも情熱を注がれ、1961年には倉敷昆虫同好会の顧問をお引き受けくださるとともに、昆虫館内に設けられた研究室の使用を同好会に開放され、同好会と昆虫の好きな人たちに温かな援助を惜しまれませんでした。

先生ご自身先頭に立たれての岡山県下各地の昆虫相調査活動が1960年代から活発に行なわれました。その成果の一部は、1968年出版の岡山文庫シリーズ「岡山の昆虫」、1978年出版の「岡山県の昆虫」等となって公刊され、岡山県の昆虫を概観する先駆的な基礎資料となりました。

1973年には倉敷市自然環境保全市民委員として、市の自然環境保全条例制定に向けての合同会議に、また1974年には倉敷の自然をまもる会発足に参画され、同年6月には倉敷市自然環境保全審議会委員に就任。翌1975年には岡山県自然環境保全審議会委員にも就任されました。

このころから、自然保護への取り組みが一段と深まり、岡山県や倉敷市の自然保護基礎調査等にも協力されながら、一方では1983年倉敷の自然をまもる会2

代目会長就任、1991年には高梁川流域の水と緑をまもる会を創立して会長就任と、自然保護運動の先頭に立たれ、数々のご功績を挙げてこられました。

また、新倉敷市庁舎の建設に関連して、旧庁舎等の跡地利用問題が市民に大きな関心を呼び起こしたおりには、果敢な速さで倉敷市科学博物館設立期成会を結成され、要望書を市に提出、結果として倉敷市立自然史博物館の設立が議決されてからは、基本構想策定委員に就任され、また多数の昆虫標本と図書の寄贈をはじめとして、開館準備に全面協力されました。開館後は博物館協議会会長に、また博物館友の会の顧問にも就任され、館の運営にも支援を惜しまれませんでした。このような精力的なご活躍に対して、1988年岡山県知事表彰（地域医療の向上に尽くした功績）、1990年朝日新聞社朝日森林文化賞、同年倉敷市文化賞（自然保護の推進に寄与した功績）、1992年岡山県知事感謝状（地域環境保全への功労）、1993年環境庁長官表彰（地域環境保全への功労）、1996年山陽新聞賞（社会功労賞）等と、晩年には多くの表彰をお受けになられましたが、いつも、「代表として受け取るだけ、団体賞です」と、謙虚なご姿勢で終始一貫されました。

このように先生は、医療と自然保護の分野で大きな足跡を残されただけでなく、少年時代以来昆虫をこよなく愛され、岡山県の昆虫相の解明と自然理解の啓発に大きく貢献され、人間と自然への限りない愛を全うされました。



1975年8月31日鹿久居島にて。左2人目重井先生。

先生に初めてお目にかかれたのは、今を去る35年前、当時ご尊父が倉敷保健所長をされて倉敷市にお住いだった水野弘造氏（現在宇治市在住）宅でお引き合わせいただいた時で、熱っぽく昆虫館創立の夢を語られる中にも、尊大ぶったところのかけらもないお人柄に、深い感銘を覚えたことをはっきりと記憶しています。

その後、血沸き肉踊るような私的な昆虫採集行をはじめ、数多くの公的な現地調査にお供させていただきたり、同好会の各種会合、学界への参加、講師をお招きしての講演会、その後の酒席での昆虫談義等々、樂

しいひとときを久しくご一緒させていただいたことなど、忘れ得ない思い出がつきません。

後年、腎不全のため、人工透析をお受けになりながらも決して弱音を吐かれず、ご自分の理想の実現に向け、たゆむことなく取り組んでお行きになられた気高い精神と実行力など、なんと多くのことを身を持ってお教えくださったことか。

ここに、これまでの温かいお導きに深く感謝し、先生のご冥福の豊かなこととご家族のご平安とを心をこめてお祈り申し上げます。

（〒710 倉敷市大内937-8）

## 重井博先生を悼む (先生との思い出の中から)

小 野 洋

前を行くトラックが巻き上げる砂塵で視界を遮られるたびに、やむなく車間距離を広げる。クッションのよい高級車なのに、路面の大きなデコボコは吸収しない振動として、大きな揺れとなって、お互いの肩がぶつかりあうのであった。

昭和30年代。県内の道路もまだ舗装されている所といえば限られた地域に、ほんの一握りほどであった。路面は土や砂利でおおわれているのが普通で、山の中に入れば中央に草がほうほうと伸びた、カマボコ道も多かった。また、走っている車といえば、公共・公用、あるいは営業用などのもので、普通の家庭で使用する自家用というには極めて少なかった。

従って、当時、昆虫調査の目的で県北まで車で行くということ自体が珍しいことであった。

昭和37年11月3日の文化の日に倉敷昆虫館がオープンした。そして、翌38年から、交通の不便さもあって昆虫調査がほとんど空白の状態であった県北地域へも、足を伸ばすための実施計画が立てられたのである。

運転手を除いて重井博先生とあと4人（メンバーはそのたびに少しずつ入れ替わった）で、計6人（当時のフロントシートは3人掛け）。日曜日の朝6時。重井邸前から先生の奥様のお見送りで出発した。当時は少なくともこの時刻には出発しないと、往復のための所要時間が長いため、調査の時間が充分にとれなかつたのである。このような調査行は、その後もたびたび実施された。重井先生との思い出は数限りなくあるが、この初期の頃のメモリーが、最も明るく、楽しい思い出としての印象が深い。

中でも、新庄村への第1回目の調査となった昭和38年5月25日・26日のことは、なぜかまだ、昨日の出来事であったかのように、鮮やかに心に残っている。

最初に足を踏み入れた野路では、広範囲にブナ、イタヤカエデ、トチノキ、ミズナラ、ホウノキ等の大木が茂り、原生林を形成していた。うっそうとして昼なお暗く、林床はしっとりとししまり、ヤグルマソウなどが大きな葉を広げていた。飛び交うたくさんの昆虫たちに囲まれ、重井先生も最高の笑顔であった。

溪流に沿った岩場で、平らな明るいところを選んで陣取る。今では考えられないような深い自然の中で、谷川の水で冷した缶ビールでのどを潤し、愛妻弁当に舌鼓を打った。これまた最高の気分であった。が、実はゆっくり食べている暇がないほど珍種？が飛来。絶え間なく網を持っては立ち上がる動作が繰り返されたほどであった。

5月も下旬ではあったが、夕方桜並木通りの宿に入る頃にはかなり気温が下がり、寒くなった。五衛門風呂に入ったあと、夕食にはコイのあらいがでた。採集談等にぎやかに、かつ、楽しく過ごした後、みんなで炭火（練炭？）のこたつに足を伸ばして、布団をしつかりかけて寝た。

この時同行のメンバーは、林憲一（故人）、青野孝昭、近藤光宏の諸氏と筆者であった。

この後にもこのようないくさな調査は、たびたび実施され、対象地域も拡大されていった。

情熱を傾けられたご専門のお仕事の場面は別にして、重井先生が、日常最も晴れやかで元気一杯の場面、そ

れはやはりフィールドに出て過ごされた時ではなかつただろうか？自然が大好きで、自然をこよなく愛してこられた重井先生は、許された時間さえあればフィールドへ足を向けられることが多かったようだ。

ところで、時代の経過とともに、世界のすう勢と同じく、このふるさと岡山県にも自然環境破壊の波は打ち寄せてきた。そして、重井先生は、身近な、かけがえのない自然環境を大切にし、少しでも後世へ残していくという活動に、大きなエネルギーを注がれるようになった。そうした中での重井先生の突然のご逝去は、本会だけでなく、多くの方々にとっても、まさに大黒柱を失った状態であろうと思われるが、ただただ、心からご冥福をお祈りいたします。

先日、重井先生が生前に展翅されたままになってい

たトンボ類等の真新しい標本が24個体出てきた。丁寧に取り外して標本箱に入れたが、針の1本1本から、エネルギーが指に伝わって来るようで、なんともいえない気持ちだった。未だに重井病院2階の医局へ行きさえすれば、いつでも先生にお会いできるように思えてならない。

倉敷昆虫同好会が、会員の方々のご協力でますます末広がりの発展をして行くことと、永年同好会の活動についてのセンターとしてお世話になり、お互いを育んでくれた昆虫館、岡山県での標本館のルーツ的存在でもある倉敷昆虫館を、同好会の方々の手でますます充実したものにつくりあげていくことが、重井先生の一番のご供養になるのではないか。どうか。

(〒710 倉敷市酒津2580-50)

## 重井先生の思い出

近 藤 光 宏

平成6年5月29日、毛無山へ虫仲間と共に先生と一緒に採集に行った時のことである。

一行は11時頃銘々の車で現地に降り立ち、鎖の手前に車を止めて、各自それぞれ目的の獲物を目指して山に入って行った。重井先生はやはりムカシトンボを求めて、沢伝いに上流へ足を運ばれたようである。私はハチやアブなどの集まる訪花植物を探してとりあえず登山道を登る。このあたりは、かつて *Siobla* 属の珍種であるルリコシアカハバチが記録された所である。何とか今一度お目にかかりたいと付近のミヤマウツギに目を向けたその時である。少し下の沢のあたりで「どさっ！」という鈍い音がした。それと同時に「しまった」というような声も聞こえたような気がした。

低木や下草を押し分けて、急いで音のした方へ進み、沢をのぞいて見ると、重井先生が手で頭部を押さえて座っておられた。「どうされたんですか」と声を掛けると「しもうたことをした…とうとうやってしもうた」と青ざめたお顔を上げられて、ここの所を見て欲しいともう一方の手で頭を指された。

先生はどうやら沢を移動中に足を滑らせて一度しりもちをつけ、前のめりになった拍子に岩角で頭を打たれたとのことだった。ここには私しかいない。私は心中で「失礼します」と言って、頭部を恐る恐る覗いてみたものの、手でしっかりと押さえているのでよく見えない。しかし、血のようなものは流れていない。

「先生、どこからも血は出でていないと思いますが」と言っても、先生はなお手を離さない。手で止血をされていたのである。そこでもう一度丹念に見たが、やはり血が出ている様子はない。「先生、大丈夫のようです」と言って、なおも押さえておられる手を少しずつ外すようにしてみたところ、少しだけ赤くなつて膨れかけているだけであった。そのことをお伝えすると、先生はすっかり安心されて、心なしかお顔の色もよくなられたように思われた。考えてみれば、お医者様、それも大先生を診察した訳だから、誠に誠に恐れ多いことである。

さて、先生にはしばらくその場でお休みいただき、その間に私は自分の車まで戻り、アイスノンとタオルを持って現場に引き返した。それからしばし頭部を冷やすこととなり、我に帰られた先生はとても喜んで下さった。そのうち「もう大丈夫」と言って立ち上がり、手で頭を冷やしながら、一方の手を私の肩に置かれて、ゆっくりとまず沢から岸へ、更に樹海を抜けて車の所へ辿りついた。その間、先生には大変長く感じられたことと思う。しかし、車の所には誰も見当たらない。これは一大事、一時も早く知らせねば、はてさてどちらへ行けば会えるかな。じっと待っていても時間がたつばかり、体は一つ、思い切って山頂を目指すことにした。先生の車はロックされているので、しかたなくスギの大木の根っここの所へタオルを巻いたアイ

スノンを置きその上に腰を降ろして待っていただくことにした。「奥様を探してきますから」と言い残して、先生をお一人にすることを心配しながら登山道を小走りに登って行った。

「重井先生の奥さん！」と山に向かって繰り返し叫びながら、5合目のあたりまで登った所で下山して来る登山者に出くわした。ところが、これより上では誰にも会わなかったとの情報を得ることができたので、これ幸いとばかり、今度は引き返して車より下方を探すこととした。3合目当たりまで下った時、清流の上を行き来するトンボが目に止まった。よくもまあこんな時に思いながらも、射程距離を待って一振り、見事トンボは網の中へ、ムカシトンボ？である。先程重井先生は、「今日はまだムカシトンボにはお目にかかるべくない」とおっしゃっていた。これがムカシトンボなら何よりのおみやげにと、先生の喜ばれるお姿を想像しながらの下山となった。

そして、やっと車の所へ帰ったものの、先生はもちろん車も見当たらなかった。すでにお帰りになられたあとだった。山道を往復する間、思ったより時間が経過したようである。誠に申し訳ないと、残念な思

いと入り交じったような思いで心配しながら帰路についたのである。

帰宅後様子をお聞きしたところ、骨盤を骨折、それが内出血していたので、しばらく入院されるとのことだった。しかし、先生が最も心配されていた出血はなかったとのことで、そして一言、「アイスノンがとても役に立った。車の中でもずっと使用した。頭に乗せるべきものをお尻に敷いて申し訳ない」とお詫びを申されたとのことであった。

後日、回復を待ってお目にかかる時、ムカシトンボを差し上げたくと思って差し出すと「ほう、間違いなくムカシトンボですね」と喜ばれ、実は運転手さんも採集してくれていたので、これは記念に私が持つておくように言われた。ムカシトンボは、これまで何回か挑戦したが、その都度サナエトンボの仲間だったという苦い経験が過去にあり、今回のものは私にとって初めての、しかも記念すべき記録となった次第である。

最後に、重井先生には長い間公私にわたり大変お世話になりました。ここに衷心よりお詫び申し上げ、併せてご冥福をお祈り申し上げます。

(〒710 倉敷市中央2-16-14)

## 重井先生の思い出

守 安 敦

私が初めて重井先生にお会いしたのは、1991年の初夏、佐伯町の岡山県自然保護センターで行われたトンボの観察会に参加した時のことです。私がトンボに興味をもちはじめたばかりの頃で、先生のお話の一つ一つが知らないことばかりで、楽しいものでした。講義のあとの野外観察で、夢中でハッショウトンボの写真を撮る私のそばで、「写真を撮っているからそこをあけてください」と周りの人に声をかけてください、それがとてもありがたかったのを覚えてています。

次にお会いしたのは、キイロヤマトンボの幼虫を見つけた時でした。重井先生からいただいた岡山県産のトンボリストにキイロヤマトンボが見当たらなかったので、確かめたいと思い、重井病院をおたずねしました。先生は、岡山県で初記録であると言われ、「いいものを見せてください」と喜んでくださいました。この時、私が無造作に幼虫を水から出していると、「早く水に戻してあげてください」と言われたことが印象に残っています。その1年後、幼虫が自宅で羽化したことをお知らせすると、「このような貴重な種の

いる倉敷の自然を大切にしてほしいということをぜひ報道機関の方にも話しておいてください」と言われました。

その後も、お会いした時には、私の知らない岡山県内のトンボの記録や、自然を見る視点などの楽しいお話をいつも聞かせてもらっていました。

ある時、私が新たに採集したトンボの話ばかりをしていると「採集もいいですが、生態の研究をしてみてはどうですか」と少し真顔で話されたことがあります。それがきっかけで、現在、トンボの幼虫の生態に興味をもって調べていますが、このことを先生に報告できなかったことが残念でなりません。

これからも、先生からお聞きしたことが、私のトンボとの関わりの大切な指針になっていくことと思います。そして、先生が憂慮されていたようなことがないように自然との関わりを続けていくことが、残された私たちの使命ではないかとも感じています。先生、本当にありがとうございました。安らかにお眠りください。

(〒710 倉敷市浦田2430)

## 岡山県におけるカワトンボ属分布調査結果について

倉敷昆虫同好会\*

この報告を、本会創立以来、今日に至るまで長い間本会の支えとなり、物心両面にわたり様々にご援助をいただいた故重井博先生に捧げる。

### I はじめに

日本に産するカワトンボ属 (*Mnais*) のトンボは、日本固有種で、全国各地に広く分布しており、平地から山間部まで各所で普通に見ることができる。しかしながら、地域的な変異が著しく、また、翅色や形態にいくつかの特徴を持つものが共存しており、かつ、その組合せが地域によって異なるため、分類学的な取扱いは極めて困難なものとなっている。(浜田・井上、1985)

岡山県には、いわゆるヒガシカワトンボを除いて、オオカワトンボとニシカワトンボという二つの分類群が分布している。そして、それぞれに知られている型のはほとんどが生息しており、場所によっては多くの型の組合せが同所的に見られる所もあることから、全国的にみても注目されている。

そこで、1991年の本会創立40周年に向けての会全体の取組みとして、岡山県におけるカワトンボ属のトンボを取り上げて、1989年から分布等の調査に着手したものである。

### II 経過

まず、調査の開始に当たっては、カワトンボの分布や形態、生態に関する最新の知識ができるだけ多くの会員が共有することができるよう、本会顧問（当時）の故重井博先生のご尽力により、1989年3月26日に国際トンボ学会日本支部長の井上清先生をお招きして、「カワトンボの分類体系とその問題点」と題するご講演をいただいた。また、同年4月には、この調査を効率的に進めていくために、重井先生を代表者とし、幹事を中心に構成する「カワトンボ調査グループ」を結成し、連絡紙「KURAKON」を通じて広く会員に調査への参加と資料提供を呼び掛けた。

調査は、1989年から開始して概ね3か年をかけて岡山県のほぼ全体を行い、その後、若干の補充調査と資料の整理に取り組んだが、同定とデータの整理等に手間取り、最終的な報告の取りまとめが今日に至るまで

遅れたものである。

なお、1996年11月には、同定に不安のあったいくつかの個体を含めて、全体の約半数の標本について、井上先生に最終的に検していただいた。

### III 調査方法

#### 1 調査地域

調査の範囲は岡山県の全域とし、カワトンボ属のトンボは水系ごとに出現する型の組合せが異なる可能性があることから、広大な地域を効率的かつ計画的に調査するため、県内の三大河川である高梁川・旭川・吉井川の三つの水系とこれらに含まれない他の水系に分けて、1989年に高梁川水系、1990年に吉井川水系、1991年に旭川水系を重点的に調査し、他の水系は随時調査することとした。ただし、高梁川水系は広島県東部にも及んでいるため、岡山県に接する広島県の一部の地域も調査しており、また、1992年以後も調査が十分でない地域等については補充的な調査を部分的に行なったので、これらの記録も今回の調査結果に含めることとした。

#### 2 調査方法

各水系ごとに現地調査を行い、基本的には個体を採集することによりその地域に産すると思われるできるだけ多くの型を把握するように努めた。また、できるだけ正確な記録を残すという観点から、採集した標本は、すべて調査グループへ提供していただき同定・保管を行うとともに、調査地点を2万5千分の1地形図にプロットした図面と併せて、渓流の状況などの生息環境や生態等についても得られた情報を報告していくよう努めた。

#### 3 調査参加者

調査にご協力いただいたのは、次の方々（敬称略：50音順）である。調査グループのメンバーには、右肩に\*を付した。

青野孝昭\*、浅野憲一、井上永子、太田亮二、尾閑啓吉、織田明文\*、小野 洋\*、河原宏幸、近藤光宏\*、近藤弘美、澤田博仁、重井 博\*、末宗安之、田辺勤、中村具見\*、野嶋宏一、林 博之、原田裕康、広

\* T710 倉敷市幸町 倉敷昆虫館内

瀬正明\*, 松本史樹郎, 三宅正樹, 安井茂夫, 山地治\*, 脇本 浩\*, 渡部太郎, 渡辺和夫\*

なお、この他に津田和良氏からもデータを提供していただいたが、内容が不明となっているため割愛させていただいた。事務局の不手際をお詫びしたい。

また、ネガティブデータについても集積を図ろうと考えていたが、初年度以外はほとんどデータが提出されなかっただため、これも割愛させていただいた。

#### IV カワトンボ属の分類

カワトンボ属は分類学的な取扱いが極めて困難なものとされているが、朝比奈正二郎博士の研究等に基づいて、浜田・井上(1985)は1種3亜種という取扱いのもとに、全部で17の型に整理している。

今回の調査結果は上記の取扱いに基づいて整理することとしており、本報告に關係するオオカワトンボ及びニシカワトンボという二つの亜種に出現する11の型のうち、九州のみから知られている♂-f.*pruinosa*を除く10の型は次のとおりである。

区分	オオカワトンボ	ニシカワトンボ
♂	f. <i>nawai</i> (橙色翅)	f. <i>esakii</i> (橙色翅)
	f. <i>sahoi</i> (淡橙色翅)	f. <i>strigata</i> (無色翅)
	f. <i>kadowakii</i> (無色翅)	f. <i>shirozui</i> (無色翅・黄胸)
♀	f. <i>nawai</i> (淡橙色翅)	f. <i>sieboldi</i> (無色翅)
	f. <i>taketoi</i> (無色翅)	f. <i>shirozui</i> (無色翅・黄胸)

#### V 調査結果と考察

##### 1 分布調査結果

調査結果を水系別に整理して取りまとめたものが表1から表4である。なお、水系については岡山県土木部監修の岡山県総合管内図に基づき、「高梁川水系」、「旭川水系」及び「吉井川水系」の三大河川並びにこれらに含まれない「その他の水系」に区分した。(図1の水系図を参照)

なお、同一市町村で複数の水系にまたがる場合は、上房郡賀陽町が高梁川水系及び旭川水系に、総社市が高梁川水系及び他の水系(篠ヶ瀬川)に、倉敷市が高梁川水系及び他の水系(倉敷川及びその他)に、赤磐郡吉井町が吉井川水系及び他の水系(砂川)に、備前市が吉井川水系及び他の水系(その他)に、岡山市が旭川水系及び他の水系(篠ヶ瀬川及びその他)にというように、それぞれの水系ごとに分けて記録している。また、高梁川水系の支流である小田川の水系に含まれるものとして、一部広島県福山市のデータも含んでいる。

調査結果は、調査地点の地名・基準地域メッシュコード・標高、調査年月日、調査者、亜種別・性別・型別の採集個体数を記載し、備考欄に調査地点の環境その他を要約した。なお、標高について幅をもって報告されたものは、その平均値を表示し、目視等により亜種名及び型名を明らかに確認できた場合は、その旨を備考欄に記した。また、一部調査対象年以前のデータも寄せられたが、これらも含めて作成している。

データは市町村ごとに(郡)市町村名を各データ前に〔 〕書で示し、個々の調査地名からは市町村名を省略した。地名の表示は大字及び字を基本として、通称その他調査地点を具体的に示す表現を用いたが、調査者により同一の地点が異なる表記で報告されていると思われる場合は、できるだけ統一するよう努めた。調査年月日の年は西暦の下2桁とし、調査者名は原則として姓のみを記した。ただし、近藤=近藤光宏を示し、近藤弘美はフルネームとし、また、調査者欄のうち注1=太田・河原を、注2=中村・織田・渡辺を、注3=中村・渡辺を示す。

オオカワトンボ♂欄の橙色=f.*nawai*を、淡橙色=f.*sahoi*を、無色=f.*kadowakii*を示し、同♀欄の淡橙色=f.*nawai*を、無色=f.*taketoi*を示し、ニシカワトンボ♂欄の橙色=f.*esakii*を、無色=f.*strigata*を、黄胸=f.*shirozui*を示し、同♀欄の無色=f.*sieboldi*を、黄胸=f.*shirozui*を示す。

なお、基準地域メッシュコードは、各調査者から提出された2万5千分の1地形図上のプロットを、環境庁自然環境保全基礎調査(緑の国勢調査)用メッシュ地形図にあてはめて決定した。調査地点をプロットした地形図を添付されずに提供されたデータのメッシュコードは、概ねの位置を示すものとして( )書とした。ただし、重井先生の1989年の記録は、岡山県総合管内図のコピーに採集地点をプロットしたもののが残されており、標高は不明であるが、メッシュコードの位置はほぼ判定できたので( )書とはしなかった。

今回の調査によりカワトンボ属のトンボを確認できた地点は計365か所であり、このうちオオカワトンボを確認できた地点が61か所、ニシカワトンボを確認できた地点が351か所、そして両方を確認できた地点が47か所となっており、ニシカワトンボしか確認できなかった地点の方が圧倒的に多くなっている。また、全体の採集個体数は、オオカワトンボ303個体、ニシカワトンボ1,571個体となっている。

なお、今回の調査により得られた標本は、その大



図1 水系図

部分が倉敷市立自然史博物館に保管されている。

## 2 分布の概況

表1から表4に基づいて作成したオオカワトンボ及

びニシカワトンボの分布図が図2及び図3である。

これによると、オオカワトンボとニシカワトンボを

含むカワトンボ属は、岡山県下においては、瀬戸内沿岸低地帯から中国山地までの広い地域から確認されていることが分かる。

両者を比較すると、ニシカワトンボの方が確認された地点が圧倒的に多く、岡山県のほぼ全域から得られ



図2 オオカワトンボの分布図

ているのに対し、オオカワトンボは広い範囲から記録されているものの、記録された地点は少なく、特に瀬戸内沿岸低地帯からはほとんど確認されていない。また、調査不足の面もあるが、オオカワトンボは県の中央部から北東部にかけての地域でも空白の地域が多くなっている。したがって、今回の調査結果からみると、岡山県においてはニシカワトンボが広く普遍的

な分布を示すのに対して、オオカワトンボの方は、分布域は広いもののどちらかというと局地的な分布を示すものとなっている。

次に、この2亜種について、型別の出現状況等を考慮しながら、さらに詳しくその分布状況をみると以下のとおりである。

#### (1) オオカワトンボ



図3 ニシカワトンボの分布図

オオカワトンボについては、♂-f.*nawai*, ♂-f.*sahoi*, ♂-f.*kadowakii*, ♀-f.*nawai*, ♀-f.*taketoi*というこれまでに我が国において知られている5型(写真1~5;以下単にそれぞれ*nawai*, *sahoi*, *kadowakii*, *nawai*, *taketoi*と表記し、*nawai*には必要に応じて♂♀を付した)のすべてを確認することができた。

今回の調査では、オオカワトンボの確認できた地点

は多くなく、かつ、産地によっては得られた個体数も少ないため、その分布状況は十分に把握できているとは言えないが、調査結果からこれらの型別の出現状況をみると、まず、橙色翅を持つ♂*nawai*は確認された地点の大部分で記録されており、オオカワトンボの分布域のほぼ全域に分布しているものと考えられる。

また、無色翅型の*kadowakii*及び*taketoi*も比較的広い

範囲で記録されているが、逆に、淡橙色翅を持つ *sahoi* 及び♀ *nawai* については確認された地点はやや限定されており、地域的な偏りがあるように思われた。

特に *sahoi* は、全国的にみてもその産地は限定されるようであるが、図 2 の ●印又は ○印に示すように、今回は県下の広い地域から点々と得られており、計 12 地点で記録されている。これは、オオカワトンボの記録された地点の約 2 割に相当している。しかし、苦田郡奥津町井坂で相当数が得られている他は、ほとんど単発の記録であり、県内での分布は広いものの、全般的に個体数は少ないものと思われる。

次に、型別の組合せをみると、今回の調査において 5 型すべてを確認できた地点（図 2 の ●印参照）としては、苦田郡奥津町井坂、真庭郡勝山町荒田、真庭郡勝山町江川、高梁市玉川町玉勘場、小田郡矢掛町宇角、総社市楨谷があげられる。また、ある程度時間をかけて詳細に調査したにもかかわらず、橙色翅型の♂ *nawai* と無色翅型の *kadowakii* 及び *taketoi* の組合せしか見られなかった所としては、阿哲郡哲多町本郷、総社市日羽奥車周辺、都窪郡山手村平山等があるが、今後の調査次第ではこれらの地点でも淡橙色翅型が得られるかも知れない。しかし、今回の調査で瀬戸内沿岸低地帯における唯一の記録地である都窪郡山手村平山では、数回の調査を行い、かなりの個体数を見ているにもかかわらず、他の型は目撃すらできなかったことを付記しておく。

今回の調査結果からみる限りでは、橙色翅型の♂ *nawai* 及び淡橙色翅型の♀ *nawai* のみの、いわゆる近畿地方の北半から北陸地方にかけて出現するとされている組合せは、県東部の赤磐郡吉井町で 1 か所と兵庫県境に近い英田郡英田町の東部から和気郡吉永町北部にかけての地域で数か所見られただけである。

## (2) ニシカワトンボ

次に、ニシカワトンボについても、♂-f. *esakii*, ♂-f. *strigata*, ♂-f. *shirozui*, ♀-f. *sieboldi*, ♀-f. *shirozui* という 5 型（写真 6 ~ 10; 以下單にそれぞれ *esakii*, *strigata*, *shirozui*, *sieboldi*, *shirozui* と表記し、*shirozui* には必要に応じて♂♀を付した）すべてが確認された。このうち、県下のほぼ全域で得られているのは、*strigata* 及び *sieboldi* と呼ばれている無色翅を持つタイプであり、個体数の少ない地点ではこれらのいずれか一方だけが得られた地点も多い。また、橙色翅を持つ *esakii* も高梁川水系や旭川水系など県下の大部分の地域において確認されており、*esakii*, *strigata* 及び *sieboldi* という組合せが県下におけるニシカワトンボに出現する一般的なパターンとなっている。

こうした中で、岡山県東部の兵庫県境に接する南北に帶状の地域一帯では、*esakii* の確認されなかった地点が連続的にいくつかみられた。*esakii* の出現状況を考察するに当たり、*esakii* が得られなかった地点については、便宜的に、*strigata* が複数個体得られているにもかかわらず *esakii* が得られなかった地点についてのみプロットし、作成したのが図 4 である。この図において *esakii* が確認されなかった地域としては、苦田郡上斎原村、苦田郡加茂町、苦田郡阿波村、勝田郡奈義町（写真 25 参照）、英田郡西粟倉村、英田郡東粟倉村、英田郡大原町、英田郡作東町（写真 26 参照）、英田郡英田町の東部、和気郡吉永町の北部、備前市の東部、和気郡日生町等があげられる。これらの地域の中でも調査の進展によって、今後さらに *esakii* の発見される地点があるかも知れないが、今回の一連の調査においては全く確認されなかったものである。また、これらの *esakii* の空白地域で得られた *strigata* は、*esakii* と共に存する地域の *strigata* が一般に腹部第 1 ~ 3 節と第 8 ~ 10 節の腹部両端部のみに白粉を帯びる（写真 24 参照）のに対して、腹部のほぼ全体に白粉を装う個体が多くなる傾向が認められ、この傾向は東部に行くほど顕著であった。

こうしたことから、岡山県の西部から中部の大部分の地域において出現する橙色翅型の *esakii* は東部に行くに伴い次第に衰退して兵庫県境に近くなるとほとんど見られなくなり、同時に *strigata* の腹部背面の白粉が拡大するという現象が並行して生じているように考えられる。

*esakii* が空白となっているこれらの地域に隣接する地域。例えば備前市の東部よりに位置する閑谷付近では、日当たりのよい水面や周辺の樹林内も含めて、ここで得られたニシカワトンボはその大部分が *strigata* 及び *sieboldi* という無色翅を持つ型であり、かなり広範に調査したにもかかわらず、*esakii* はわずかに 1 個体を発見できたにすぎず、両者が共存する地域とはいいうものの *esakii* の出現比率は著しく低いように思われた。そして、ここでは *strigata* についても腹部背面に装う白粉が拡大した個体が少なくなかった。また、吉井川本流に面した東岸斜面にある和気郡佐伯町延原でも、*esakii* は 1 個体が得られただけで、やや急な溪流の日当たりのよい水面近くにナワバリを形成する多くの *strigata* は、やはり腹部背面の白粉が発達したものが多かった。写真 24 ~ 28 に *strigata* 腹部背面の写真を示したが、一部の個体では油が出て白粉が消えたよう見え、採集時の状況と異なるものもある。

なお、やはり吉井川本流の東側に当たる邑久郡長船

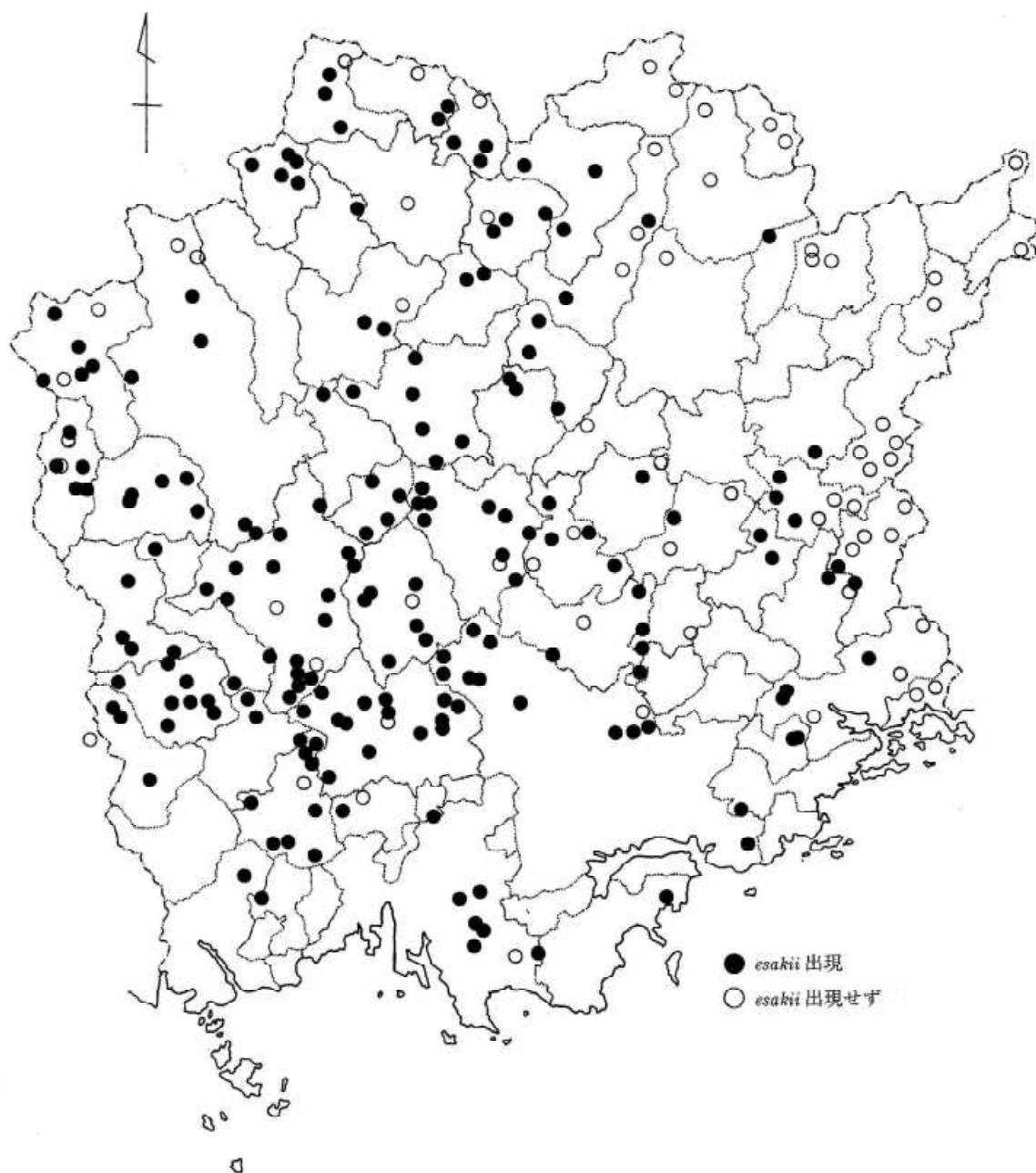


図4 esakiiの出現状況

町磯上においても *esakii* と *strigata* が共存しているもの、いくつかの通常の *esakii* に混じって、橙色部の縮小した *strigata* との中間型のような *esakii*（後述）が得られたほか、*strigata* についても腹部背面の白粉が拡大する傾向が認められた。

このように、*esakii* の衰退と *strigata* の腹部の白粉が拡大するという地理的な形質の変化に関して移行的な

地域が存在するようと思われる。

一般に、近畿地方の中央構造線以北から北陸地方にかけてのニシカワトンボは、無色翅型の *strigata* 及び *sieboldi* のみの組合せとされているが、今回の調査結果から、岡山県の東部、兵庫県境付近において既にこうした傾向を生じており、むしろそれよりも西方の吉井川本流の東側あたりが主にその移行域となってい

るようである。さらに、こうした傾向は、県北部の旭川水系の上流にある真庭郡八束村下長田（写真27参照）や吉井川本流の西側のesakiiが普通に得られる赤磐郡吉井町三軒屋（写真28参照）などにおいても認められることから、このような移行域が部分的には吉井川本流の西側あるいは旭川水系の一部に達している可能性もあるように思われる。ただし、この移行域と考えられる地域の資料はまだ十分とは言えないもので、今後の課題として、さらに詳細な調査データの集積が望まれる。

なお、無色翅で後胸後腹板の前半が黄色となる♂♀*shirozui*については、勝田郡勝北町、勝田郡奈義町、英田郡作東町、英田郡英田町、川上郡川上町、上房郡賀陽町、御津郡加茂川町、御津郡建部町、赤磐郡吉井町、和気郡吉永町、和気郡日生町、総社市、岡山市、倉敷市、邑久郡邑久町で確認されている。この型は、*strigata*及び*sieboldi*に混じって確認されているが、今回の調査では県北での確認例が少なく、中・南部で点々と記録されていること以外には出現する地域の特性は特に認められないようである。なお、得られた個体はほとんど通常の大きさの個体ばかりであった。

ところで、後胸後腹板前半の色彩は、オオカワトンボも含む無色翅の各型を同定するための重要な判断材料となるが、成熟個体では後胸後腹板全体が白粉を帯びるため、そのままでは色彩を判別するのが難しいケースが多い。このような個体については、井上先生のご教示に基づいてアセトン（アルコールでは白粉が溶解して復元しなくなるので、アセトンに限る）を綿棒で滴下し、地色を確認した。写真1~10のうち、無色翅型については後胸後腹板を併せて図示しているが、これらはアセトン処理したものであり、処理していない例として写真8と同一個体の後胸後腹板を写真23に示しておく。

### 3 発生期

発生期についてみると、一般にオオカワトンボの方がニシカワトンボよりも早く出現する傾向が認められた。

オオカワトンボは、県北の真庭郡勝山町付近において5月上旬には既に最盛期を迎えており、♂の成熟個体が多数見られた。また南部の都窪郡山手村でも4月下旬から発生を始めて5月上旬が最盛期となっており、5月中・下旬には汚損個体が混じるので、発生は比較的早く、また、出現期間も短いものようである。

一方、ニシカワトンボは南部では最も早いものは4月中旬頃から、通常は4月下旬から5月上旬頃にかけて発生を始め、中部では5月上旬~中旬、北部では5

月下旬~6月中旬にかけて新鮮な個体が多く見られる。また、北部中国山地のように高標高地では、遅い個体は7月中旬から8月始め頃まで見ることができることなどから、オオカワトンボに比べると出現期はやや遅く、また、出現期間も相当長いようと思われるが、地域によっては発生のバラツキもあるようである。

したがって、両者が混生している所では一般にオオカワトンボの方がより早く出現し、遅れて発生するニシカワトンボの最盛期には前者の♂は既に汚損していることが多い。

### 4 生息環境

生息環境についてみると、オオカワトンボは丘陵地、平地の緩流に成育し、ニシカワトンボは山地、丘陵地の渓流、緩流に成育し、両者が共存するところでは、重なりをもちながらもオオカワトンボの方がより下流寄りのより明るく開けたところを好む傾向がある（浜田・井上、1985）とされている。

岡山県内における調査でもこうした傾向は同様であるが、今回の調査結果をもとにさらに詳しくみると、オオカワトンボは、比較的平坦な地域を流れる河川のヨシ等の挺水植物が適当に生えた河原、水田地帯の用水路、ある程度川幅のある渓流など、概して日当たりがよく、水量が豊富で流速の比較的緩慢な所が生息地となっていることが多いように思われた。また、都窪郡山手村平山のように取水堰により生じた淵のような、極めて緩やかな流れの場所に発生したり、阿哲郡神郷町高瀬梅田では、近くに全く樹林のない平坦な水田地帯にある両岸が雑草で覆われた、やはり流れの緩やかな未改修の農業用水路（幅約1メートル）でも得られており、ニシカワトンボよりも日当たりのよい緩流で、自然度の高い水系を生息地としているようである。

一方、ニシカワトンボの場合は、山間部の渓流や沢筋の細流、棚田の脇の水路、溝、湿地等を生息地としており、概してある程度の流速があって、樹林の内部を流れる渓流や片側が樹林に接しているような渓流で、水面は適度に日光の直射から遮られて、所々に木漏れ日が当たるような環境を生息地としていることが多い。また、ほとんど水量のない沢筋でも得られていることから、生息環境の適応範囲はかなり広いものと考えられる。

上記のように、オオカワトンボとニシカワトンボの好む生息環境には、比較的明瞭な差があることから、環境の変化に対応して棲み分けているようと思われる。

例えば、山間部の幅が数十メートル以上あって、水田や畠のある広い渓谷地帯では、その中央部を流れる日当たりのよい明るい渓流（本流）にはオオカワトン

ボが生息しており、渓谷の両側斜面から流入する細く比較的急峻な渓流等ではニシカワトンボが生息していることが普通である。また、渓流も上流に行くに従って川幅が狭まり、樹林の間を縫うような所になるとニシカワトンボが優占する場合が多いが、その流れが緩やかで所々日当たりのよい空間があり、樹林地帯と開けた場所とが交互に出てくるような地域では、環境に応じて両者がモザイク状に棲み分けたり、同一の空間で混飛するケースも見られた。

なお、河川や農業用水路の改修工事は現在では平野部から山間部まで至る所で行われており、カワトンボ属全体の生息に大きな影響を与えていたと思われるが、特に平野部の農業用水路等の改修により、オオカワトンボの生息に適した場所が失われてしまった所が多いと考えられる。また、岡山市北部の一宮・足守地区のように、上流の丘陵地域一帯において大規模な開発が行われたり、農薬を使用する樹園地等が広がっている場合、下流において一見して良好な生息環境に思える所でも、全く確認できないか、わずかの個体しか確認できなかった所が多く、こうした所では、水質の汚染等、水系における環境変化が影響しているのではないかと考えられる。

## 5 その他

今回の調査で得られた知見のうち、型別の分布状況以外で注目すべき事項について、以下に記録しておくこととした。個体数の次の( )内には、一応分類した型を明示した。

### (1) *esakii*と*strigata*の中間的な個体

分布状況の項でも一部述べたが、*esakii*と*strigata*の中間的な形質を現した個体が次のとおり2例得られている。

1♂ (*esakii*)、邑久郡長船町磯上油杉、13. V. 1990 (写真11)

この個体は、多くの*esakii*と*strigata*に混じって得られたもので、その中ではやや小型である。全体として*esakii*に近い印象を受けるが、通常前後翅の橙色部は基部から4分の1程度を除く部分であるが、この個体は基部から3分の1程度まで無色で、橙色部が縮小しており、また、後縁部から翅端にかけて無色の部分が現れている。

1♂ (*strigata*)、岡山市長野鳴谷峡、24. V. 1992 (写真12)

通常の*strigata*の翅膜は無色であるが、この個体は基部から3分の1程度まで無色で、それより翅端にかけてごく淡い橙色を帯びている。なお、オオカワトンボの淡橙色翅型が翅膜そのものは無色で翅脈の色によ

り淡橙色に見えるのとは異なり、この個体は翅脈は黒色で翅膜そのものに色がついている。

### (2) 線紋の翅脈異常

カワトンボ属の線紋は、ミヤマカワトンボの雌などに見られる擬線紋と異なり、基本的には線紋内に翅脈は現れないものとされており、ごく稀に翅脈が現れた例が報告されているにすぎない。今回の調査により、小黒点のみを現す個体を除いても、次のとおり線紋に翅脈が現れた例が数多く得られている。

1♂ (*esakii*)、勝田郡勝北町奥津川、15. V. 1989 (写真13~15)

井上先生によると、*esakii*と♀*nawai*の雑交の可能性のある個体とのことである。強弱の差はあるが、すべての線紋内に翅脈が現れている。

1♀ (*sieboldi*)、苦田郡鏡野町中谷柏ヶ谷、3. VI. 1990 (写真16~18)

左右後翅の線紋内に翅脈が、左右前翅の線紋内に小黒点が現れた個体である。

上記の2例の他、写真29から写真94に示すように、多くの個体に線紋異常が発見されている。しかし、オオカワトンボでの例が♂*nawai*が3例と*taketoi*が1例の計4例とわずかであるのに比べると、ニシカワトンボではほとんどの型で見られ、しかも、その数が圧倒的に多く、出現率で比べても、オオカワトンボの1.32%に対し、ニシカワトンボでは3.06%と倍以上の頻度となっている。

なお、線紋の写真は、すべて裏面から撮影したものである。

### (3) 線紋の色彩異常

1♀ (*sieboldi*)、上房郡賀陽町吉川西山、21. V. 1989 (写真19)

通常は白色となる♀の線紋がややピンク色を帯びた個体である。

### (4) 部分的に♀*nawai*的な*taketoi*

1♀ (*taketoi*)、苦田郡奥津町井坂、8. V. 1989 (写真20)

一部に淡橙色翅的な色彩が出た個体である。

### (5) 他に見られる県内の変異

通常1~2列の不透明斑を持つ個体の多い*esakii*であるが、不透明斑を欠く個体(写真21)から、逆に不透明斑が3列に拡大する個体(写真22)まで見られ、また、真庭郡中和村荒井で得られたオオカワトンボは全体に小型の個体が多いなど、両亞種とも亞種内で若干の個体変異や地理的変異が認められたものの、今回はこうした点についてまでは踏み込めなかった。

## VI. おわりに

岡山県におけるカワトンボ属の分布調査結果を、会員はじめ多くの方々のご協力により、ようやくにしてこのような形で取りまとめることができた。

今回の調査結果からも、県下にはオオカワトンボとニシカワトンボの二つの亜種が同所的に分布しており、それぞれに知られる型のほとんどが出現することや、県下の広い地域で様々な型の組合せを持つ個体群が出現することが明らかになった。また、近畿地方の北半から北陸地方にかけて知られるオオカワトンボ（♂の橙色翅型と♀の淡橙色翅型のみ）とニシカワトンボ（♂♀ともに無色翅型のみ）と同様の組合せが県東部の一部地域において見られること、これらの個体群への移行域と考えられる地域が主に吉井川本流の東側あたりと考えられること等が判明した。

しかしながら、これらの注目すべき地域については、まだデータの集積が不十分であり、また、井上先生からは「今後、カワトンボの幼虫と成虫のつながりを検討していくためには、個別に幼虫を飼育して、羽化した成虫と幼虫を1対1で対応させながら研究していくことが重要であり、幼虫での同定を可能にするのは、両亜種の一般的な10型全部が見られる岡山県が一番ふさわしい。」とのご指摘をいただいている。

したがって、今回の調査を出発点と位置づけて、今回は取り上げなかった文献による記録や倉敷昆虫館・倉敷市立自然史博物館の所蔵標本等も含め、今後、オオカワトンボの空白地域における分布調査や型別の出現状況、県東部におけるニシカワトンボの分布調査、同一地点に生息する両亜種の生態、ネガティブデータの収集等を含めて、さらに詳細な調査と資料の集積を行うことにより、岡山県におけるカワトンボ属のトンボの分布・生態に関する調査の一層の進展を期待するものである。

## VII. 謝辞

今回の調査は、昆虫には興味があるもののトンボは全くの素人ばかりが主体で進めたものであり、専門家でも分類が困難なカワトンボ属の調査に取り組むのは無謀という声も出る中で、何とか最終的な調査結果をまとめるところまでこぎ付けることができたのは、調査の開始に当たり、自らも調査に参加されるとともに井上清先生をお招きしての講演会の開催等、調査活動を平素から積極的に支援していただいた故重井博先生と、カワトンボの基礎知識をご教示され、また、標本の同定、関係した文献の提供、さらに最終的な報告の取りまとめに至るまで、終始熱心にご指導をいただいた井上清先生のご尽力による所が大きく、お二人のご

指導、ご尽力がなければこの報告の取りまとめも到底おぼつかなかったと思う。ここに記して心より感謝申し上げる次第である。

また、調査に参加され、各地の標本をはじめ、様々な資料や情報を提供していただいた皆様にも改めてお礼申し上げる次第である。

## VIII. 文責

この報告をまとめるに当たっては、基本的にはカワトンボ調査グループ全員の意見を集約しつつ、本文については主として中村具見が、表・図・写真についても主として渡辺和夫が担当した。

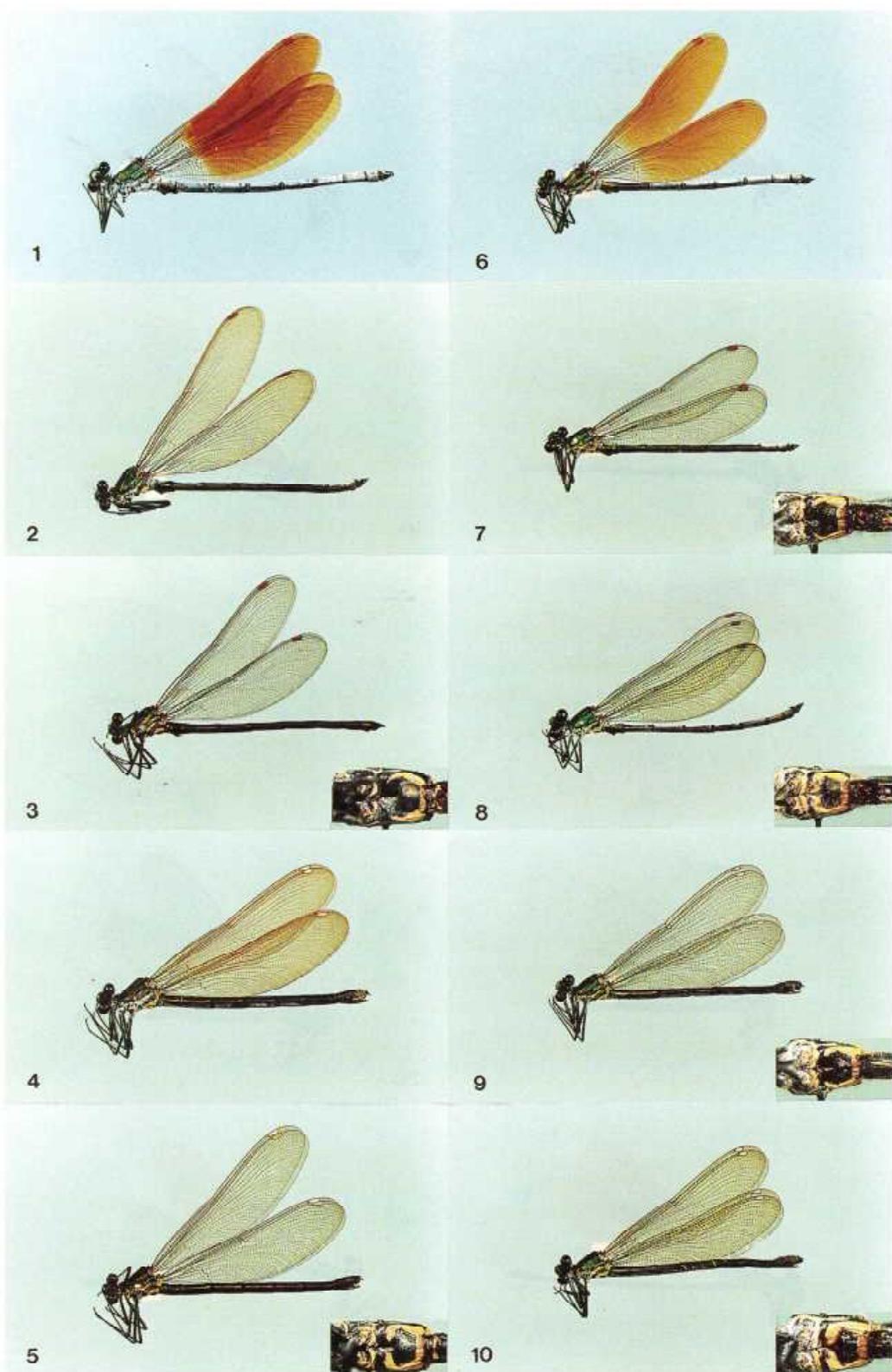
## 参考文献

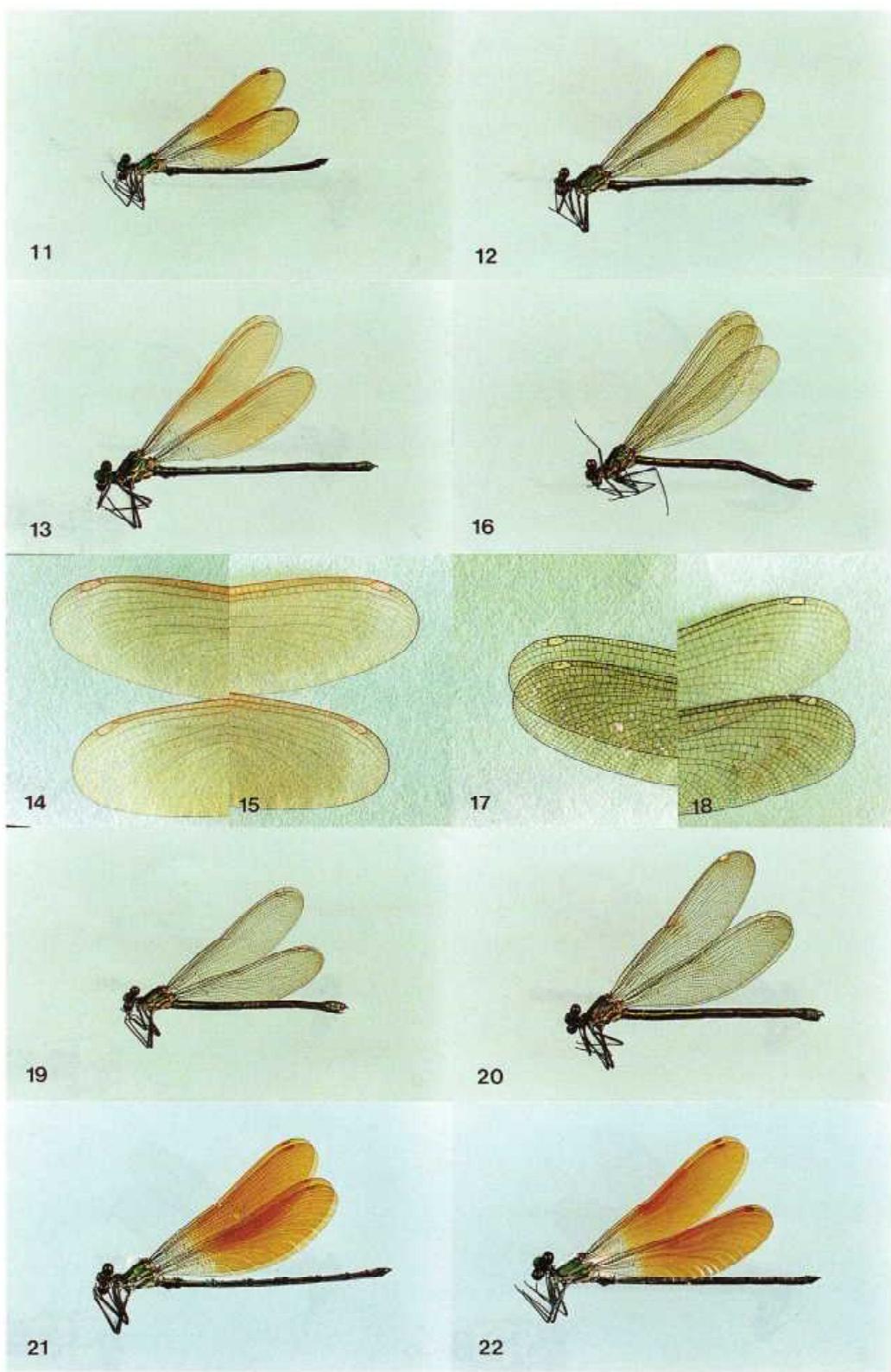
- 浜田 康・井上 清, 1985. 日本産トンボ大図鑑. 講談社, 東京.
- 井上 清, 1956. 鳴鶯目異常型2種. 新昆虫, 9 (6) : 43
- 小林利彰, 1983. カワトンボの縁紋異常の観察例. 月刊むし, 146 : 36
- 小林利彰, 1984. カワトンボの縁紋異常個体(続報). 昆虫と自然, 19 (14) : 34

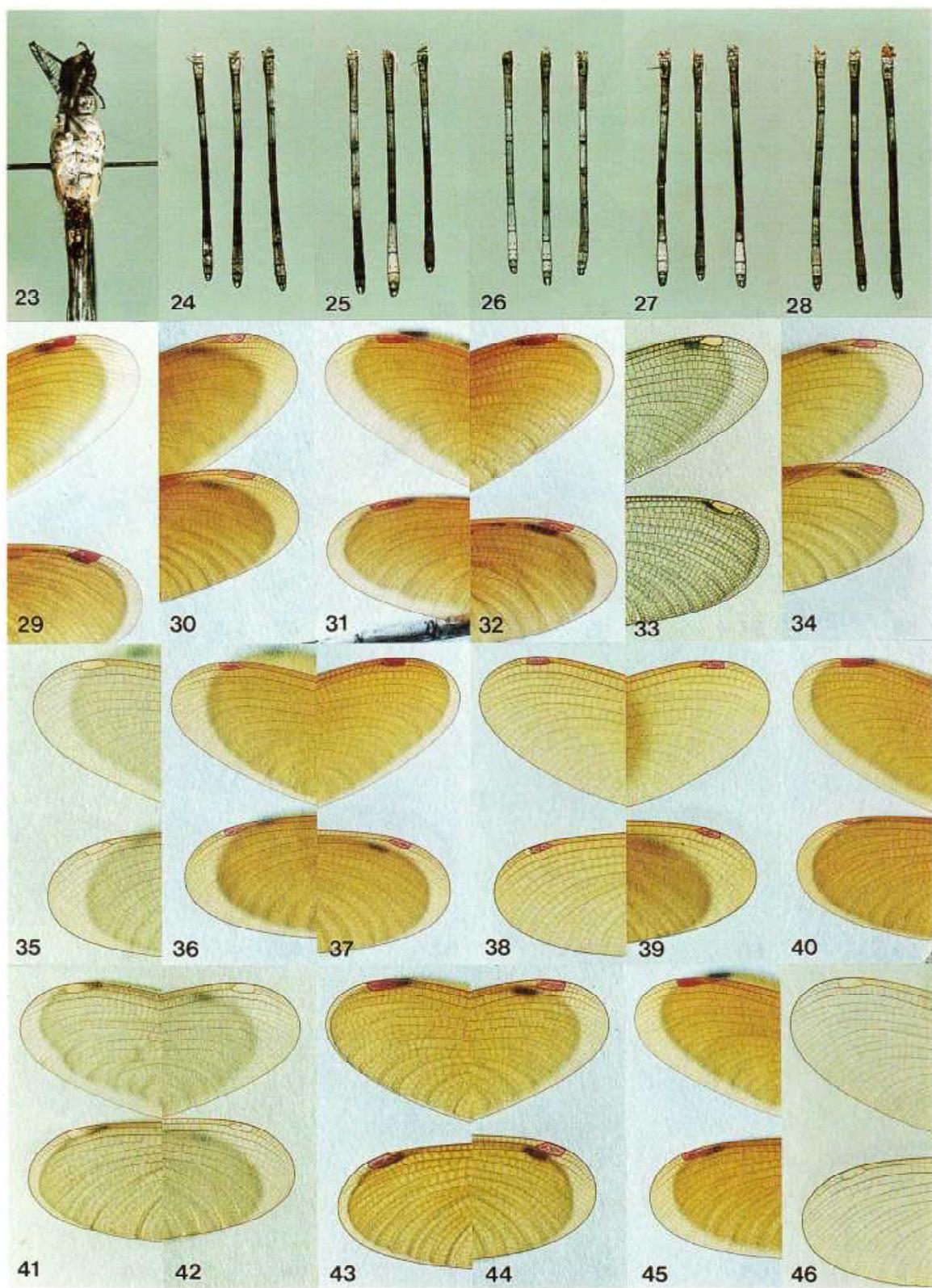
## 写真説明

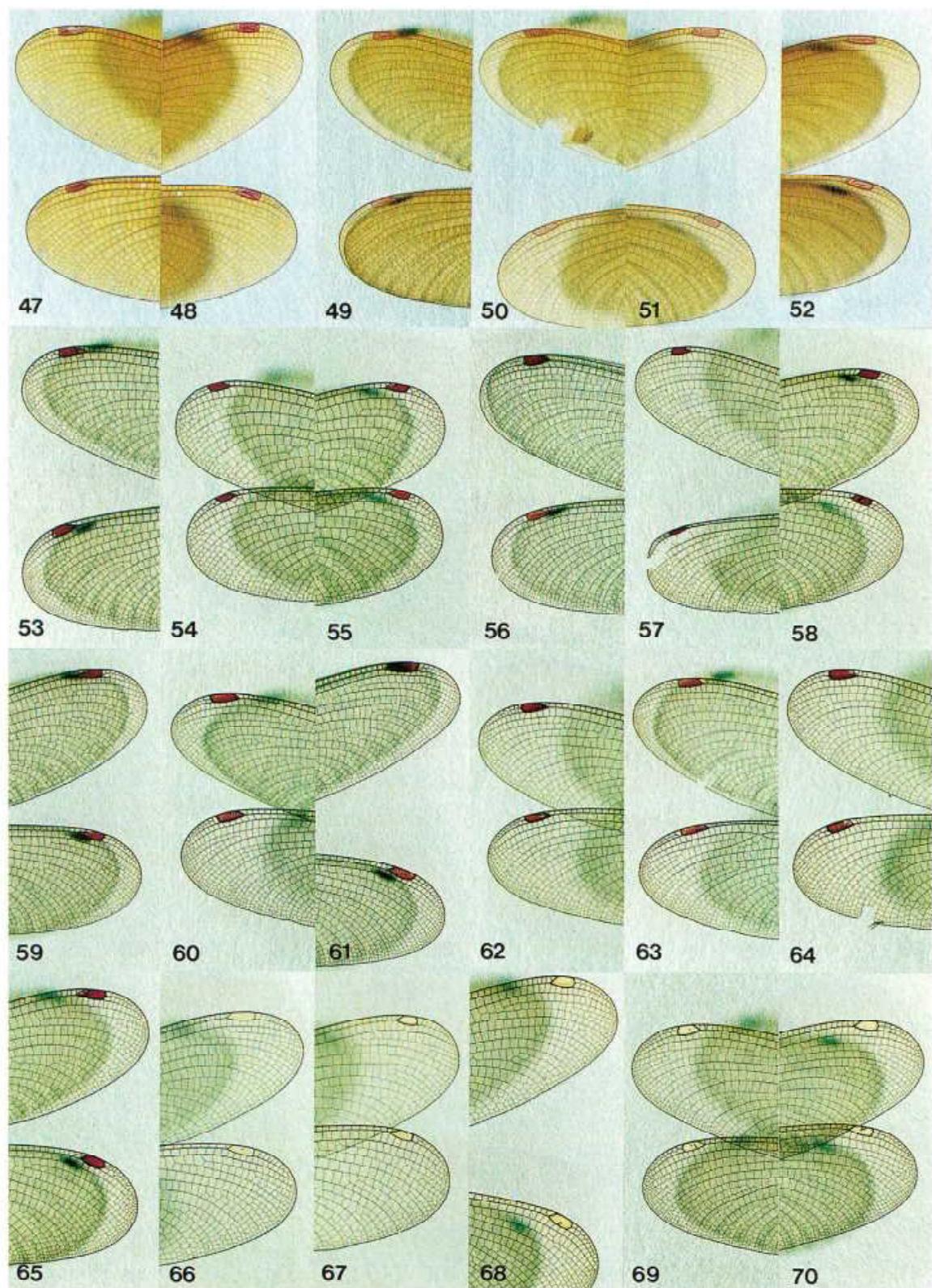
- 1 ♂ *nawai* (赤磐郡吉井町滝山本谷産)
- 2 *sahoi* (川上郡備中町上布瀬産)
- 3 *kadowakii* (総社市奥車産)
- 4 ♀ *nawai* (赤磐郡吉井町滝山本谷産)
- 5 *taketoi* (総社市奥車産)
- 6 *esakii* (川上郡上大竹小谷ヶ市上産)
- 7 *strigata* (真庭郡落合町別所産)
- 8 ♂ *shirozui* (作東町原産)
- 9 *sieboldi* (御津郡御津町石上大畠産)
- 10 ♀ *shirozui* (赤磐郡吉井町河原屋産)
- 11 *esakii* (邑久郡長船町磯上油杉産)
- 12 *strigata* (岡山市長野鳴谷峠産)
- 13 *esakii* (勝田郡勝北町奥津川産)
- 14 ♀ ( ) の右翅
- 15 ♀ ( ) の左翅
- 16 *sieboldi* (苦田郡鏡野町中谷柏ヶ谷産)
- 17 ♀ ( ) の右翅
- 18 ♀ ( ) の左翅
- 19 ♀ (上房郡賀陽町吉川西山産)
- 20 *taketoi* (苦田郡奥津町井坂産)
- 21 *esakii* (赤磐郡吉井町三軒屋産)
- 22 ♀ (川上郡川上町三沢大見産)
- 23 ♂ *shirozui* のアセトン未処理の後胸後腹板

24	<i>strigata</i> (川上郡川上町磐窟渓産) の腹部	69	タ	(真庭郡中和村山乘渓谷産) の右翅
25	タ (奈義町滝山渓谷産) の腹部	70	タ	( ) の左翅
26	タ (英田郡作東町白水石堂産) の腹部	71	タ	(苦田郡富村富東谷出合産) の右翅
27	タ (真庭郡八束村下長田柄の木産) の腹部	72	タ	( ) の左翅
28	タ (赤磐郡吉井町三軒屋産) の腹部	73	タ	(久米郡久米町宮部上中仙道産) の左翅
	以下はすべて縁紋異常個体	74	タ	(久米郡中央町打穴北秋政産) の左翅
29	♂ <i>nawai</i> (真庭郡中和村大原湿原産) の左翅	75	タ	(英田郡英田町北殿河内産) の右翅
30	タ (高梁市玉川町玉勘場産) の左翅	76	タ	(川上郡川上町穴門山神社産) の右翅
31	タ (岡山市西山内湯谷産) の右翅	77	タ	(川上郡川上町地頭南産) の右翅
32	タ ( ) の左翅	78	タ	(川上郡川上町三沢八頭産) の左翅
33	<i>taketoi</i> (真庭郡新庄村梨瀬産) の左翅	79	タ	(高梁市小高下町産) の左翅
34	<i>esakii</i> (勝田郡勝北町奥津川産) の左翅	80	タ	(上房郡賀陽町吉川西山産) の右翅
35	タ (川上郡川上町穴門山神社産) の右翅	81	タ	(上房郡賀陽町馬越産) の右翅
36	タ (川上郡川上町三沢大見産) の右翅	82	タ	( ) の左翅
37	タ ( ) の左翅	83	タ	(御津郡加茂川町尾原畑枝産) の右翅
38	タ (川上郡川上町上大竹小角産) の右翅	84	タ	( ) の左翅
39	タ ( ) の左翅	85	タ	(御津郡加茂川町尾原畑枝産) の右翅
40	タ (高梁市中井町西方大草持谷産) の右翅	86	タ	(御津郡建部町品田産) の右翅
41	タ (高梁市小高下町産) の右翅	87	タ	( ) の左翅
42	タ ( ) の左翅	88	タ	(小田郡矢掛町江良王子ノ前産) の左翅
43	タ (御津郡加茂川町畑ヶ鳴産) の右翅	89	タ	(小田郡矢掛町東三成車谷産) の右翅
44	タ ( ) の左翅	90	タ	( ) の左翅
45	タ (後月郡芳井町中村産) の右翅	91	タ	(総社市原滝山産) の右翅
46	タ (吉備郡真備町妹夜出産) の右翅	92	タ	(岡山市河原別所産) の右翅
47	タ (総社市久代山口産) の右翅	93	タ	( ) の左翅
48	タ ( ) の左翅	94	タ	(和気郡和気町日笠上金崎産) の右翅
49	タ (総社市小寺産) の右翅			
50	タ (総社市黒尾赤坂池上流産) の右翅			
51	タ ( ) の左翅			
52	タ (岡山市粟井大溪産) の左翅			
53	<i>strigata</i> (勝田郡奈義町滝山～那岐山産) の右翅			
54	タ (英田郡西粟倉村若杉産) の右翅			
55	タ ( ) の左翅			
56	タ (真庭郡久世町中原産) の右翅			
57	タ (英田郡美作町海田榎産) の右翅			
58	タ (英田郡作東町万善柳産) の左翅			
59	タ (高梁市上神崎産) の左翅			
60	タ (上房郡賀陽町吉川唐人山産) の右翅			
61	タ ( ) の左翅			
62	タ (上房郡賀陽町北東山産) の右翅			
63	タ (御津郡加茂川町尾原畑枝産) の右翅			
64	タ (岡山市原産) の右翅			
65	タ (和気郡和気町日笠上金崎産) の左翅			
66	♂ <i>shirozui</i> (御津郡加茂川町案田船帆産) の左翅			
67	<i>sieboldi</i> (阿哲郡哲西町奥産) の左翅			
68	タ (新見市灰ヶ峰産) の左翅			









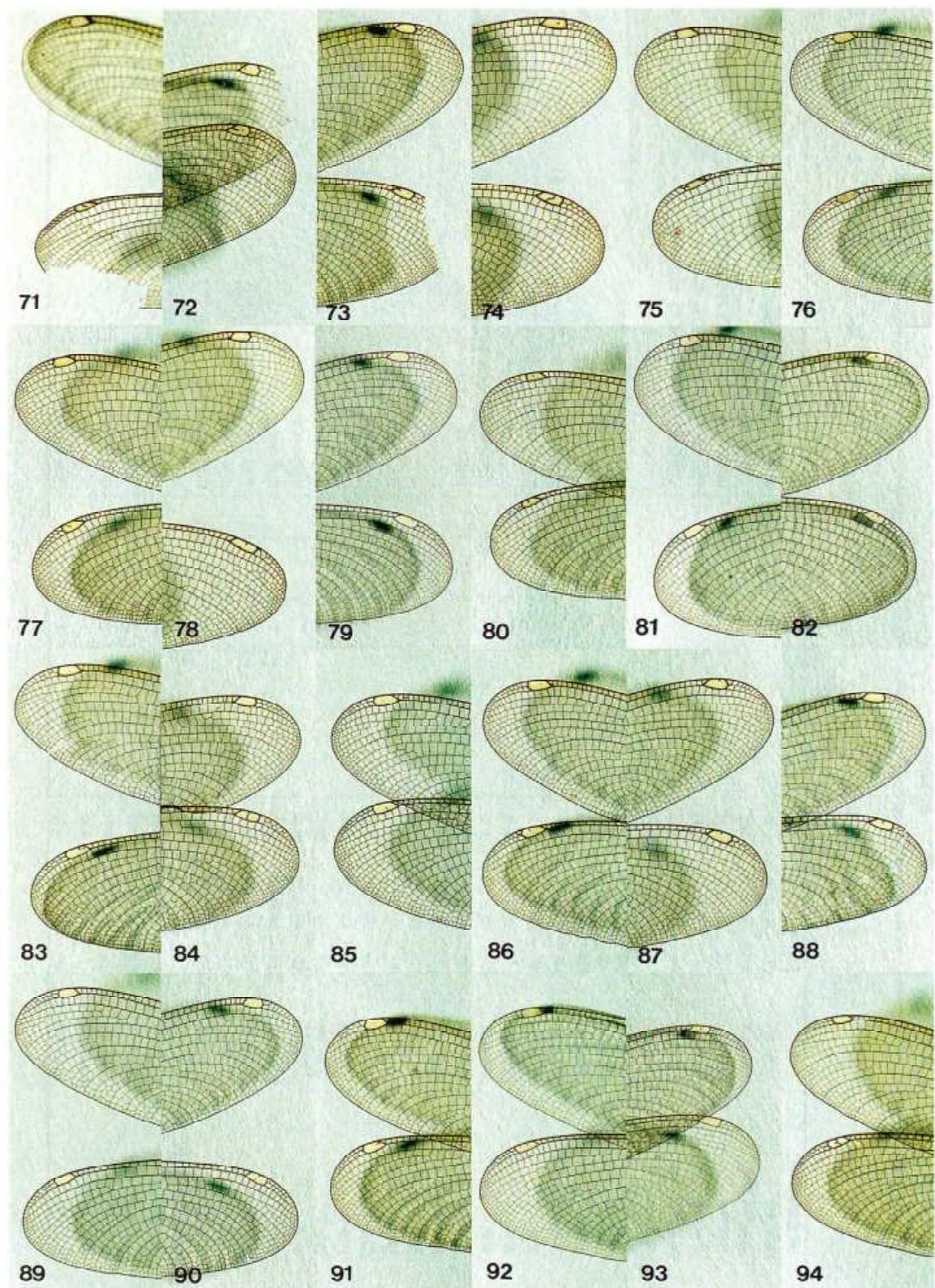


表1 高梁川水系

調査地名	メッシュコード	標高	調査年月日	調査者	オオカワトンボ				ニシカワトンボ				備考
					♂	♀	♂	♀	橙	無	無	無	
					淡	淡	無	無	黃	黃	黃	胸	
<b>[阿哲郡神郷町]</b>													
高瀬大原	52335204	650	89.6.4	小野			3	2					
高瀬野原釐尾	52335208	500	89.6.4	小野			1	1					
高瀬新田	52335208	500	89.6.4	中村			1	1					
高瀬塙田	52334297	510	89.6.4	中村			1	1					
油野吉田	52334267	510	89.6.4	中村			1	2	1	1			
油野吉田川	52334257	?	89.6.11	重井			2	1	1	1			
油野下油野	52334248	380	89.6.4	中村	2	1	1	1	2	5	1	1	
三室	52334246	?	89.6.11	重井			1	1	1	1			
三室喰	52334246	500	91.7.29	近藤			1	1					
三室喰ナメラ谷	52334246	500	92.5.19	小野			3	2					
青笠	52334234	760	92.8.3	注1			1	1	1	1			
青笠	52334235	?	89.6.11	重井			4	4					
青笠	52334235	650	92.8.3	注1			1	1					
青笠	52334235	580	89.6.25	中村			2	2					
弥平田川	52334227	?	89.6.11	重井			2	2					
神代	(52333381)	?	89.5.2	浅野			1	1					
<b>[阿哲郡西町]</b>													
上神代千子	52333288	500	90.7.15	中村			1	1					
日長谷	5233266	430	89.6.25	脇本			1	7	4				
日長谷	5233266	380	89.6.25	脇本			2	1	1				
荒堀	5233225	420	89.6.25	脇本			5	5	3				
荒堀	5233225	510	89.6.25	脇本			2	1	1				
矢田奥	5233227	410	89.6.25	脇本			2	2	2				
矢田矢田谷	5233207	410	89.6.25	脇本			6	2	1				
矢田矢田谷	5233208	490	89.6.25	脇本			1	1	1				
<b>[阿哲郡西多町]</b>													
本郷城谷	52333315	260	89.5.28	中村	3	5	3	5	2	1			
花木中組	52333317	285	89.5.28	中村			1	3					
田潤引無	52333302	470	89.5.28	中村			2	4	1				
おもっぽ温泉	(52332391)	?	94.6.1	重井			1	1	1				
萩尾井原	52332388	380	89.5.28	中村			4	2	1				

[新潟市]	千屋井原瀬	52335376	620	89.6.18	小野	2	3	開けた明るい場所。
	千屋井原节金崎	52335368	730	89.6.18	小野	4	1	
	菅生別所源流	52335308	?	89.6.18	重井	2	3	
	菅生別所	52334398	500	89.8.5	林	1	1	
	灰ヶ峰	52334368	?	89.6.18	重井	1	4	3 狭道へりの西向き斜面の沢筋。小さな渓流。
	上市畠原	52334321	300	89.6.4	中村	1	4	山側の轟田の轟の細流。
	豊永字山場川	52334446	300	89.6.11	中村	1	1	
	草間羅生門	52334425	420	86.6.12	青野	2	1	1 豊山道脇の幅1m程度の小流。
	法曾渓渡寺付近	52332462	490	89.6.18	脇本	2	1	日当たりのよい谷。
	法曾下大柏	52332453	140	89.5.22	脇本	2	1	日当たりのよい谷。
	法曾下大柏	52332453	110	89.5.28	中村	1	1	日当たりのよい谷。
	法曾上大柏	52332442	210	89.5.22	脇本	2	1	
[川上郡朝日町]	西山	52332229	260	92.6.14	中村	1	1	
	西淀町佐原日	52331391	370	89.6.3	渡辺	2	2	1 鉛木施入口付近の渓流。
	平川小垣	52331331	440	89.7.8	林	1	1	0.5m程度の沢。薄暗い中で光の当たる場所に多い。
	平川後谷上流	52331322	220	89.6.3	渡辺	2	1	幅1m、道路下2m。水面付近の明るい環境で採集。
	布瀬上布瀬	52331316	150	89.5.14	渡辺	3	4	本流2m、支流1m程度。支流にニシが多い傾向があった。
	布瀬舞童渓	52331305	240	89.5.14	渡辺	3	4	滝つぼの周辺に多い。全体に明るい環境。
[川上郡筑羽町]	坂本矢光	52332334	370	89.6.4	渡辺	1	1	幅3mの堰堤付近。十二分に明るい環境。天神山北山麓。
	下日名渡瀬	52331425	120	89.6.4	広橋	2	1	谷間の水田脇の細流。両側を灌木が覆い日当たり悪い。
	上日名絆谷上	52330492	180	89.6.11	広橋	2	2	水田脇の50cm程度の渓流。日当たりはよい。
[川上郡川上町]	高山市穴門山神社	52330381	440	89.5.2	脇本	3	6	神社下の渓流。山側で日当たりはあまりよくない。
	高山市穴門山神社	(52330381)	?	89.5.28	浅野	3		
	地頭西谷	52330388	220	89.5.21	渡辺	2	1	橋脚近くと水田脇の水路の水面附近に多い。
	地頭南	52330368	180	89.5.21	渡辺	2	1	山際の急な谷。水田との境界付附近に多い。
	三沢八頭	52330369	170	89.5.21	渡辺	1	2	eskeは流れに張り出した枝先や低い位置で占有。
	三沢大見	52330450	180	89.5.21	渡辺	2	2	1 山と水田の間の1m程度の水路の水面近く。薄暗い環境。
	上太竹小谷ケ市上	52330366	210	89.5.21	渡辺	2	2	1 水田脇の本路上流の樹木が見られるようになった医通。
	上太竹高瀬	52330354	320	89.6.4	広橋	2	2	1 1m程度の渓流より5-6m高い道路沿いで散発的に採集。
	上太竹小角一左屋	52330345	280	89.5.21	渡辺	2	2	1 1.5m程度のやや緩やかな流れ。水面近くにeske。
	上太竹豊坪	52330334	350	89.5.14	広橋	2	1	流れが見えないような細流の筋水上。日当たりは良好。
[高槻市]	中井町西方持谷	52333415	210	89.5.14	中村	1	9	渓谷入口付近。日当たりよく、流れもゆるやかな場所。
	中井町西方大草持谷	52332455	230	89.5.22	脇本	1	4	山側の日当たりのよくない渓流。

表1 続き

調査地名	メッシュコード	標高	調査月日	調査者	オオカワトンボ♂		ニシカワトンボ♂		備考	
					橙	淡	無	橙	無	黄
中井町西方毛作	52332489	250	91.6. 9	広瀬	1	1	1	1	1	1
巨瀬町篠地東	52332532	200	91.5.26	広瀬	2	1	1	1	1	1
巨瀬町篠地東	52332532	250	90.7. 8	中村	1	1	2	1	1	2
巨瀬町篠地東	52332522	300	89.5.29	青野	1	1	1	1	1	1
宇治町遼原	52332411	420	89.5.14	中村	2	1	1	1	1	1
宇治町遼原	52332411	420	89.6. 4	中村	2	1	1	1	1	1
宇治町宇治治	52332318	360	89.6. 4	渡辺	1	1	1	1	1	1
宇治町宇治樂原	52331481	390	89.5.14	中村	3	3	2	2	2	2
高倉町飯部眠里	52332414	180	89.5.14	中村	1	1	1	1	1	1
高倉町飯部萬谷	52332424	130	89.5.22	脇本	1	1	1	1	1	1
松原町松岡畑谷	52331474	280	89.5.14	中村	3	1	1	1	1	1
落合町福地本村	52331463	170	89.5.14	中村	1	1	1	1	1	1
津川町出口	52331580	?	89.5.21	重井	2	2	1	1	1	1
小瀬下町	52331560	230	89.5.10	青野	5	5	4	4	4	4
小瀬下町(夙牛山)	52331560	200	89.5.14	山地	5	7	2	2	2	2
松山河内谷	52331419	100	89.6.18	脇本	2	2	2	2	2	2
上神崎	52331427	110	89.5. 2	脇本	4	2	5	5	5	5
上神崎(道谷川)	(52331427)	?	89.5.22	渡部	10	11	3	3	3	3
玉川町玉鶴場	52331407	60	89.5. 3	脇本	8	1	2	4	4	4
玉川町玉鶴場	52331407	70	89.5. 3	脇本	5	2	1	2	2	2
玉川町玉満山	52330498	175	87.5. 4	松本	2	1	1	1	1	1
玉川町玉大沢	52330488	200	85.5.12	青野	1	1	2	4	2	2
玉川町玉舟津上	52330498	60	89.5.14	脇本	1	1	2	4	3	2
玉川町玉舟津上	52330498	70	89.5.14	脇本	5	1	2	4	3	2
玉川町増原下村	52330487	220	89.5.14	脇本	4	2	4	4	2	2
[上原郡有漢町]					谷間の最も奥の1.5m程度の流れに沿って個体数が多い。					
上有漢中淮	52335523	300	90.6.10	広瀬	2	2	2	2	2	2
上有漢下金倉	52335506	330	91.5.11	渡辺	1	2	1	2	1	1
有漢上横見	52332575	300	90.6.10	広瀬	1	4	3	3	3	3
有漢山形有漢池	52332553	310	89.5.29	青野	2	3	4	4	4	4
[上原郡賀茂町]					ダム真下の細流。樹木に覆われているが個体数は多い。					
上竹縄目ダム	52331594	310	89.5.29	青野	2	1	2	2	2	2

上竹	52331583	240	91.5.11	渡辺		1	1	1	1	1	1
北東山	52331587	400	89.5.21	中村	1	1	1	1	2		
吉川唐人山	52331588	320	89.4.30	渡辺	1	1	1	1			
吉川唐人山	52331588	320	89.5.5	注2			5	1			
馬越	52331588	240	89.5.4	脇本	1	1			1		
馬越	52331588	220	89.5.4	脇本	1	2	1	1	1		
龜谷(細谷向)	52331525	250	89.5.21	中村		5	7	2			
龜谷	52331525	250	89.6.18	広瀬		1	1	2			
[後月野芳井町]											
東三原出谷	52330360	430	89.5.14	広瀬		3	1	2			
西三原高松	52330351	370	89.5.14	広瀬		1	1	1			
片家中村	5233734	95	89.5.13	注3		5	8	4			
[笠岡市]											
山口山口	51330483	80	89.5.7	広瀬		1	1	1			
尾坂道万	51330484	150	89.5.7	広瀬							
[小田郡美星町]											
明治本谷下	52330483	200	89.5.14	渡辺		1	3	1			
明治洗場口~長谷	52330483	320	89.5.14	渡辺		1		2			
字戸谷上~越出	52330484	250	89.5.14	渡辺		2	1	1			
[小田郡美星町]											
上高末鬼ヶ岳	52330487	160	89.5.14	渡辺				2			
上高末羽無上流	52330489	220	89.5.3	広瀬				2			
上高末羽無下流	52330488	140	89.5.3	広瀬	2	1	2	1			
上高末一ノ辺	52330488	120	89.5.3	広瀬			3	1			
内田園谷	51337486	140	89.5.3	渡辺	4	1	2	1			
字角谷本	51337488	90	89.5.3	渡辺	4	1	2	1	5	2	2
字角谷本	51337488	?	89.5.4	重井	1						
字角谷本上流	51337489	160	89.5.3	渡辺				1			
宇内馬場	51337483	85	90.4.30	中村				1	1		
東三成車谷	51337459	80	89.5.3	渡辺				4	2	3	
東三成車谷	51337459	70	89.5.4	広瀬				1	2	2	
江良王子ノ前	51337426	80	89.5.4	広瀬				2	2	2	
浅海日暮	51337415	60	89.5.4	広瀬				2	1	1	
横谷大渡	51337500	80	89.5.3	広瀬				1	2		
南山田円邊坊	51337469	100	89.5.3	広瀬				3	2	3	

表1 続き

調査地名	メッシュコード	標高	調査日	調査者	オオカワトンボ♂		ニシガフトンボ♂		備考	
					橙	無	淡	無	橙	無
<b>[越後市]</b>										
原流域	52331489	?	89.5.21	重井	4	5	4	2	1	山間の水田と山裾に挟まれた幅2m程度の渓流べり。
中尾奥	52330458	160	89.5.14	中村	2	2	1	1	1	
中尾奥	52330457	?	89.5.21	重井	1	1	1	1	1	水田の中を流れれる渓流沿い。夕方のため個体数少ない。
美後志島	52330572	60	89.6.11	広瀬	3	2	1	1	1	山間の細い流れ。
日羽作原	52330563	70	89.5.20	脇本	3	2	1	1	1	
日羽谷川上流	52330595	9	89.5.21	重井	1	1	3	2	1	最上流部。川幅2m。水量は少ないが深せば見つかる。
日羽奥車上流	52330585	130	89.5.5	脇本	2	3	1	1	1	川幅2~3m。両岸の高さは2m程度。
日羽奥車上流	52330585	110	89.5.5	広瀬	1	2	1	1	1	奥車下流より川幅やや狭まるが、よく似た環境。
日羽奥車	52330575	80	89.5.5	脇本	2	2	1	1	1	両岸は1mくらいの草本や灌木。山側は落葉樹が繁茂。
日羽奥車	52330565	50	89.5.5	広瀬	1	1	2	1	1	川幅20m。水幅3m、岩の上に静止するもの多數。
日羽奥車下流	52330565	60	89.5.5	脇本	3	2	1	2	1	幅2~3mの明るい環境。大小の岩が散在し個体数多い。
日羽向田	52330565	40	89.5.5	広瀬	2	1	1	3	1	川幅2mくらい。一部に開けた明るい空間に個体数多く。
下倉観(鶴谷川上流)	52330590	90	89.5.5	広瀬	1	1	3	1	1	櫻谷川に沿って最も上流までを調査。
下倉観	52330550	110	89.5.20	脇本	9	6	9	6	3	当たりによく、個体数も少なくない。
下倉観(桜谷)	52330551	50	89.5.5	広瀬	3	1	3	1	2	幅1~2mの縦やかな流れ。谷幅はやや広く開放的な環境。
鶴谷畑野下流	52330558	120	89.5.5	注2	11	1	8	4	1	川幅3~4mの渓流。多数のオオカワを目撲。
鶴谷畑野下流	52330598	140	90.5.13	広瀬	2	1	1	1	1	山間の幅0.5~1m程度の渓流。
久代山口	52330514	100	89.5.27	中村	3	1	3	1	3	1潘造から流れ出る水田脇の0.5~0.8m程の細流。
新本郷生	51337590	89	89.5.14	渡辺	1	1	1	1	1	
<b>[吉備郡真備町]</b>										
市場上田口	51337573	200	89.5.3	渡辺	4	5	4	5	5	未報続。林内に開けた空地。近辺でesakii発見できず。
妹夜出	51337551	?	89.4.29	重井	3	3	3	3	1	
<b>[都窪郡清音村]</b>										
黒田	51337640	50	89.5.28	小野	1	1	1	1	2	車の通る道路上。比較明るい環境。
<b>[倉敷市]</b>										
玉島隔浜高	51337523	210	89.5.3	小野	1	1	1	1	1	小さな流れだが急流で高のよう。比較的明るい。
<b>[広島県福山市]</b>										
山野町山野堂谷	52330239	260	91.6.12	小野	1	2	2	2	2	大きな流れだが急流で高のよう。小さな急流。
山野町山野櫻鳴峠	52330239	260	91.6.12	小野	1	2	1	2	1	開けた明るい場所。大きな樹木に覆われ、比較的暗い部分が多い。
山野町山野島串	52330229	250	91.6.12	小野	1	2	1	2	1	大きな樹木に覆われ、比較的暗い部分が多い。
山野町山野田原	51337299	150	91.6.12	小野	1	1	1	1	1	やや大きな急流。開けていて日当たりもよい。

表2 河川水系

調査地名	メッシュコード	標高	調査年月日	調査者	オオカワトンボ♂		ニシカワトンボ♂		備考	
					淡	無	淡	無	黄	色
<b>[真庭郡川上村]</b>										
湯船湯船谷	52337581	580	92.6.21	渡辺			3	1		
明連渓谷	52337479	550	92.6.6	中村			2	2	2	
下徳山苗代	52337459	510	92.6.6	中村	3	1	2	2		
上徳山天王	52337438	530	89.7.15	林						1
本茅部南田	52337429	550	89.7.15	林						1
西茅部郷原	52337510	520	92.6.21	渡辺			1	2		
<b>[真庭郡八束村]</b>										
上長田前の木屋	52337577	500	92.6.21	渡辺			3	1		
下長田原林	52337630	470	92.6.6	中村			1	2	1	
下長田板の木	52337529	440	92.6.21	渡辺			1	3	1	
<b>[真庭郡中和村]</b>										
大原湿原	(52337643)	?	94.5.22	重井	4	1				1
吉田浜子	52337623	530	89.7.23	林						1
下和荒井	52337601	490	91.5.18	山地	2	1	1	1		
眞加子	(52336690)	?	94.5.22	重井			1			
一の茅山東渓谷	52336692	520	92.6.5	脇本	2		8	4	5	
一の茅山東渓谷	(52336693)	?	88.7.8	重井			1		2	
一の茅桜杉渓谷	52336673	650	92.5.5	脇本			2	5	1	
山乗山	52336654	950	90.6.24	山地			1	1	1	
<b>[真庭郡新庄村]</b>										
毛無山	(52336471)	?	94.6.5	重井			3	3	3	
野土路金ヶ谷入口	52336476	630	92.6.6	中村			1	1	1	
野土路長谷倉谷	52336476	760	91.6.6	青野			1	2	2	
高下	52336445	610	91.6.6	青野			2	3	2	
井手原の支流	52336446	600	91.6.6	青野			5	5	2	
井出原	52336446	580	92.6.21	渡辺			1	1	1	
梨瀬	52336425	510	91.6.6	青野	2	3	1	2		
<b>[真庭郡美甘村]</b>										
鉄山大程	52336512	480	92.5.31	中村			2		1	
【真庭郡湯原町】	52337650	550	91.6.16	近藤					1	
白根										

表2 続き

調査地名	メッシュコード	標高	調査年月日	調査者	オオカワトンボ				ニシガワトンボ				備考
					♂	♀	無	無	♂	♀	無	無	
色	色	橙	淡	橙	色	色	色	色	黄	黄	黄	黄	
豊栄羽部 本庄原尻	52336536 52336515	420 390	92.5.31 92.5.31	中村 中村	1	1	1	1	2	2	2	2	山間の当たりのよい渓流。 錆川の河原。明るく開放的な環境。
[真庭郡勝山町] 曲り流ノ上 神庭	52335437 (52335515)	590	96.7.14 ? 89.5.14	中村 中村	1	1	1	1	2	1	1	1	水田地帯にある両側に低木の茂った渓流。
福谷上福谷 江川下江川	52335515 52334594	190 190	92.5.5 89.5.4	浅野 浅邊	1	1	2	1	1	1	1	1	集落入り口付近の日当たりのよい明るい渓流。幅約16cm。 オオ成熟、ニシ未成熟。上流域でオオを確認。明るい。 流れの緩やかな渓流。谷沿いの細流にニシが多い傾向。 明るい川面にぎわい道沿いのやや暗い部分に黑色塊。
荒庄荒田 若代神谷	52334572 52334468	220 320	89.5.4 89.7.16	注3 中村	2	1	1	1	1	1	1	1	山間の樹田沿いの渓流。
[真庭郡久世町] 慾西中層 慾西伏ヶ茅~山生 中原	52336553 52336442 52336583	270 275 190	92.5.31 92.5.31 90.5.13	中村 中村 青野	2	2	1	1	2	4	2	1	やや広い渓谷の幅広い渓流。 やや広い渓谷の幅広い渓流。
[真庭郡落合町] 日名神の毛 別所別所	52334557 5233512	250 290	91.5.26 91.5.19	渡辺 渡辺	1	1	1	1	1	1	1	1	当摩川の支流。午前中は日が当たるが午後は陰る。 山と水田の間の谷川。日当たりはあまりよくない。
木山木山神社 鹿庄施田	52334517 52335578	410 180	91.5.26 91.5.26	渡辺 渡辺	1	1	1	1	1	1	1	1	神社周辺の細流に個体数も多い。
旦土真賀尻 上山中郷南	52334652 52334630	150 330	91.5.26 91.5.26	渡辺 小野	1	1	1	1	1	2	1	1	山程の小川。午後は日当たりが悪そうだった。 道路沿いの非常に明るい水面附近に多く見られた。 小さな渓流。やや開けて明るく直射日光が当たる。
[吉田郡富士村] 富東谷出合 富西谷立尾 富西谷篠坂 富西谷大倉	52336619 52336614 52336605 52336694	520 490 520 410	91.7.14 92.5.31 90.6.23 92.5.31	広瀬 中村 中村 中村	1	1	1	1	1	1	1	1	川幅2~3mで水量豊富。個体数も多い。 山程のやや広い渓流。
[久米郡泡町] 中松田 中猿 北幻住寺 北足定 里七部田	52334646 52334626 52334730 52334629 52333576	390 340 390 330 300	89.6.18 90.6.3 89.5.5 89.5.5 90.5.5	中村 中村 中村 中村 野鳥	1	1	1	1	2	1	1	2	山間の樹田沿いの細流。本流ではない。 山間の渓流。 滝め池の周囲につづけられた歩道の周辺で確認。 未成熟。小さな谷沿いの滝め池周辺。雨天のみ流れ？ 未成熟。

西群和稻目	52333646	100	91.5.18	山地	1	2	旭川瀬に流れ込む支流。
【久米郡久米南町】							
羽出木大谷	52343650	140	90.5.27	渡辺	2	2	山間の溪流。木洩れ日も当たらない薄暗い環境。
上弓削大家	52333727	170	90.6. 3	中村	2	2	山腹の溪流。
【御津郡加茂川町】							
福沢福沢西	52333518	290	91.5.11	渡辺	2	1	水田脇の溪流に個体数も多い。
福沢福沢西	52333518	300	91.5.26	小野	2	5	道路に沿って流れる小さな溪流。直射日光が当たる。
尾原垂目	52332598	320	91.5.26	庄瀬	1	1	北斜面の急な流れ。昼間は木洩れ日が差しそう。
尾原宮坂	52332599	280	91.5.11	渡辺	2	1	道路脇の鷹田側の細流。比較的明るい環境。
尾原烟枝	52332578	360	91.5.11	渡辺	2	2	山腹の小溪流。灌木はあるが水面に直射日光が届く。
尾原烟枝	52332578	320	91.5.26	庄瀬	1	1	
尾原畠山	52332578	470	91.5.26	庄瀬	1	1	
高富五男	52332695	250	92.5.17	山地	2	2	五明から小森温泉へ下る途中の道べりの沢。
衆田船丸	52332685	350	90.5. 6	渡辺	1	1	未成熟。開けた環境で個体数は多い。
烟ヶ鳴	52332685	220	91.5.11	中村	1	1	明るい山瀬を流れる細流。
下加茂踏谷	52332644	190	89.5. 5	渡辺	1	1	鷹田下、道路脇の細流。日当たりよいが水面に届かず。
下加茂	52332645	160	91.5.11	中村	2	1	日山ダムへ至る渓谷。あまり日当たりはよくない。
下加茂大下	52332625	150	91.4.28	澤田	1	1	
下加茂大下	52332625	150	91.5. 5	澤田	1	1	
下加茂大下	52332616	110	89.6.11	山地	1	2	宇甘川に流れ込む支流の林間に多い。本流にはいない。
【御津郡御津町】							
角石谷大地	52332790	140	91.5.11	中村	4	3	山間のよく樹林の茂ったやや深い渓谷。
川口高浜	52332782	125	91.6.15	山地	4	1	林の中の沢。
下神目宮の前	52332763	80	90.6. 3	中村	1	2	志呂神社から久米南町方向に至る渓谷の人口付近。
品田	52332760	130	91.5.11	中村	3	1	やや幅広い日当たりのよい渓流。
品田	52332659	190	91.5. 4	渡辺	1	1	未成熟。
田地子菖蒲	52332638	260	91.5. 5	澤田	3	1	
田地子菖蒲	52332638	260	92.6. 9	澤田	2	2	
大田上谷	52332736	160	90.5.27	中村	2	2	山間の小さな沢。
【御津郡御津町】							
石上大瀬	52332708	120	90.5.27	渡辺	3	3	道路脇、谷あいの水田周辺。谷が狭く日当たり悪い。
紙工久保	52331679	80	90.5.16	織田	2	2	
高津菅	52331753	100	90.6.10	中村	2	4	ナラガシワを中心とした雑木林内。
河内新田	52331720	140	90.5.20	中村	2	2	山間の溪流及び林道の周辺。
芳谷瀬谷	52331718	50	90.6. 2	安井	3	2	
中山	(52330733)	?	89.4.29	重井	4	4	

表2 続き

調査地名	メッシュコード	標高	調査年月日	調査者	オオカワトンボ				ニシカワトンボ				備考
					♂	♀	♂	♀	♂	♀	無	黄	
<b>[上房郡北房町]</b>													
阿口原沢	52334419	450	91.5.19	渡辺			2	4	1		集落北東部の明るく開けた谷で多く見られた。		
阿口草谷	52334500	410	91.5.19	渡辺			1				木田中を流れる用水。環境はよいが個体数少ない。		
<b>[上房郡東陽町]</b>													
田土生	52332528	300	91.5.5	広瀬			1				流水は少なく、劣悪な環境。		
湯山大岩	52332610	370	91.5.4	渡辺			1				未成熟。山中の湿地的な場所。流れは確認していない。		
湯山極楽寺	52332507	300	91.5.5	広瀬			1				川幅3m。上空はまばらに樹木が覆う。個体数は多い。		
吉川布郡	52332509	380	91.6.22	近藤			1						
吉川布郡	52332509	380	92.5.4	近藤			1						
吉川西山	52331588	410	89.5.21	中村			1				山間の開田の最奥部にある湿地とその周辺の溪流。		
<b>[岡山市]</b>													
幸佐	52330768	50	90.6.2	安井			2						
原	52330745	20	91.5.26	井上			2						
中原龍ノ口山	52330747	30	91.4.28	井上			4						
幸佐地蔵	52330758	30	90.5.4	安井			3				一部未成熟。		

表3 吉井川水系

調査地名	メッシュコード	標高	調査年月日	調査者	オオカワトンボ				ニシカワトンボ				備考
					♂	♀	♂	♀	♂	♀	無	黄	
<b>[吉田郡上荘原村]</b>													
中津河上流	52337788	720	92.6.6	中村			3				明るく開けた渓谷。		
恩原	52337779	750	90.6.23	近藤			1				恩原湖に流入する恩原川。個体数は普通。		
人形峠西側	52337753	680	90.6.23	近藤			1						
宮ヶ谷	52347050	780	90.6.24	渡辺			3				渓流脇の林内から林道にかけて飛んでいた。		
森林公園の下	52337730	700	90.6.23	近藤			1						
森林公園の下	52337730	700	92.8.2	田辺			1				遠縄一倉見の幹から三一人ヶ仙方向へ行ったあたり。		
三一人ヶ仙	52347031	960	91.7.6	山地			1						
<b>[吉田郡東津町]</b>													
下荘原明王寺	52337714	500	89.5.28	山地			1				三が上のふもとの明るい沢。		
羽出西谷右曾	52336677	600	91.6.15	山地			1				林間の沢の明るい空間		

羽出西谷(瀧尾～原)	52336669	480	91.6.15	山地	1	1	
奥津(大神官原入口)	52336764	400	92.5.6	中村	1	3	
井坂(若田分校付近)	52336722	300	86.5.17	厚田	1	2	
井坂 箱	52336722	300	89.3.8	織田	8	6	
	52336700	430	90.6.24	広瀬	1	3	水田の広がる大きい谷間。幅1.5m。水量豊富。
[吉田郡綾野町] 越畑	52336788	630	92.6.6	中村	1	2	1
岩匠へごくら	52336718	320	92.6.6	中村	1	2	1
大町中林	52336707	320	92.6.6	中村	1	1	1
寺和田灰谷	52335756	210	90.5.27	中村	4	1	1
中谷柏ヶ谷	52335721	170	90.6.3	広瀬	3	1	1
[吉田郡加茂町] 倉見根知	52347043	940	90.6.23	中村	1	1	アナ林中の溪流。(林道上)
倉見根知	52347043	940	91.7.6	中村	2	1	アナ林中の溪流。やや小形。euchibiは未確認。
黒木暮木	52346053	320	90.5.27	中村	6		山程の水田との間の溪流。
[吉田郡阿波村] 大杉	52347029	560	89.7.5	尾閥	3		
大高下落合渓谷	52347100	650	89.7.30	安井	4		
竹之下	52346170	470	89.7.5	尾閥	1		
[勝田郡勝北町] 奥津(II)	(52345098)	?	89.5.15	渡部	2	5	4
[勝田郡奈義町] 滝本滝山	52345182	650	90.5.27	山地	2		1 津地域の山道に多数見られた。浅神社付近。
滝本滝山山麓	52345172	530	90.5.27	中村	7		1 滝山登山口の上流。
滝本滝山渓谷	52345172	450	89.7.13	尾閥	4		1 滝山～新岐山間の谷の溪流。
滝山一那岐山	52345173	450	90.5.27	中村	3		
[久米郡久米町] 官部上仲仙道	52335508	210	90.6.3	中村	2		1 山間の溪流。
坪井上羽根木	52334567	230	90.6.3	中村	3		1 山間の溪流。
里公文高麗	52334731	190	90.6.3	小野	1		1 ダムの奥の日光の当たる明るい場所。
油木上谷組	52334700	300	91.5.11	中村	2		1 山間の溪流。谷筋の棚田の最高部。
[久米郡中央町] 打穴北秋政	52333783	310	90.6.3	広瀬	2		1 鮎ヶ沢の水田の上流部に限って確認できた。
[津山市] 上櫛野奥谷	52345070	350	90.6.3	中村	7		斜面の溪流で流れは速い。日当たりのよい水田地帯。
[美田郡東栗倉村] 後山志引野中腹	52345382	530	90.6.10	小野	3		樹木に覆われ、ほとんどの日中直射はないと思われる。

表3 続き

調査地名	マッシュコード	標高	調査年月日	調査者	オオカワトンボ			ニシカワトンボ			備考
					♂	♀	♂	♀	♂	♀	
<b>[美田郡西栗倉村]</b>											
若杉	52346381	970	89.7.19	尾関			4				
長尾別荘(引谷川)	52346297	310	90.6.3	山地			1				護岸されており個体数は少ない。
<b>[美田郡美作町]</b>											
海田梗	52343153	120	90.5.26	中村			2	3	1		山脚の小さな沢。舍利谷川上流。
<b>[美田郡作東町]</b>											
小房	52345210	310	90.5.4	末宗			1	1			
南海	52344137	210	89.5.5	末宗			1				
原	52343197	200	92.5.17	渡辺			1				
竹田	(52343189)	?	90.4.29	井上			1	1			集落上流部の明るい溪流。個体数は少ない。
竹田	52343189	150	90.4.29	末宗			2	2			
田潤	52343167	200	90.4.29	末宗			2	2			
角南	52343168	190	91.4.29	末宗			1				
白水	(52343250)	?	90.5.20	井上			2				
白水	(52343250)	?	91.4.29	末宗			3	2			
白水石堂	52343240	205	92.5.17	注3			8	2			集落の上流から女滝手前の橋の間。様々な環境にいた。
袖ヶ原中才	52343148	250	92.5.17	注3			7	1			
万番柳	52343125	200	92.5.17	中村			1	1			山裾の溪流。
<b>[美田郡大原町]</b>											
金谷	52345263	350	91.6.18	末宗			2				
川上	52345233	40	91.6.18	末宗			2				
<b>[美田郡美田町]</b>											
鳥淵	52343130	80	90.4.27	野嶋			2				1 未成熟。
尾谷	52343131	70	92.5.17	中村							1 山裾の細流。水量は少ない。
福本天神	52343100	85	92.5.10	注3			1				2 山間の奥の伐採された明るい場所。
北殿河内	52343105	150	90.4.30	山地	1						水田と山の間の広い小川。
北殿河内	52343105	160	92.5.17	注3	2		2		1	2	山裾の溪流。
滝宮天石門別神社	52343116	180	90.4.30	山地					1		神社境内。
滝宮ダム上流	52343127	200	90.4.30	山地					1	1	官地川上流。
滝宮横川	52343106	170	90.5.20	中村	5		4		5	1	2 魚石川沿いの渓谷。約5m程度。緩やかで日当たり良好。
上山下谷	52342181	130	92.5.17	注3			1	5	1		
横尾芦谷	52342184	160	92.5.17	注3			8				

[赤磐郡吉井町]	河原屋河原屋	52343016	80	90.5.27	渡辺	3	1	山裾の木田瀬の細流。午後は直射が当たり明るい環境。
	滝山三軒屋	52342081	220	90.5.27	渡辺	3	4	開けた谷の入口。両岸とも樹木なく明るい環境。
滝本谷	滝本谷	52342093	120	90.5.27	渡辺	3	1	山裾の細流。
	石二軒屋	52342044	150	92.5.10	中村	2	1	棚田の最奥部付近の溪流。
[和気郡佐伯町]	枝谷	52342056	60	92.5.10	中村	1	2	急な斜面の溪谷。日当たりのよい岩場の溪流。
	南山方延原	52342039	280	92.5.10	渡辺	2	1	集落の外れの用水路。
[和気郡和氣町]	南山方延原	52342039	200	92.5.10	中村	1	1	山間の溪流。 <i>stability</i> lex.のみ目撃。
	宇生土生	52342015	50	92.5.10	中村	6	1	やや幅広い溪谷。日当たりはよい。
日笠上金崎	日笠上金崎	52342124	140	90.5.20	中村	4	1	山間の溪流。 <i>stability</i> lex.のみ目撃。
	吉田和意谷地付近	52342106	110	90.5.13	中村	2	5	やや幅広い溪谷。日当たりはよい。
[和気郡吉永町]	多麻窪谷	52343201	230	90.5.20	中村	3	2	3 1 やや幅広い渓谷。日当たり良好。
	都留岐大森下	52342178	150	90.5.20	小野	1	1	木曳れ日が当たっている周辺で見られた。
都留岐大森中	都留岐大森中	52342167	200	90.5.20	中村	1	1	山間の溪流。
	都留岐大又	52342250	170	90.5.20	中村	6	1	山間の溪流。
芭目牛中	芭目牛中	52342216	240	90.5.20	中村	1	2	山麓の水田べりの未改修の用水路。
	芭目飯掛	52342135	210	90.5.20	中村	1	4	山間の溪流。
和意谷池上流	和意谷池上流	52342117	130	90.5.13	中村	2	1	やや幅広い渓谷。日当たりはよい。
	【邑久郡長船町】					2	1	二つの防形堤に挟まれた狭い空間。まばらなブッシュ。
鐵上山田	鐵上山田	52340152	60	90.5. 6	広瀬	1	1	山間のアカマツ林中の溪流。
	鐵上油杉	52340141	50	90.5.13	中村	5	3	川幅約1.5m。杉や広葉樹がまばら。個体数が多い。
鐵上油杉	鐵上油杉	52340142	70	90.5. 6	広瀬	3	2	
	【備前市】					1	1	福生寺の脇を流れる溪流付近に多数生息している。
大内福生寺	大内福生寺	52340191	170	83.5. 2	原田	1	1	
	大内福生寺	52340191	170	84.5.18	原田	1	1	条件は極めて良好で、広い範囲で多数目撃。
大内福生寺	大内福生寺	52340191	170	85.6. 2	原田	2	2	山間の日当たりのよい溪流。
	大内福生寺下流	52340180	80	90.5. 6	広瀬	4	3	山間の溪流。
大内福生寺登山道	大内福生寺登山道	52340180	100	90.5.12	中村	5	3	斜面の沢筋。
	三石五石	52341254	160	90.5.12	中村	1	1	
三石岬坂	三石岬坂	52341235	150	90.5.12	中村			

表4 その他の水系

調査地名	メッシュコード	標高	調査年月日	調査者	オオカワトンボ				ニシカワトンボ				備考
					♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	
<b>里見川水系</b>													
[浅口郡鷲方町] 小坂西大内	51336454	110	89.5.7	広瀬			1	4	2		川幅1mくらい。まばらに落葉樹があり比較的用いる。		
<b>倉敷川水系</b>													
[倉敷市] 生坂	51337662	70	89.5.3	中村			1		1		アカマツ林の小さな沢。(細流)		
粒江七ツ池	51336654	10	89.5.14	近藤			1	1	1		裏から西に下る細流。直射日光は当たらない。		
粒江七ツ池	51336654	40	89.5.15	青野			1	1	1		溜池から流れ落ちる細い谷川。木で覆われている。		
粒江羽原種松山北麓	51336653	80	89.4.29	広瀬			1	1	1		細い喬木が散在する薄暗い谷間。水量少ない。		
福田町上浦田稚松山	51336652	70	89.4.29	広瀬			1	3	4		片側は簡易舗装でコンクリート護岸。日当たりは良好。		
福江福江上松猪谷	51336623	60	90.4.29	広瀬			3	2	3				
<b>笠ヶ瀬川水系</b>													
[岡山市] 河原別所	52331653	190	89.5.5	注2			6	6	2		急な谷筋に沿って多数確認。		
河原別所	52331653	190	91.4.28	広瀬			1	1	4		落葉樹に囲まれた溪流。水量も豊富で飛翔空間は広い。		
真星原	52331635	150	91.4.28	広瀬			3	1			またも日撫。流水はわずかで個体数は少ない。		
西山内溝谷	52331620	190	91.5.5	注3	1		2	3			山根の溪流。		
西山内大前大ノ馬場	52331600	200	90.5.13	広瀬	1		1	2	1		川幅約1.5m。北は山の斜面。南は水田。やや環境汚悪。		
栗井大溪	52331602	120	90.4.30	中村			1	1	1		山間の溪流。		
栗井	(52331602)	?	94.5.3	重井			2	2	1				
富吉	52330679	110	91.6.16	酒井弘美			1				山間の溪流。		
長野鳴谷岐	52330677	60	92.5.24	中村			1	1					
<b>総社市</b>													
奥坂岩屋	52330670	310	89.5.27	脇本			4	5	2				
奥坂阿弥陀原	52330672	50	89.5.5	注3			1	4	4		山麓の溜め池から山根を流れる幅1-2mの溪流。		
黒尾赤坂池上流	52330650	130	89.4.29	渡辺			5	2	1	3	未成熟。急な谷の一郭平坦な場所。木洩れ日に多い。		
黒尾赤坂池上流	52330640	120	89.5.27	脇本			2						
黒尾赤坂池下流	52330640	70	89.4.29	渡辺			3				未成熟。堰堤の下流。暗から明へ変わる付近に多い。		
黒尾赤坂池下流	52330630	40	89.6.7	脇本			1		3				
小寺(西琴坂峠下)	52330539	50	89.5.3	中村			8	2	3		山根の細い溪流。		

小寺 (西答坂附下)	52330539	50	91.5, 5	中村	1		ニシの生息地でわずか1個体のみ得られたものが。
[那珂郡山手村]							
平山	51337682	25	89.5, 3	中村	4	4	渓谷の入り口にある日当たりのよい場
平山	51337682	25	90.4, 29	中村	1	3	約30個体目撲したが、♂♀ともに淡橙色翅は未確認。
平山	51337673	50	89.5, 27	中村	1	1	オオの発生地よりも上流の稚木林中の網流。
<b>砂川水系</b>							
[赤磐郡吉井町]							
仁堀中尾田	52342051	200	90.5, 5	広瀬	2	4	川幅3~4m。一部樹木が開けて明るい水面も見られる。
平山尾野地	52342023	180	90.5, 26	渡辺	1	1	支流の幾分川最も上流部。
[赤磐郡赤坂町]							
山口伊田軒付近	52331758	110	90.5, 20	中村	1	2	山駒の浜流。
東経部	52341052	80	90.6, 11	山地	1	3	林の中の小さな流れ。明るい環境。野間幹付近。
山口佐倉	52331738	80	90.5, 5	広瀬	2	1	変化に富んだ浜流で、個体数は多い。
<b>その他の水系</b>							
[岡山市]							
西大寺一宮丸山	51347028	30	90.5, 27	広瀬	2	2	採集品以外にesahitも目撃。
[倉敷市]							
福江松原山東側	51336624	80	90.5, 27	三宅	1	1	明るい湿地。目立つほどの流水はない。
福江福江上	51336614	200	90.6, 21	小野	1	1	福池から流出する網流。木で覆われている部分多い。
児島神田街前道	51335693	80	89.5, 8	青野	1	1	上手に池がある網流。薄日が当たり個体数も多い。
児島神田街前道	51336603	70	89.5, 14	近藤	1	3	
児島由加	51335699	150	92.4, 24	近藤	1	1	90~5m位の流れ。樹木で覆われている部分多い。
児島田ノ口仙隨	51335697	130	91.6, 7	小野	5	5	池の岸で、比較的明るい。
児島田ノ口仙隨長物	51335677	200	91.4, 30	小野	1	1	
下池							
[玉野市]							
下山坂山口	51346061	30	84.6, 11	青野	1		
[邑久郡尾久町]							
豊原大橋	51347056	80	90.5, 27	広瀬	2	1	平地から2.5kmは水がなく、その上流に少々の流れ。
[和氣郡日生町]							
来河東	52340292	60	90.4, 30	広瀬	2	2	未成熟。水量豊か。樹木が張り出しが水面は明るい。
来河西	52341205	40	90.5, 12	中村	4	1	山裾の浜流。
[備前市]							
岡谷大倉	52341138	60	90.5, 13	中村	1	5	山駒の浜流。
若山門前(大谷川)	52341211	50	90.4, 30	広瀬	6	6	川幅3m。日生町寒河と類似環境。未成熟。
若山佐那高下	52341201	70	90.5, 12	中村	1	1	山裾の浜流。
浦伊部聞ヶ丘	52340163	100	90.5, 13	中村	2		低木の密生した日当たりのよい斜面の沢。

## 倉敷市立自然史博物館に寄贈されている 重井博先生収集の岡山県産トンボ類標本

青野孝昭\*

倉敷市立自然史博物館は重井博先生のご熱意なくしては実現しなかったであろうと思われるほど、先生はその設立に向けてみなみならぬ尽力をなされた。その一つとして、開館に備えた多数の昆虫標本のご寄贈がある。ここではその中から、先生が私的な時間の多くを割いてお取り組みになられたトンボ類標本のうち、倉敷市立自然史博物館蔵標本として登録済みの岡山県産標本に限って、リストを報告させていただきたい。

目録中、科の配列や学名は九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター編「日本産昆虫総目録」(1989、九州大学農学部昆虫学教室)に従った。採集者が重井博先生ご本人の場合は、採集者名を省略し、各標本のデータ末尾に示した括弧内の数字は、倉敷市立自然史博物館日本産昆虫登録番号(KMNH-II-no.)で、館名等の記号は省略した。

報告にあたり、謹んで重井博先生のご冥福をお祈り申し上げます。

## ODONATA トンボ目

## Agrionidae イトトンボ科

- Aciagrion migratum* (SELYS) ホソミイトトンボ  
御津郡加茂川町, 1ex., Sep. 24, 1975, (9345)
- Cercion calamorum* (Ris) クロイトトンボ  
岡山市塚山, 2exs., June 19, 1980, (9346-1, 2);  
倉敷市粒江, 1ex., May 19, 1983, (9347)
- Ceriagrion melanurum* SELYS キイトトンボ  
岡山市向小串, 1♀, June 6, 1980, (9348); 都窓  
郡早島町, 1♂, June 15, 1980, (9349); 倉敷市  
種松山, 1ex., Aug. 20, 1981, (9350)
- Ischnura senegalensis* (RAMBUR)  
アオモンイトトンボ  
和気郡日生町鹿久居島, 2exs., June 10, 1983,  
(9351-1, 2); 倉敷市粒江, 1ex., Sep. 13, 1983,  
(9352)

- Mortonagrion selenion* (Ris) モートンイトトンボ  
倉敷市由加山, 1ex., May 15, 1983, (9353); 新見市土橋, 1♀, June 9, 1983, (9354); 新見市土橋, 1♂, July 14, 1983, (9355)

## Platycnemidae モノサントンボ科

- Copera annulata* (SELYS) モノサントンボ  
倉敷市種松山, 1ex., Aug. 3, 1980, (9356); 阿哲  
郡哲西町鯉ヶ窪, 2exs., July 3, 1983, (9357-1,  
2)

7. *Platycnemis foliacea sasakii* ASAHIKA

グンバイトンボ  
和気郡和気町動, 1♂, July 1, 1975, (9358); 和  
気郡和気町動, 1♀, June 20, 1976, (9359)

## Lestidae アオイトトンボ科

- Indolestes peregrinus* (Ris) ホソミオツネントンボ  
岡山市祇園, 4exs., May 17, 1983, (9412-1~4);  
川上郡川上町, 2exs., May 3, 1983, (9360-1, 2)
- Lestes sponsa* (HANSEMANN) アオイトトンボ  
備前市閑谷, 2exs., Sep. 7, 1975, (9361-1, 2);  
備前市八木山, 1ex., Sep. 7, 1975, (9362)
- Sympetrum paedisca* (Eversmann) オツネントンボ  
岡山市宝伝, 1ex., May 30, 1980, T. Kondo leg.,  
(9363); 岡山市宝伝, 1ex., Apr. 6, 1980,  
(9364)

## Calopterygidae カワトンボ科

- Calopteryx atrata* SELYS ハグロトンボ  
倉敷市酒津, 1ex., Aug. 1, 1975, (9365); 倉敷市  
弥高山, 1♂, July 17, 1980, (9366); 御津郡御  
津町, 1♀, Aug. 30, 1981, (9367); 赤磐郡吉井  
町, 1♂, July 24, 1983, (9368)
- C. cornelia* SELYS ミヤマカワトンボ  
和気郡妙見山, 1♀, July 27, 1983, (9369); 新  
見市絹掛滝, 1ex., May 28, 1961, (9370); 新見市  
後田津, 1ex., Apr. 29, 1983, (9371); 新見市  
大峰, 2exs., May 29, 1983, (9372-1, 2); 新

\* 〒710 倉敷市大内937-8

- 見市原田, 1♀, June 26, 1983, (9373); 阿哲郡哲多町, 1♂, July 19, 1983, (9374)
13. *C. japonica* SELYS アオハダトンボ  
岡山市祇園, 3exs., May 17, 1983, (9375-1~3);  
岡山市祇園, 1♀, June 15, 1983, (9376)
14. *Mnais pruinosa pruinosa* SELYS ニシカワトンボ  
和気郡和気町動, 3exs., May 5, 1976, (9377-1~3); 総社市奥車, 2exs., May 15, 1976, (9378-1, 2); 真庭郡八束村, 1ex., July 4, 1982, (9379); 倉敷市児島上ノ町, 1ex., May 15, 1983, (9380); 岡山市祇園, 2exs., May 17, 1983, (9381-1, 2); 新見市千屋茗荷岬, 5exs., May 22, 1983, (9382-1~5); 岡山市祇園, 1ex., June 18, 1983, (9383)
- Epiophlebiidae ムカシトンボ科
15. *Epiophlebia superstes* (SELYS) ムカシトンボ  
真庭郡新庄村, 1♂, May 26, 1963, H.Ono leg., (9384); 真庭郡新庄村毛無山, 1ex., May 18, 1980, (9385); 真庭郡新庄村毛無山, 1♂, June 7, (9386); 川上郡川上町, 1♀, May 3, 1983, (9387)
- Petaluridae ムカシヤンマ科
16. *Tanypteryx pryeri* (SELYS) ムカシヤンマ  
総社市三ツ木, 1ex., June 10, 1976, (9388); 総社市三ツ木, 1♂, May 27, 1977, (9389); 倉敷市弥高山, 1ex., May 27, 1980, (9390); 倉敷市弥高山, 1♂, June 4, 1980, (9391); 倉敷市弥高山, 1♀, June 8, 1980, (9392)
- Gomphidae サナエトンボ科
17. *Anisogomphus maacki* (SELYS) ミヤマサナエ  
苦田郡奥津町森林公園, 2exs., July 26, 1981, (9393-1, 2)
18. *Asiagomphus melaenops* (SELYS) ヤマサナエ  
倉敷市弥高山, 2exs., June 8, 1980, (9394-1, 2); 倉敷市粒江七ツ池, 1ex., May 19, 1983, (9395); 新見市羅生門, 1♂, May 29, 1983, (9396); 新見市後田津, 1♀, May 29, 1983, (9397)
19. *A. pryeri* (SELYS) キイロサナエ  
岡山市山浦, 1♂, May 31, 1977, (9398); 倉敷市種松山, 1♀, May, 30, 1980, (9399); 岡山市西片岡, 1♀, June 15, 1980, (9400)
20. *Davidius fujiiama* FRASER クロサナエ  
真庭郡新庄村毛無山, 1ex., July 18, 1973,
- T.Kondo leg., (9401); 真庭郡川上村, 1♂, June 13, 1975, (9402); 真庭郡新庄村毛無山, 1♀, July 20, 1980, (9403)
21. *D. moiwanus taruui* ASAHIKA et INOUE ヒラサナエ  
苦田郡奥津町森林公園, 2exs., May 31, 1981, (9404-1, 2); 苦田郡奥津町森林公園, 1♀, June 21, 1981, (9405); 苦田郡奥津町森林公園, 2exs., July 5, 1981, (9406-1, 2)
22. *D. nanus* (SELYS) ダビドサナエ  
御津郡加茂川町, 1♀, June 1, 1980, (9407); 和気郡吉永町, 1♀, July 6, 1980, (9408); 新見市土橋, 1ex., Apr.29, 1983, (9409); 新見市千屋茗荷岬, 2exs., May 22, 1983, (9410-1, 2)
23. *Gomphus postocularis* SELYS ホンサナエ  
御津郡加茂川町, 1♀, May 4, 1980, (9411)
24. *Ictinogomphus clavatus* (FABRICIUS) ウチワヤンマ  
倉敷市種松山, 1ex., Aug.6, 1981, (9413); 岡山市正儀, 1ex., Aug.17, 1983, (9414); 倉敷市酒津, 1ex., Aug.23, 1983, (9415)
25. *I. pertinax* (SELYS) タイワンウチワヤンマ  
岡山市宝伝, 1ex., Aug.3, 1980, (9416); 岡山市正儀, 1ex., Sep.4, 1980, (9417); 岡山市正儀, 1ex., Aug.17, 1983, (9418)
26. *Lanthus fujiacus* (FRASER) ヒメクロサナエ  
真庭郡川上村, 1♀, June 13, 1976, (9419); 新見市千屋茗荷岬, 3exs., May 22, 1983, (9420-1~3)
27. *Nihonogomphus viridis* OGUMA アオサナエ  
御津郡建部町, 1♂, Aug.30, 1981, (9421); 岡山市尚心, 1ex., May 23, 1982, (9422); 高梁市臥牛山, 1♀, July 3, 1983, (9423); 新見市幸田, 2exs., Sep.18, 1983, (9424-1, 2)
28. *Onychogomphus viridicosta* (OGUMA) オナガサナエ  
岡山市山浦, 1♀, May 31, 1977, (9425); 苦田郡奥津町森林公園, 1ex., Aug.2, 1981, (9426); 岡山市祇園, 3exs., May 17, 1983, (9427-1~3); 高梁市臥牛山, 1ex., Aug.14, 1983, (9428)
29. *Sieboldius albardae* SELYS コオニヤンマ  
新見市宇山, 1♂, July 15, 1975, (9429); 新見市草間, 1ex., June 19, 1983, (9430); 新見市土橋, 1♀, June 26, 1983, (9431); 新見市河木ダム, 2♀, July 3, 1983, (9432-1, 2)
30. *Sinogomphus flavolimbatus* (OGUMA) ヒメサナエ  
川上郡備中町後谷, 1♂, July 17, 1975, (9433); 川上郡備中町前谷, 1♀, July 20, 1975, (9434); 苦田郡富村, 2exs., Aug.8, 1976,

(9435-1, 2)

31. *Stylgomphus suzukii* (OGUMA) オジロサナエ  
御津郡建部町, 2exs., July 6, 1975, (9436-1, 2)  
: 備前市大滝山, 2exs., Aug. 10, 1975, (9437-1,  
2)
32. *Trigomphus citimus tabei* ASAHIWA タベサナエ  
和気郡和気町勘, 1♀, May 5, 1976, (9438); 和  
気郡和気町勘, 2exs., May 8, 1977, (9439-1, 2)
33. *T. interruptus* (SELYS) フタスジサナエ  
吉備郡真備町, 1♂, May 26, 1976, (9440); 都  
窪郡早島町屋敷, 1♀, June 3, 1980, (9441); 岡  
山市西片岡, 1♀, June 15, 1980, (9442); 岡山  
市千升峠, 1♂, May 23, 1982, (9443); 新見市  
千屋荷峰, lex., May 23, 1983, (9444)
34. *T. ogumai* ASAHIWA オグマサナエ  
玉野市滝, 1♀, May 3, 1976, (9445); 倉敷市  
高山, 1♀, May 11, 1980, (9446); 後月郡芳井  
町, 1♂, May 3, 1983, (9447); 倉敷市由加,  
1♂, May 15, 1983, (9448).

## Cordulegasteridae オニヤンマ科

35. *Anotogaster sieboldii* (SELYS) オニヤンマ  
倉敷市由加山, lex., Aug. 9, 1980, (9449); 高梁  
市臥牛山, 2exs., July 14, 1983, (9450-1, 2);  
新見市草間, lex., July 31, 1983, (9451); 高梁  
市臥牛山, lex., Aug. 14, 1983, (9452); 新見市  
草間, lex., Aug. 28, 1983, (9453)

## Aeschnidae ヤンマ科

36. *Aeshna juncea* (LINNAEUS) ルリボシヤンマ  
真庭郡川上村延助, 1♀, Oct. 19, 1978, (9454)  
; 苫田郡奥津町森林公園, 1♀, Aug. 13, 1981,  
(9455); 苫田郡奥津町森林公園, lex., Aug. 30,  
1980, (9456); 阿哲郡哲西町鯉ヶ窪, 2exs.,  
Sep. 27, 1981, (9457-1, 2)
37. *Aeschnophlebia longistigma* SELYS アオヤンマ  
倉敷市福田, lex., May 19, 1980, (9458); 都窪  
郡早島町二軒屋, lex., June 3, 1980, (9459); 都  
窪郡早島町二軒屋, lex., June 8, 1980, (9460);  
都窪郡早島町二軒屋, lex., July 3, 1980, (9461)
38. *Anax nigrofasciatus* OGUMA クロスジギンヤンマ  
倉敷市由加山, lex. 1♀, May 22, 1975, (9462);  
真庭郡落合町, 1♂, July 30, 1978, (9463); 岡  
山市千升峠, 1♀, May 23, 1982, (9464); 倉敷  
市由加山, lex. 1♀, May 15, 1983, (9465); 新  
見市草間, 1♂, June 19, 1983, (9466)
39. *A. parthenope julius* BRAUER ギンヤンマ

倉敷市種松山, lex., May 30, 1980, (9467); 岡  
山市正儀, 1♀, June 29, 1980, (9468); 岡山市  
八丈岩山, 2♀, July 30, 1981, (9469-1, 2); 倉  
敷市酒津, 1♀, Aug. 27, 1983, (9470)

40. *Boyeria macclachlani* (SELYS) コシボソヤンマ  
総社市豪渓, lex., Aug. 5, 1956, R. Tomono leg.,  
(9471); 倉敷市児島小原池, lex., June 29, 1978,  
(9472); 岡山市足守大井, lex., Aug. 28, 1978,  
(9473)
41. *Gymacantha japonica* BARTENEV カトリヤンマ  
御津郡建部町, 2exs., Sep. 14, 1975, (9474-1, 2)  
; 岡山市日応寺, 1♂, Sep. 28, 1975, (9475); 和  
気郡吉永町, 1♀, Sep. 28, 1980, (9476); 倉敷市  
鶴形山, lex., Sep. 6, 1981, (9477); 高梁市臥牛  
山, 1♀, July 19, 1983, (9478)
42. *Oligoaeschna pryeri* (MARTIN) サラサヤンマ  
阿哲郡哲西町鯉ヶ窪, 3exs., June 5, 1983,  
(9479-1~3)
43. *Planaeschna milnei* (SELYS) ミルンヤンマ  
赤磐郡熊山町, 2exs., Aug. 10, 1975, (9480-1,  
2)
44. *Polycaanthagyna melanictera* (SELYS) ヤブヤンマ  
倉敷市幸町, 1♂, July 18, 1975, (9481); 倉敷  
市美和, 1♀, July 19, 1981, (9482)

## Corduliidae エゾトンボ科

45. *Epitheca marginata* (SELYS) トラフトンボ  
総社市新本, 1♀, May 5, 1962, (9483); 岡山市  
久々井, 2exs., May 28, 1980, (9484-1, 2); 後  
月郡芳井町, 1♀, May 3, 1983, (9485); 倉敷市  
由加山, lex., May 15, 1983, (9486)
46. *Epophthalmia elegans* (BRAUER) オオヤマトンボ  
吉備郡真備町, 1♀, Sep. 18, 1975, (9487); 阿哲  
郡哲西町鯉ヶ窪, 1♂, Aug. 7, 1983, (9488)
47. *Macromia amphigena* SELYS コヤマトンボ  
和気郡吉永町, 1♀, June 1, 1975, (9489); 久米  
郡久米南町, 1♂, June 1, 1980, (9490); 倉敷市  
弥高山, lex., June 8, 1980, (9491); 岡山市祇園,  
1♀, June 15, 1980 (9492); 和気郡佐伯町, 1  
♂, June 24, 1983, (9493)
48. *Somatochlora clavata* OGUMA ハネビロエゾトンボ  
岡山市正儀, 2exs., Aug. 3, 1980, (9494-1, 2)
49. *S. uchidai* FORSTER タカネトンボ  
後月郡芳井町, 1♀, Aug. 3, 1975, (9495); 苫田  
郡奥津町森林公園, 1♂, July 28, 1981, (9496);  
苫田郡奥津町森林公園, 1♂, Aug. 30, 1981,

- (9497) : 新見市草間, 1ex., June 30, 1983,  
 (9498) : 新見市草間, 1♀, Sep.18, 1983,  
 (9499)  
 50. *S. viridiaenea* (UHLER) エゾトンボ  
 阿哲郡哲西町鯉ヶ窪, 3exs., Aug.7, 1983,  
 (9500-1~3)

## Libellulidae トンボ科

51. *Crocothemis servilia mariannae* KIAUTA

## ショウジョウトンボ

岡山市向小串, 2exs., June 29, 1980, (9501-1,  
 2); 倉敷市種松山, 1ex., Aug.4, 1981, (9502);  
 岡山市土出, 1♀, June 5, 1982, (9503); 阿哲郡  
 哲多町, 1♂, June 19, 1983, (9504)

52. *Deielia phaon* (SELYS) コフキトンボ

和気郡日生町鹿久居島, 1♀, Aug.31, 1975,  
 (9505); 岡山市米崎, 1♂, June 29, 1980,  
 (9506); 岡山市向小串, 1♀, June 29, 1980,  
 (9507); 阿哲郡哲西町鯉ヶ窪, 1♂, July 3,  
 1983, (9508)

53. *Libellula quadrimaculata asahinai* SCHMIDT

## ヨツボシトンボ

倉敷市由加山, 1ex., May 20, 1976, (9509); 倉  
 敷市塩生鴻ノ池, 1♀, May 28, 1978, Y.Koyano  
 leg., (9510); 岡山市西片岡, 1♂, May 28, 1980,  
 (9511); 倉敷市由加山, 1ex., May 15, 1983,  
 (9512); 阿哲郡哲多町, 1ex., June 19, 1983,  
 (9513)

54. *Lyriothemis pachygastera* (SELYS) ハラビロトンボ

和気郡日生町大池, 2exs., June 15, 1975,  
 (9514-1, 2); 倉敷市粒江, 1ex., June 19, 1980,  
 (9515); 岡山市祇園, 1♀, May 17, 1983,  
 (9516); 高梁市臥牛山, 1♂, July 7, 1983,  
 (9517)

55. *Nannophya pygmaea* RAMBUR ハッチョウトンボ

都窪郡山手村, 1♂, June 28, 1962, (9518); 倉  
 敷市水別, 1ex., July 24, 1975, (9519); 倉敷市  
 由加山, 1♀, Aug.2, 1975, (9520); 岡山市虎々  
 路, 1♀, June 15, 1976, (9521); 倉敷市種松山,  
 1ex., May 30, 1980, (9522); 阿哲郡哲多町,  
 3exs., June 19, 1983, (9523-1~3); 備前市熊山,  
 1♀, Aug.10, 1983, (9524)

56. *Orthetrum albistylum speciosum* (UHLER)

## シオカラトンボ

高梁市臥牛山, 1♀, July 7, 1983, (9525); 和氣  
 郡日生町鹿久居島, 1♂, July 10, 1983, (9526);

阿哲郡哲西町鯉ヶ窪, 1♂, Aug.7, 1983, (9527)

; 新見市羅生門, 1♀, Aug.28, 1983, (9528)

57. *O. japonicum* (UHLER) シオヤトンボ

後月郡芳井町, 1♀, May 3, 1983, (9529); 倉敷  
 市由加山, 1ex., May 15, 1983, (9530); 新見市  
 大峰, 1♂, May 29, 1983, (9531); 阿哲郡哲西  
 町鯉ヶ窪, 1♂, June 5, 1983, (9532); 新見市日  
 咩坂鍾乳穴, 1♀, June 5, 1983, (9533)

58. *O. triangulare melania* (SELYS)

## オオシオカラトンボ

倉敷市鶴形山, 1ex., June 10, 1983, (9534); 倉  
 敷市美和, 1♀, June 11, 1983, (9535); 倉敷市  
 種松山, 1♀, June 11, 1983, (9536); 倉敷市鶴  
 形山, 1ex., June 11, 1983, (9537); 新見市草間,  
 1♂, July 7, 1983, (9538); 和気郡佐伯町, 1  
 ♂, July 24, 1983, (9539)

59. *Pantala flavescens* (FABRICIUS) ウスバキトンボ

和気郡日生町鹿久居島, 1ex., Aug.31, 1975,  
 (9540); 新見市土橋, 1♀, June 14, 1983,  
 (9541); 高梁市臥牛山, 1♂, June 14, 1983,  
 (9542); 和気郡佐伯町, 1♀, June 24, 1983,  
 (9543); 新見市河本ダム, 1ex., July 3, 1983,  
 (9544); 新見市草間, 1♂, Aug.28, 1983,  
 (9545); 倉敷市美和, 1ex., Sep.8, 1983, (9546)

60. *Pseudothemis zonata* BURMEISTER コシアキトンボ

岡山市山浦, 1♀, May 31, 1977, (9547); 倉敷  
 市浅原, 1♀, Oct.1, 1977, (9548); 岡山市正儀,  
 1♂, Aug.17, 1980, (9549); 倉敷市種松山,  
 1ex., Aug.6, 1981, (9559); 新見市草間, 1♂,  
 June 3, 1983, (9551)

61. *Rhyothemis fuliginosa* SELYS チョウトンボ

倉敷市浅原, 1ex., June 21, 1979, (9552); 岡山  
 市山田, 2exs., July 21, 1979, (9553-1, 2); 都  
 窪郡早島町二軒屋, 1♀, Aug.2, 1980, (9554);  
 倉敷市酒津, 1♀, Aug.6, 1983, (9555)

62. *Sympetrum baccha metulinum* RIS コノシメトンボ

備前市閑谷, 1♂, Sep.7, 1975, (9567); 玉野市  
 天王池, 1♀, Oct.10, 1975, (9568); 倉敷市浅原,  
 1ex., Nov.11, 1975, (9569); 備前市八木山,  
 1ex., Sep.28, 1980, (9570); 岡山市正儀, 1ex.,  
 Oct.5, 1980, (9571)

63. *S. croceolum* SELYS キトンボ

倉敷市通生大谷池, 1ex., Nov.2, 1975, (9572);  
 倉敷市浅原, 1♂, Nov.11, 1975, (9573); 岡山  
 市西片岡, 1♀, Aug.3, 1980, (9574); 備前市八  
 木山, 1ex., Sep.28, 1980, (9575); 岡山市正儀,

- lex., Oct.5, 1980, (9576)
64. *S. darwinianum* (SELYS) ナツアカネ  
苦田郡奥津町森林公園, 1♀, Sep.20, 1981, (9577); 苦田郡奥津町森林公園, 1♂, Nov.30, 1981, (9578); 赤磐郡吉井町北平山, 2exs., Aug.21, 1983, (9579 1, 2)
65. *S. eroticum* (SELYS) マエタテアカネ  
新見市草間, lex., July 7, 1983, (9580); 阿哲郡哲多町, lex., July 9, 1983, (9581); 阿哲郡哲多町, 1♂, July 19, 1983, (9582); 高梁市臥牛山, 1♂, Aug.14, 1983, (9583); 和気郡佐伯町大王山, 1♀, Aug.21, 1983, (9584); 高梁市臥牛山, 1♂, Sep.4, 1983, (9585)
66. *S. frequens* (SELYS) アキアカネ  
苦田郡奥津町森林公園, 1♂, Sep.6, 1981, (9586); 新見市草間, 2exs., July 3, 1983, (9587-1, 2); 阿哲郡大佐町, lex., Sep.11, 1983, (9588); 倉敷市美和, lex., Sep.30, 1983, (9589)
67. *S. gracile* OGUMA ナニワトンボ  
和気郡日生町鹿久居島, 1♂, Aug.31, 1975, (9690); 備前市閑谷, lex., Sep.7, 1975, (9591); 岡山市奥矢津, lex., Sep.14, 1975, (9592); 赤磐郡赤坂町, 1♂, Sep.14, 1975, (9593); 倉敷市通生大池, 2exs., Oct.10, 1975, (9594-1, 2); 玉野市天王池, 1♀, Nov.1, 1975, (9595)
68. *S. infuscatum* (SELYS) ノシメトンボ  
赤磐郡山陽町, lex., Sep.14, 1975, (9596); 岡山市奥矢津, lex., Sep.14, 1975, (9597); 小島郡灘崎町, 1♀, Sep.14, 1975, (9598); 倉敷市塩生鴻ノ池, 1♂, Oct.10, 1975, (9599)
69. *S. kunkeli* (SELYS) マイコアカネ  
吉備郡安明寺, lex., Sep.29, 1962, K.Hayashi leg., (9600); 笠岡市神島, 2exs., Nov.2, 1975, (9601-1, 2)
70. *S. parvulum* (BARTENEV) ヒメアカネ  
倉敷市種松山, lex., Aug.25, 1981, (9602); 赤磐郡吉井町北平山, 1♀, July 24, 1983, (9603); 新見市羅生門, 1♂, Aug.28, 1983, (9604); 高梁市橋井, lex., Oct.2, 1983, (9605); 阿哲郡哲多町, lex., Oct.2, 1983, (96 06); 岡山市足守, 1♀, Sep.4, 1975, (9607)
71. *S. pedemontanum elatum* (SELYS) ミヤマアカネ  
倉敷市種松山, lex., Aug.20, 1981, (9557); 高梁市臥牛山, 1♀, July 7, 1983, (9558); 高梁市臥牛山, 2exs., July 14, 1983, (9559-1, 2); 新見市土橋, lex., Aug.14, 1983, (9560); 高梁市臥牛山, lex., Aug.14, 1983, (9561); 和氣郡妙見山, lex., Aug.21, 1983, (9562)
72. *S. risi* BARTENEV リスアカネ  
備前市閑谷, 1♂, Sep.7, 1975, (9608); 倉敷市塩生鴻ノ池, 1♂, Oct.1, 1975, (9609); 岡山市西片岡, lex., Oct.5, 1980, (9610); 和氣郡日生町鹿久居島, lex., July 10, 1983, (9611)
73. *S. speciosum* OGUMA ネキトンボ  
備前市閑谷, 1♂, Sep.7, 1975, (9612); 倉敷市通生大池, lex., Oct.10, 1975, (9613); 備前市八木山, lex., Sep.29, 1980, (9614); 岡山市西片岡, lex., Oct.2, 1980, (9615); 新見市草間, 1♀, Sep.18, 1983, (9616)
74. *S. striolatum imitoides* BARTENEV タイリクアカネ  
備前市伊部, 1♀, Sep.7, 1975, (9563); 笠岡市神島, lex., Sep.2, 1975, (9564); 倉敷市児島板尾, 1♂, Aug.17, 1976, (9565); 岡山市正儀, lex., Oct.5, 1980, (9566)
75. *S. uniforme* SELYS オオキトンボ  
吉備郡安明寺, lex., Sep.29, 1962, (9617); 吉備郡安明寺, lex., Oct.2, 1962, (9618)

## 岡山県におけるナニワトンボの分布と新産地

守 安 敦\*

ナニワトンボ *Sympetrum gracile* OGUMAは日本特産種で、本州と四国のおよびに分布しており、主に丘陵地の樹林に閉まれた浅い水際に続くなだらかな土の部分があつて挺水植物が繁茂する池沼に生息している<sup>4)</sup>。

本種の岡山県での産地は、勝田郡勝田町真加部<sup>5)</sup>、勝田郡勝央町黒土<sup>6)</sup>、勝田郡勝央町植月<sup>7)</sup>、勝田郡余義町柿<sup>8)</sup>、勝田郡勝北町勝加茂<sup>9)</sup>、岡山市龍の口山系<sup>10)</sup>、勝田郡勝北町日本原塩手池<sup>11)12)</sup>、児島半島タコラ山<sup>13)</sup>、都窪郡清音村黒田<sup>15)16)</sup>、倉敷市浅原<sup>14)15)</sup>、金甲山<sup>16)</sup>、岡山市矢津<sup>2)</sup>、西大寺市山南地区<sup>2)</sup>、津山市<sup>6)</sup>、倉敷市児島由加<sup>10)</sup>、倉敷市児島稗田町御前道<sup>16)</sup>、倉敷市児島通生通生大池<sup>17)</sup>、備前市八木山新池<sup>10)</sup>、備前市閑谷地域<sup>11)</sup>、岡山市瑜伽山<sup>13)</sup>、玉野市永井根引池<sup>13)</sup>、岡山市正儀<sup>19)</sup>、倉敷市種松山山系<sup>8)</sup>、和気郡佐伯町田賀<sup>7)</sup>、倉敷市木見北谷池<sup>9)</sup>、倉敷市木見寺下池<sup>9)</sup>が報告されている。

新たに筆者は、今まで記録のなかった岡山県西部の県境付近で本種を採集しているので報告しておく。

1♂、井原市上稲木町、22. X. 1995、筆者採集・保管 [写真]

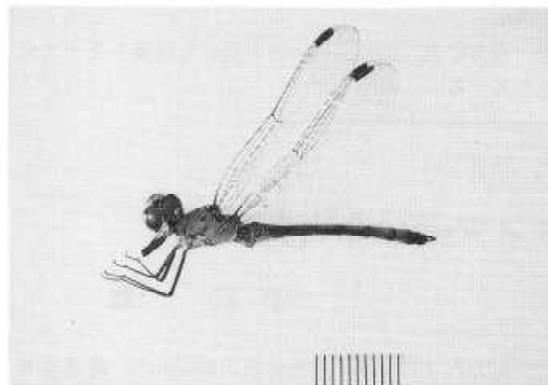


写真1 ナニワトンボ♂ (井原市上稲木町産)

採集した池は、以前に倉敷市立自然史博物館の狩山俊悟氏より、水草の豊かな池ということで教えていただいていた所である。

また、倉敷昆虫館、倉敷市立自然史博物館、岡山県自然保護センターに収蔵されている標本を調べたところ

ろ、以下のデータの岡山県産本種の標本を確認したので、併せて報告しておく。ただし、すでに報告されている産地及び本誌で青野孝昭氏が別に報告しているもの\*\*と重複する産地については省略した。

3♂、吉備郡真備町安明寺、22. X. 1962、林憲一採集、倉敷昆虫館保管

1♂、吉備郡真備町安明寺、29. IX. 1962、林憲一採集、倉敷昆虫館保管

1♂、上道郡玉井村才札、25. X. 1953、安東瑞大採集、倉敷昆虫館保管

1♀、倉敷市林郷内、26. VII. 1953、安東瑞夫採集、倉敷昆虫館保管

1♂、倉敷市浅原明見谷池、8. XI. 1975、重井博採集、倉敷昆虫館保管

1♂、倉敷市児島味野扇池、2. X. 1993、山崎法子採集、倉敷市立自然史博物館保管

1♂、倉敷市児島味野扇池、13. IX. 1991、小野洋採集、岡山県自然保護センター保管

これらの産地（本誌で青野氏が別に報告しているものを含む）を、岡山県地図にプロットすると、図のようになる。これを見ると、本種の分布は岡山県南部と



図1 岡山県におけるナニワトンボの産地

☆：新産地 ●：既記録地

○：倉敷昆虫館、倉敷市立自然史博物館及び県自然保護センター収蔵標本の産地

\* T710 倉敷市浦田2430

\*\* (編集者注) 本誌p.44のナニワトンボの項参照

西部に片寄っており、丘陵地の広がりとよく一致しているが、これは本種が丘陵地の池に限って生息しているためではないかと思われる。

末筆ながら、過去の文献についてご教示いただいた倉敷昆虫館の小野洋氏、収蔵標本を確認していただいた岡山県自然保護センターの森生枝氏、収蔵標本の確認に便宜を図っていただいた倉敷市立自然史博物館の奥島雄一氏に厚くお礼申し上げる。

#### 引用文献

- 1) 赤枝一弘, 1959. 龍の口にナニワトンボ多産. すずむし, 9 (3) : 7.
- 2) 赤枝一弘, 1965. 岡山市・西大寺市のとんぼ. すずむし, 15 (2) : 10-13.
- 3) 安東瑞夫, 1956. 作東の蜻蛉類 1. すずむし, 6 (2) : 9-13.
- 4) 石田勝義, 1996. 日本産トンボ目幼虫検索図説. 447pp. 北海道大学図書刊行会, 北海道.
- 5) 片山豊八, 1959. 美作産蝶蛾目録. 岡山と昆虫. pp. 1-60. 日本昆虫学会第十九回大会後援事務局, 岡山.
- 6) 道信順, 1968. トンボ目録. 美作の昆虫 (1) チョウ・カミキリ・ハチ・トンボ分布資料. pp. 22-26. 美作虫の会, 津山.
- 7) 森生枝, 1996. 岡山県自然保護センターのトンボ類. 岡山県自然保護センター研究報告別巻, (1) 19-26.
- 8) 守安敦, 1994. 最近の種松山山系のトンボ. すずむし, (128) : 1-3.
- 9) 守安敦, 1996. 倉敷市内のトンボに関する追加記録 (1). しぜんしくらしき, (16) : 11-13.
- 10) 岡山県, 1980. 自然保護基礎調査報告書自然保護地域候補地調査結果. 92pp. 岡山県環境部自然保護課, 岡山.
- 11) 岡山県, 1982. 自然保護基礎調査報告書自然保護地域候補地調査結果. 238pp. 岡山県環境保健部自然保護課, 岡山.
- 12) 小野洋, 1990. 伊藤芳明氏寄贈標本からの岡山県産昆虫目録 (その1). すずむし, (125) : 24-26.
- 13) 佐藤國康, 1991. 倉敷市由加山系南東部地域の野生動物. 倉敷市由加山系の自然—南東部地域 (特にC地区) ー, pp. 37-109. 倉敷の自然をまもる会, 倉敷.
- 14) 重井博, 1962. 1961年及び1962年に採集したトンボ10種. すずむし, 12 (4) : 51.
- 15) 重井博, 1976. 倉敷の自然福山山系, 林熊野神社山系, 下津井城山, 231pp. 倉敷市企画部, 倉敷.
- 16) 重井博, 1978. 鴨ヶ辻山系のトンボ目. 倉敷の自然. 鴨ヶ辻山系, pp. 47-48. 倉敷市衛生局環境部, 倉敷.
- 17) 重井博, 1980. 竜王山山系のトンボ目. 倉敷の自然. 竜王山山系, pp. 49-52. 倉敷市衛生局環境部, 倉敷.
- 18) 安江安宣, 1959. 山陽昆虫案内. 岡山と昆虫. pp. 70-73. 日本昆虫学会第19回大会後援会事務局, 岡山.
- 19) 在本定夫, 1993. 岡山市正儀にて採集したトンボ. みちしるべ, (15) : 72.

## 岡山県におけるルリボシヤンマの分布と新産地

守 安 敦

ルリボシヤンマ *Aeshna juncea* (LINNAEUS) は、北半球北部に広く分布する種である。日本では北海道、本州、四国の徳島県に分布し、南千島の捉捉島と国後島、利尻島、佐渡島などの離島にも産し、対馬でも記録されている。東北日本には普遍的に生息する普通種であるが、東海、近畿以西では産地が著しく局地化して稀となる<sup>1)</sup>。

本種の岡山県での産地は、苦田郡上齋原村人形峰<sup>5)</sup>,

苦田郡富村大空山<sup>5)</sup>、真庭郡川上村蒜山<sup>5)</sup>、新見市茗荷峰<sup>5)(6)</sup>、苦田郡上齋原村遠藤地区<sup>5)</sup>、苦田郡上齋原村恩原<sup>6)(9)</sup>、苦田郡奥津町森林公園<sup>6)</sup>、阿哲郡哲西町鯉が窪<sup>6)(10)</sup>、真庭郡川上村内海屹湿原<sup>7)</sup>、哲多町おもつば湿原<sup>8)</sup>、和気郡佐伯町田賀<sup>9)</sup>、苦田郡加茂町五輪原細池湿原<sup>2)</sup>が報告されている。

新たに筆者は、岡山県北西部の県境付近で本種羽化殻を採集しているので報告しておく。

1 卵羽化殻、阿哲郡神郷町木谷, 15. V. 1995, 筆者採集・保管

\* (編集者注) 本誌p.42のルリボシヤンマの項参照



写真1 ルリボシヤンマ羽化殻の採集地

(阿哲郡神郷町木谷)

採集地は、谷間にある小さな池で、谷川が流れ込み、水は非常にきれいである [写真]。また、底には泥が厚く堆積しており、ヨシがまばらに生え、水面をフトヒルムシロがおおっている。水質がいいためか、ゲンゴロウやガムシの類も多く見られた。

また、倉敷昆虫館、倉敷市立自然史博物館、岡山県自然保護センターに収蔵されている標本を調べたところ、次のデータの岡山県産本種の標本を確認したので、併せて報告しておく。ただし、すでに報告されている産地及び本誌で青野孝昭氏が別に報告しているものと重複する産地については省略した。

1♂、川上郡備中町越山、19. IV. 1989、林博之採集、倉敷市立自然史博物館保管

これらの産地（本誌で青野氏が別に報告しているもの含む）を岡山県地図にプロットすると、図のようになる。これを見ると、産地が岡山県北部に片寄っていることがわかる。しかし、佐伯町や備中町でも採集されていることから、今後、岡山県中部での記録が増えのではないかと思われる。

末筆ながら、過去の文献探しにご尽力いただいた倉敷昆虫館の小野洋氏、収蔵標本を確認していただいた岡山県自然保護センターの森生枝氏、収蔵標本の確認に便宜をはかっていただいた倉敷市立自然史博物館の奥島雄一氏に厚くお礼申し上げる。

## 引用文献

- 1) 石田勝義、1996. 日本産トンボ目幼虫検索図説、447pp. 北海道大学図書刊行会、北海道。
- 2) 関西トンボ談話会、1996. 岡山県真庭郡・苦田郡の調査記録—五輪原細池の湿原など1989年の記録—、Gracile, (56) : 29-36.
- 3) 道信順、1979. 県北のトンボ4種、すずむし,



図1 岡山県におけるルリボシヤンマの産地

☆：新産地

●：既記録地

○：倉敷市立自然史博物館収蔵標本の産地

(116) : 42.

- 4) 森生枝、1996. 岡山県自然保護センターのトンボ類、岡山県自然保護センター研究報告別巻、(1) : 19-26.
- 5) 岡山県、1978. 岡山県の昆虫—岡山県昆虫生息調査報告書—、146pp. 岡山県。
- 6) 岡山県、1983. 自然保護基礎調査報告書—湖沼・湿地地域生物学調査結果— (岡山県立森林公園)、94pp. 岡山県環境保健部自然保護課、岡山。
- 7) 岡山県、1984. 自然保護基礎調査報告書—湖沼・湿地地域生物学調査結果、70pp. 岡山県環境保健部自然保護課、岡山。
- 8) 岡山県、1985. 自然保護基礎調査報告書—湖沼・湿地地域生物学調査結果、74pp. 岡山県環境保健部自然保護課、岡山。
- 9) 岡山県、1988. 自然保護基礎調査報告書—湖沼・湿地地域生物学調査結果、73pp. 岡山県環境保健部自然保護課、岡山。

(〒710 倉敷市浦田2430)

## 岡山県におけるオオルリボシヤンマの分布と新産地

守 安 敦

オオルリボシヤンマ *Aeshna nigroflava* MARTIN は日本特産種で、北海道、本州、九州に分布し、利尻島、佐渡島などの離島にも産する。東北日本にはほぼ普遍的に生息するが、東海、近畿以西では産地が著しく局地化する。同属のルリボシヤンマに比べて幾分標高の低いところまで生息してさらに西寄りの地域まで見られる<sup>3)</sup>。

本種の岡山県での産地は、苫田郡上斎原村恩原<sup>2)</sup>、真庭郡川上村森山<sup>1)</sup>、御津郡建部町田地子<sup>3)</sup>、和気郡佐伯町田賀<sup>4)</sup>が報告されている。

筆者は、次のとおり本種を採集しているので報告しておく。

1♀、阿哲郡大佐町大佐山竜王池、12. VIII. 1995,  
筆者採集・保管 [写真1]

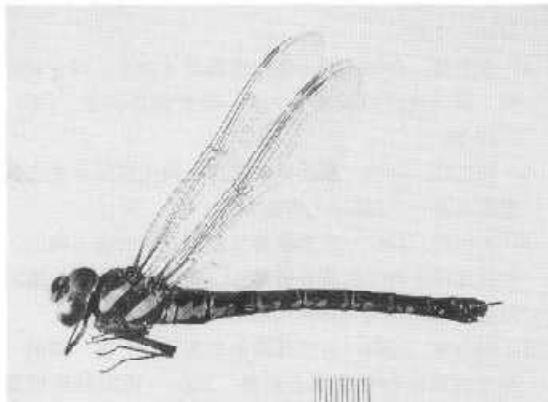


写真1 オオルリボシヤンマ♀

(阿哲郡大佐町大佐山竜王池産)

竜王池 [写真2] は、大佐山の山頂近くにある池で、モリアオガエルの貴重な生息地でもある。しかし、最近は、開発によって周辺の林が切り開かれたり、池にコイが放されており、本種も含めた貴重な生物の存続が危うい状況になっている。

また、最近、岡山市の金谷哲郎氏により採集され、新聞でも報道されたが、これも併せて記録にとどめておきたい。

1♂、岡山市岩井、12. VIII. 1996、金谷哲郎採集、倉敷昆虫館保管

金谷氏によると、採集地は石切場にできた20メートル四方ほどの池で、ハネビロトンボもこの池で採集さ



写真2 オオルリボシヤンマ採集地

(阿哲郡大佐町大佐山竜王池)  
れているそうである。ここで発生しているのかどうか今後調査をしてみたいと考えている。

また、倉敷昆虫館、倉敷市立自然史博物館、岡山県自然保護センターに収蔵されている標本を調べたところ、すでに報告されている産地以外に、以下のデータ



図1 岡山県におけるオオルリボシヤンマの産地

●：過去の記録

○：倉敷昆虫館及び岡山県自然保護センターの収蔵  
標本の産地

☆：今回の新産地

の岡山県産本種の標本を確認したので、併せて報告しておくる。

1♂♂、阿哲郡哲多町田淵湿原、2. X. 1983、重井博採集、倉敷昆虫館保管

1♂♂、阿哲郡大佐町大佐山、5. IX. 1981、風早保男採集、倉敷昆虫館保管

1♂♂2♀♀、総社市鬼の城、3. IX. 1991、重井博採集、岡山県自然保護センター保管

これらの産地を岡山県地図にプロットすると、図1のようになる。これを見ると、本種の分布が岡山県北部から南部まで広い範囲に及んでいることがわかる。

末筆ながら、本種の記録の発表を快く許された金谷哲郎氏、本種の過去の記録についてご教示いただいた倉敷昆虫館の故重井博先生に厚くお礼申し上げる。

### おとしへみ

#### 日本初の特異型シオヤトンボ 一河内 建氏が岡山市北郊で採集一

小野 洋

1996年8月に新聞紙上を賑わしたこのシオヤトンボについては、まだ記憶に新しい方も多いと思う。その後、標本は倉敷昆虫館に展示されているが、この時対応された重井博氏がそれから間もなく急逝され、未報告のまま今日に至っているので、同氏に代わり、また、採集者の河内建氏（日本道路公团中国支社岡山管理事務所長）のご了解を得て、報告させていただく。展示標本に添えられた重井氏の解説があるので、ほとんどはそれに従って紹介することとした。

日本特産種のシオヤトンボは、山間の湿地などに生息し、岡山県でも4月から6月にかけて見られるやや小型の春のトンボで、オスは成熟すると腹背の全面が青みがかった白粉を帯びる。

ところが、河内氏が1996年5月19日に岡山市北郊の岡山市日応寺で発見・写真撮影（写真1）され、5月21日に採集（写真2）された個体は、各腹節ごとに著明な黒色の斑紋が認められ、いわば白黒のだんだら模様で、一見して別種のように見えるため、同氏が倉敷昆虫館に持参されたものである。

重井氏は直ちに高知県中村市トンボ自然公園の杉村光俊氏に照会し、次いで国際トンボ学会日本支部長の井上清氏に同定を依頼したところ、「詳細に検討した結果、『シオヤトンボの黒化型』と思われるが、極めて特異な個体で今まで前例がない」との連絡を受けられた。

以上、簡単に報告したが、河内氏によると「同一場

### 引用文献

- 藤巻憲秀、1989. オオルリボシヤンマ♂、倉敷の自然、(40) :裏表紙。
- 日暮卓志、1995. 岡山県上齋原村で採集したトンボ。すかしば、(41/42) :18.
- 石田勝義、1996. 日本産トンボ目幼虫検索図説。447pp. 北海道大学図書刊行会、北海道。
- 森生枝、1996. 岡山県自然保護センターのトンボ類。岡山県自然保護センター研究報告別巻、(1) : 19-26.
- 澤田博仁、1996. 岡山県御津郡建部町田地子におけるヤンマ類の記録。すずむし、(129) :18-19.

(〒710 倉敷市浦田2430)



写真1 現地で撮影されたシオヤトンボ黒化型

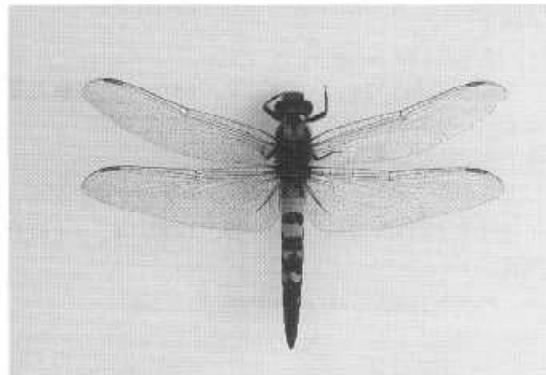


写真2 シオヤトンボ黒化型の採集個体

所で2匹観察することができた」とのことなので、この特異な斑紋のシオヤトンボの本年以降の継続的な調査が待たれるところである。

(〒710 倉敷市酒津2580-50)

## 岡山県から採集した甲虫類の記録

山 地 治

岡山県下から採集した甲虫類のうち記録の少ないと  
思われる若干の種について報告する。

貴重な採集品を提供下さった渡辺昭彦氏・渡辺和夫  
氏に感謝申し上げる。

また、上野輝久氏と直海俊一郎氏には同定の便宜を  
図って頂き、ここにお礼申し上げる。

なお、筆者の同定した種については学名・和名は原  
色日本甲虫図鑑Ⅱ～Ⅳに従った。

筆者等類繁に出てくる採集者名は、山地治-Y、渡  
辺昭彦-A、渡辺和夫-Kと略記した。一部の種に対  
しては写真を添付したが、その番号は学名の前の番号  
に対応している。

1. *Nebria lewisi* BATES カワチマルクビゴミムシ  
岡山市大原橋下旭川右岸, 7 exs., 9. II. 1996,  
Y

岡山県では高梁川下流で記録があるが、今回、旭川  
の河原で水際の石下から採集できた。

2. *Stenus mysticus* SHARP  
上齋原村三ヶ上(山上山), 1ex., 7. VII. 1990,  
Y (直海氏同定)

3. *S. velox* SHARP  
川上町穴門山神社, 1ex., 24. VII. 1993, K (直海  
氏同定)

4. *S. mercator* SHARP  
中和村初和, 2 exs., 18. V. 1991, Y, (直海氏  
同定)

5. *Simplocaria hakonensis* TAKIZAWA  
ハコネチビマルトゲムシ  
加茂町下津川, 1ex., 13. IV. 1996, Y, (上野氏  
同定)

6. *Pseudochelonarium japonicum* (NAKANE)

シラホシダエンマルトゲムシ  
川上村蒜山大山道路, 1ex., 8. VIII. 1996, A  
灯火に飛来

7. *Nalanda rutilicollis rutilicollis* (OBENBERGER)  
ムネアカチビナカボソタマムシ  
高梁市臥牛山, 2 exs., 7. VII. 1996, Y  
アカメガシワ葉上にいたものを採集した。

8. *Cylloides literatus* (REITTER)  
ツキワマルケシキスイ  
川上村蒜山大山道路, 1ex., 21. VII. 1996, A

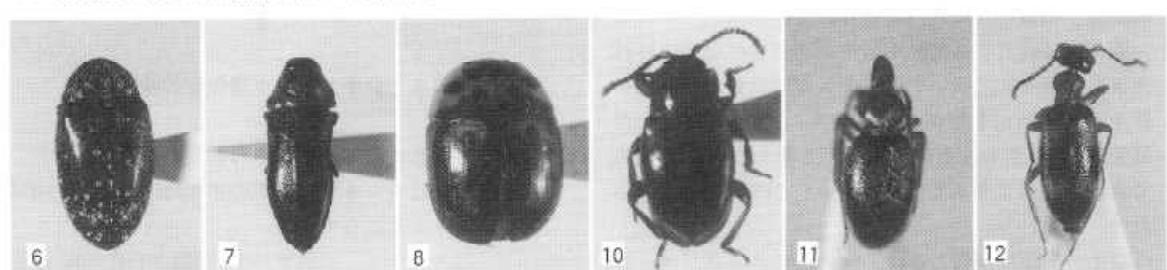
9. *Anadastus filiformis* (FABRICIUS)  
アカヒメコメツキモドキ  
邑久町錦海塩田跡地, 1ex., 23. VIII. 1996, Y  
夜間灯火に飛來した。岡山県からは本種のことと思  
われる和名での古い記録がある。

10. *Lycoperdina mandarinea* GERSTAECKER  
セグロツヤアントウダマシ  
熊山町桜ヶ丘西, 16. VI. 1996, Y  
ホコリタケの生えた地面を歩いているものを採集し  
た。

11. *Mecynotharsus minimus minimus* MARSEUL  
チビイッカク  
総社市水内橋, 3 exs., 29. IV. 1989, Y  
〃, 2 exs., 16. IX. 1989, Y  
上段の内1ex.と下段の2exs.は上野氏同定

12. *Sapintus marseuti* (PIC) アカモンホソアリモドキ  
総社市美袋, 1ex., 29. IV. 1989, A  
備中町西油野柳平, 1ex., 27. V. 1989, A  
加茂川町宇甘溪, 3 exs., 11. VI. 1989, Y (うち  
1ex.は上野氏同定)

(〒701-12 岡山市芳賀5116-11)



## 岡山県のシャチホコガ

渡辺 和夫\*

## I はじめに

岡山県のシャチホコガ科全体を扱ったリストには、昆虫全般のものを含めると、岡山県(1930)、倉敷昆虫館(1978; 岡山県が1978年に出版した同一名称の報告書の内容をごく一部改訂・再版したものなので、本来は岡山県出版のものを原文献とすべきであろうが、筆者の手元に岡山県版がないため、この報告では、倉敷昆虫館版を文献として扱った)、佐藤(1982)、伊藤・楳本(1990)の4つが挙げられる。しかし、これらのリストには、具体的なデータの記載がなく、おおまかに分布像を把握することすら困難であった。倉敷昆虫館(1978)には、確かに岡山県を北・中・南と3区分した分布概要が収録されているが、その際の新知見とそれまでの記録を区別できないといった問題を含め、分布の全体像は見えてこない。

シャチホコガ科の蛾は、分類の難しい蛾類の中では比較的分かりやすく、含まれる種数も全体で120種程度、岡山県で90種程度と蛾の初心者にも手頃なことから、蛾類の調査を始めて間もない筆者ではあるが、県内の分布像解明の一助になればと思い、過去の文献記録に筆者らの記録を加えて報告しておく。

貴重な記録の発表を許された中村具見、大橋英雅の両氏、文献探しでお世話になった青野孝昭、奥島雄一、小野洋、山地治の各氏に厚くお礼申し上げる。

報告の様式は、種ごとに分布記録を県北から県南に向けて市町村別に整理して示した。その際、郡名は省略し、文献記録の場合は引用した文献番号を右肩に示した。また、倉敷昆虫館の所蔵標本から若干の記録を拝借し、この場合は、記録の右肩に※印を付した。

個々の種ごとの分布図は、ページ数の関係で示すことができないので、採集地点の概要を図に示した。この場合、文献記録については地名その他が明示されているものは概ねそれに該当する地を表示したが、市町村名のみの場合は省略している。また、倉敷昆虫館所蔵標本のうちで「川上村上蒜山」の記録が若干見られるが、上蒜山そのものは八束村に位置しており、採集は川上村で行われたものと思われるが、場所の特定が困難なため、図には示すことができなかった。

学名・和名は、杉(1982, 1994, 1995, 1996)に従い、配列はカタログ番号順とし、文献記録についてもこれに統一した。♂♀の特徴となる触角等についても、基本的には杉(1982)によった。筆者らの記録は、末尾に採集者名を略称で示したが、N=中村具見、O=大橋英雅、W=筆者を意味する。文献記録は個体数を省略した。筆者と中村の記録には、同定に問題のない種の目撃記録及び同定後現物を廃棄した記録を含むが、この場合は個体数を示していない。個体数を明示した記録は、全ての個体を筆者が検している。採集年月日は発生時期の参考になるため、文献記録も含めて可能な限り明示した。夜間採集が午前0時を超えて2日にわたる場合も多いが、この場合においては、初日のみを記した。

なお、冒頭示した4つの文献については、データ部分が含まれていないため、それぞれの種の和名の右肩に文献番号を表示した。ただし、佐藤(1982)は、基本的に過去の文献を主体にまとめられたものと考えられるが、ダブリ・欠落・出所不明が散見されるため、今回の報告では採用していない。

また、楳本(1961)の記録は、緒言で「蒐集場所は都窪郡福田村を主とし、一部都窪郡妹尾町および児島郡藤田村を含み」とあり、個々の種については採集地のデータが記されていないため地名不明であるが、これらは現在では全て岡山市に合併されているので、字名等を付さずに「岡山市」と表示した。

## II リスト

1. *Tarsolepis japonica* WILEMAN & SOUTHギンモンスズメモドキ<sup>7/13/30</sup>

川上村上蒜山, 1♂, 26. VI. 1976, 那須\*

川上村皆ヶ山, 2♂, 24. VII. 1988, O

湯原町<sup>③</sup>津山市内<sup>③</sup>新見市水無山, 24. VI. 1979<sup>21)</sup>新見市神代, 18. VII. 1965<sup>17)⑨</sup>

新見市草間切畑, 1♂, 22. VII. 1987, W

成羽町木之村, 1♂, 13. VII. 1991, W

川上町磐窟溪, 1♂, 21. VII. 1984, N

吉備高原西部から県北部にかけて点々と記録されているが、多くない。♂♀は触角(♂♀とも櫛歯状、♀

\*〒719-11 総社市三輪203



図1 シャチホコガ科蝶類の岡山県内採集地点概要

は枝がかなり短い) によった。♀は、倉敷昆虫館に所蔵されていた新見市神代産の個体を検している。

2. *Stauropus fagi* (LINNAEUS) シャチホコ<sup>7)(13)</sup>

川上村皆ヶ山, 1♂, 18. VII. 1995, O

奥津町県立森林公園<sup>32)</sup>

旭町里, 1♂, 28. VII. 1990, W

津山市黒沢山, 25. VI. 1960<sup>9)</sup>

津山市鶴山城跡<sup>8)</sup>

新見市水無山, 16. VI. 1979<sup>21)</sup>

新見市草間切畑, 20. VI. 1987<sup>12)</sup>

西粟倉村若杉, 1♂, 6. VIII. 1993, W

成羽町木之村, 1♂, 13. VII. 1991, W; 1♂, 29. VIII. 1987, W

高梁市木野山駅, 1♂, 20. VII. 1987, O

加茂川町高富, 18. VIII. 1990, W

建部町田地子, 1♂, 17. VIII. 1991, W

佐伯町田賀<sup>6)</sup>

総社市種井, 1♂, 18. IV. 1987, O

総社市日羽, 1♂, 4. VIII. 1987, O; 1♂, 16. VIII. 1987, O

岡山市稲荷山, 17. IV. 1968<sup>38)</sup>

吉備高原以北に広く分布する。♀(触角は糸状)は検していないが、触角が両櫛歯状の個体ばかりなので、全て♂と同定した。

3. *Neostauropus basalis* (MOORE) ヒメシャチホコ<sup>7)(13)(30)</sup>

中和村山乗山, 1♂, 9. VII. 1988, W

新庄村毛無山, 9. VIII. 1980<sup>31)</sup>

奥津町県立森林公園<sup>32)</sup>

上斎原村, 14. VI. 1971; 8. VI. 1972<sup>24)</sup>

加茂町倉見根知, 1♂, 6. VII. 1991, W

鏡野町越畑, 1♂, 14. VII. 1985, N

旭町里, 1♂, 28. VII. 1990, W

津山市黒沢山, 25. VI. 1960<sup>9)</sup>

津山市鶴山城跡<sup>8)</sup>

新見市水無山, 19. V. 1979; 16. VI. 1979; 24. VI. 1979<sup>21)</sup>

建部町田地子, 1♂, 15. VI. 1991, W; 1♂, 17. VIII. 1991, W

佐伯町宇生, 13. VI. 1992, W; 1♂, 29. VII. 1992, W

佐伯町田賀<sup>6)</sup>

井原市野上町頂見千手院, 31. VIII. 1979<sup>31)</sup>

総社市下三輪, 18. IV. 1972, W

倉敷市浅原, 5. VI. 1975<sup>45)</sup>

倉敷市古水江, 12. V. 1982<sup>42)</sup>

倉敷市玉島弥高山, 1. VII. 1981<sup>41)</sup>

倉敷市粒江七ツ池, 2. VI. 1979<sup>40)</sup>

倉敷市児島宇野津, 5. VI. 1977<sup>50)</sup>

倉敷市児島赤崎, 4. VI. 1978<sup>39)</sup>

岡山市真星長沢, 28. VII. 1987, W

岡山市稻荷山, 21. V. 1968; 19. VI. 1968; 10. VIII. 1968; 22. VIII. 1968; 7. VI. 1969; 27. VIII. 1969; 14. V. 1970<sup>38)</sup>

岡山市西大寺水源地, 3. IX. 1965; 18. VI. 1966<sup>3)</sup>

邑久町知尾, 1♂, 25. VIII. 1990, W

県下全域に広く分布する。♂♀は腹端の形状によつた。触角(♂♀とも両櫛歯状、♀は枝が短い)での区別も可能と思うが、筆者は♀を検していないため、どの程度の差なのか分からない。

4. *Syntypistis pryeri* (LEECH)

ブライヤアオシャチホコ<sup>7)(13)</sup>

川上村上蒜山, 1♂, 26. VI. 1976, 那須\*

川上村鬼女台, 2♂, 10. VIII. 1991, W

勝山町荒田, 1♀, 5. VIII. 1989, W

奥津町泉山, 28. VI. 1962<sup>23)</sup>

上斎原村, 24. VI. 1970; 18. VI. 1971<sup>24)</sup>

加茂町青柳, 3♂, 11. VIII. 1990, W

富村のとろ原, 1♀, 5. VIII. 1985, N

旭町里, 1♂, 28. VII. 1990, W

新見市草間切畑, 20. VI. 1987<sup>12)</sup>

邑久町知尾, 1♂, 25. VIII. 1990, W

吉備高原の北部以北での記録がほとんどであるが、かなり離れて瀬戸内沿岸低地帯から唯一の邑久町知尾の記録がある。No. 7 のブナアオシャチホコとは、♂♀とも翅底部の黒色鱗を目安として区別した。♂♀は触角(♂♀とも両櫛歯状、♀は枝が著しく短い。写真4が♂、写真5が♀)によつた。

5. *S. japonica* NAKATOMI アオシャチホコ<sup>7)(13)</sup>

川上村鬼女台, 1♂, 17. VIII. 1985, N; 1♂ 2♀, 10. VIII. 1991, W

八束村上長田宇田, 27. VII. 1972<sup>10)</sup>

奥津町県立森林公園<sup>32)</sup>

加茂町倉見, 1♂, 22. VIII. 1985, N

加茂町倉見根知, 2♂, 6. VII. 1991, W

加茂町青柳, 2♂ 1♀, 11. VIII. 1990, W

富村のとろ原, 1♂, 5. VIII. 1985, N

勝央町植月中, 2♂, 21. VII. 1990, W

旭町里, 3♂ 1♀, 28. VII. 1990, W

津山市内<sup>8)</sup>

新見市水無山, 24. VIII. 1979<sup>21)</sup>

新見市井倉, 1♂, 7. VIII. 1964, 植本\*

高梁市木野山駅, 1♂, 20. VII. 1987, O; 1♂,  
13. VIII. 1987, O; 1♀, 4. VIII. 1987, O

高梁市臥牛山, 25. VIII. 1990<sup>31)</sup>

賀陽町大岩, 2♂, 27. VII. 1991, W

加茂川町高富, 1♂, 18. VIII. 1990, W

建部町田地子, 1♂, 17. VIII. 1991, W

佐伯町宇生, 29. VIII. 1992, W

佐伯町田賀<sup>6)</sup>

井原市野上町頂見千手院, 31. VIII. 1979<sup>31)</sup>

総社市種井, 1♂, 29. IV. 1987, O; 1♂, 13.

VII. 1987, O

総社市日羽, 1♀, 13. VIII. 1987, O

倉敷市玉島弥高山, 1. VII. 1981; 29. VII. 1981<sup>41)</sup>

倉敷市児島大池, 7. VII. 1965<sup>39)47)\*</sup>

岡山市真星長沢, 1♂, 28. VII. 1987, N

県下全域に普通。本種と次種の同定は、♂は第8腹板尾縁の形状（本種は平坦、写真6；次種は浅いV字状、写真7）により、♀は同定済の♂翅表を参考に、前翅表の金属様緑色鱗片の有無によった。♂♀は主に腹端の形状によった。触角でも区別可能ではあるが、*pyreri*や*punctatella*ほど明瞭な差はない。倉敷市児島大池の記録については、次種の項を参照のこと。

6. *S. cyanea* (LEECH) オオアオシャチホコ<sup>7)13)</sup>

川上村鬼女台, 1♂ 1♀, 2. VII. 1988, O; 3♂ 4♀, 10. VIII. 1991, W

新庄村毛無山, 9. VIII. 1980<sup>31)</sup>

加茂町倉見根知, 2♂, 6. VII. 1991, W

鏡野町越畠, 1♀, 14. VII. 1985, N

旭町里, 3♂, 28. VII. 1990, W

津山市黒沢山, 22. VIII. 1961<sup>22)</sup>

津山市小田中<sup>8)</sup>

成羽町木之村, 1♂, 13. VII. 1991, W

芳井町日南, 15. VIII. 1979<sup>31)</sup>

倉敷市古水江, 9. VIII. 1982<sup>42)</sup>

岡山市真星長沢, 1♀, 28. VII. 1987, W

ほぼ県下全域から記録されているが、前種に比べると、やや分布が限定されているようである。♂♀は前種と同様である。宇野・榎本（1976c）及び宇野（1980）による本種の記録（倉敷市児島大池）は同一の個体によるものであるが、本種のラベルがついた♂の現物標本が倉敷昆虫館に残されていたので検したところ、明らかに前種の誤同定であったので、筆者の責任で訂正しておきたい。

7. *S. punctatella* (MOTSHULSKY)

ブナアオシャチホコ<sup>7)13)</sup>

新庄村毛無山, 9. VIII. 1980<sup>31)</sup>

奥津町県立森林公園<sup>32)</sup>

上齋原村, 26. XII. 1970; 18. VI. 1971<sup>24)</sup>

西粟倉村若杉, 2♂ 1♀, 20. VI. 1993, W

食樹がブナ・イヌブナに限定されるので、県北山地のブナ帯に限って分布。種の同定は、♂♀とも翅底部に黒色鱗を持たないものを本種とした。♂♀は触角によったが、*pyreri*とほぼ同様である。ただし、♀触角の枝はより短い。道信（1977）の記録した「上齋原村, 26. XII. 1970」は、杉（1982）によると本種の出現期が5～6月及び8～9月とされている中で、異常に遅く、道信（1977）には、1970年の記録として9月26日と11月26日の両日が複数見つかるため、本種の「II」は「IX」の間違いかもしれない。

#### 8. *Cnethodonta grisescens* STANDINGER

バイバラシロシャチホコ<sup>7)13)</sup>

新庄村毛無山, 9. VIII. 1980<sup>31)</sup>

奥津町森林公園, 8. VIII. 1976<sup>49)</sup>

奥津町県立森林公園<sup>32)</sup>

上齋原村赤和瀬南, 19. VI. 1976<sup>49)</sup>

加茂町青柳, 1♂, 11. VIII. 1990, W

神郷町新郷駅, 3. VII. 1975; 29. VII. 1975<sup>44)49)</sup>

備中町新成羽川ダム, 13. VII. 1976<sup>49)</sup>

成羽町木之村, 3♂, 13. VII. 1991, W

高梁市臥牛山, 20. VII. 1976<sup>49)</sup>

高梁市臥牛山, 14. VI. 1988; 17. VII. 1988; 19. VII. 1988; 17. IX. 1988; 26. VI. 1989; 4. VII. 1989; 4. IX. 1989; 27. VII. 1990; 25. VII. 1990<sup>43)</sup>

加茂川町高富, 2♂, 18. VIII. 1990, W

加茂川町宇甘渓, 31. VIII. 1980<sup>31)</sup>

建部町旭川ダム, 27. VIII. 1975<sup>49)</sup>

建部町田地子, 1♂, 17. VIII. 1991, W

吉永町滝谷, 14. IX. 1980<sup>31)</sup>

芳井町日南, 24. VI. 1979; 26. VII. 1979; 15. VIII. 1979<sup>31)</sup>

井原市野上町頂見千手院, 31. VIII. 1979<sup>31)</sup>

県北の山地部と吉備高原から記録されている。本種と次種は、宇野・榎本（1975）で県下で初めて分離報告されたため、それ以前の文献記録は削除した。種の同定は、♂については第8腹板尾縁の形状（本種は平坦、写真8；次種は中央で鋭く切れ込む、写真9）により、♂♀の区別は触角（♂♀とも両側歯状、♀は枝が非常に短い）によった。♀の種の同定は完了していないので、今回は報告を見送った。

#### 9. *C. japonica* SUGI シロシャチホコ<sup>7)13)</sup>

川上村蒜山有料道路, 19. VIII. 1976<sup>49)</sup>

- 川上村野土路峠, 26. VI. 1976<sup>49</sup>  
 中和村津黒山, 11. VII. 1976<sup>49</sup>  
 中和村山乗山, 1 ♂, 29. VI. 1991, W  
 新庄村毛無山, 9. VIII. 1980<sup>31</sup>  
 新庄村田浪, 1 ♂, 3. VIII. 1985, N  
 湯原町湯原ダム, 5. VIII. 1975<sup>49</sup>  
 奥津町立森林公园<sup>32</sup>  
 加茂町倉見根知, 2 ♂, 6. VII. 1991, W  
 新見市水無山, 24. VI. 1979<sup>21</sup>  
 西粟倉村若杉, 2 ♂, 6. VIII. 1993, W; 1 ♂, 9. VIII. 1994, W  
 備中町新成羽川ダム, 3. IX. 1975; 30. VII. 1976<sup>49</sup>  
 芳井町日南, 24. VI. 1979; 26. VII. 1979; 15. VIII. 1979; 13. IX. 1979<sup>30</sup>  
 前種の分布域のうち吉備高原では西部の高標高地に限定されているようである。逆に、県北山地では本種の方が記録地点はるかに多い。両種が同所的に確認されている地点も4か所ある。
10. *Shachia circumscripta* (BUTLER)  
 ニッコウシャチホコ<sup>7(13)</sup>  
 中和村山乗山, 3 ♂, 11. VII. 1987, W; 1 ♂ 1 ♀, 9. VIII. 1988, W  
 新庄村毛無山, 9. VIII. 1980<sup>31</sup>  
 加茂町倉見根知, 2 ♂, 6. VII. 1991, W  
 新見市水無山, 24. VI. 1979; 8. VII. 1979; 14. VII. 1979<sup>21</sup>  
 西粟倉村若杉, 2 ♂, 20. VI. 1993, W; 1 ♂, 6. VIII. 1993, W  
 東粟倉村後山, 30. VII. 1962<sup>23</sup>  
 佐伯町田賀<sup>5</sup>  
 芳井町石草, 2 ♀, 19. VII. 1985, N  
 芳井町日南, 24. VI. 1979<sup>31</sup>  
 県北山地を中心に吉備高原でも一部記録されているが、その中でも佐伯町田賀の記録は、吉備高原東部の比較的低標高地であり、興味深い。♂♀は触角（♂♀とも両櫛歯状、♀は枝がかなり短い；写真10が♂、写真11が♀）によった。
11. *Cerura felina* BUTLER モクメシャチホコ<sup>7(13)30</sup>  
 八束村上長田宇田, 18. VIII. 1969<sup>10</sup>  
 この記録以外では、岡山県（1930）の「北部一円川上【中】、勝田【梶並】」というアバウトな記録があるだけである。筆者は現物を検していない。
12. *C. menciana* (MOORE) オオモクメシャチホコ<sup>7(13)</sup>  
 蒜山, 5. VIII. 1984, 羽化; 11. VIII. 1984, 羽化<sup>28</sup>  
 勝山町荒田, lex., 5. VIII. 1989, W
- 上斎原村, 24. VI. 1970; 14. VI. 1971<sup>24</sup>  
 加茂町倉見根知, 6. VII. 1991, W  
 旭町里, 19. VI. 1990, W; lex., 28. VII. 1990, W  
 津山市黒沢山, 25. VI. 1960<sup>9</sup>  
 高梁市木野山駅, lex., 12. VII. 1987, O; lex., 20. VIII. 1987, O; lex., 4. VIII. 1987, O; lex., 21. VIII. 1992, O  
 加茂川町高富, 21. VI. 1990, W; 18. VIII. 1990, W  
 建部町田地子, lex., 17. VIII. 1991, W  
 岡山市稻荷山, 22. VIII. 1968<sup>30</sup>  
 県中央部を南北に帯状に記録地点が並ぶが、瀬戸内沿岸低地帯を除き、県下に広く分布するものと思われる。今回の報告では♂♀の区別をしていない。
13. *C. tattakana* MATSUMURA -  
 タッカカモクメシャチホコ<sup>7(13)</sup>  
 上斎原村, 16. VI. 1971<sup>24</sup>  
 新見市水無山, 16. VI. 1979<sup>21</sup>  
 横本（1979）では、新見市水無山が県下3例目の記録とされているが、筆者は上記2例しか見出だすことができなかった。筆者は現物を検していない。
14. *Furcula furcula* (CLERCK)  
 ナカグロモクメシャチホコ<sup>7(13)</sup>  
 川上村鬼女台, 1 ♀, 17. VIII. 1985, N; 3 ♂, 10. VIII. 1991, W  
 川上村皆ヶ山, 1 ♂, 7. VIII. 1988, O  
 蒜山, 18. VIII. 1984, 羽化<sup>28</sup>  
 上斎原村, 2. VI. 1970; 9. VI. 1972<sup>24</sup>  
 津山市鶴山城跡<sup>31</sup>  
 総社市種井, 1 ♂, 7. VI. 1987, O  
 倉敷市蟻峰山, 13. V. 1971<sup>46</sup>  
 岡山市, 19. V. 1960<sup>40</sup>  
 岡山市稻荷山, 17. IV. 1968<sup>38</sup>  
 岡山市益野, 5. VI. 1966<sup>31</sup>  
 岡山市西大寺水源地, 8. V. 1969<sup>31</sup>  
 確認地点は多くないが、県北山地から瀬戸内沿岸低地帯まで、広い範囲で記録されている。県下全域に産するものと思われる。♂♀は触角（♂♀とも両櫛歯状で、♀は枝が非常に短い）によった。
15. *Harpyia umbrosa* (STAUDINGER)  
 ギンシャチホコ<sup>7(13)30</sup>  
 中和村山乗山, 1 ♂ 1 ♀, 11. VII. 1987, W  
 上斎原村, 8. VI. 1972; 10. VI. 1972<sup>24</sup>  
 加茂町倉見根知, 6. VII. 1991, W  
 鏡野町越畠, 1 ♂, 14. VII. 1985, N

旭町里, 19. VI. 1990, W ; 28. VII. 1990, W  
 津山市黒沢山, 25. VI. 1960<sup>27</sup>  
 津山市内<sup>8</sup>  
 新見市草間切畑, 20. VI. 1987<sup>28</sup>  
 成羽町木之村, 1♂, 29. VII. 1987, W ; 1♂, 13.  
 VII. 1991, W  
 加茂川町高富, 21. VI. 1990, W ; 18. VII. 1990,  
 W  
 建部町田地子, 17. VII. 1991, W  
 佐伯町宇生, 29. VII. 1992, W  
 佐伯町田賀<sup>6</sup>  
 芳井町石草, 1♂, 19. VII. 1985, N  
 倉敷市浅原, 23. VI. 1975<sup>45</sup>  
 倉敷市連島宮ノ浦, 12. VI. 1972<sup>51</sup>  
 倉敷市蟻蜂山, 23. VI. 1966 ; 27. VI. 1970<sup>46</sup>  
 倉敷市児島寧野津, 11. V. 1977 ; 5. VI. 1977<sup>50</sup>  
 岡山市真星長沢, 1♂, 28. VII. 1987, W  
 岡山市稻荷山, 21. V. 1968 ; 11. VI. 1968 ; 7.  
 VI. 1969 ; 14. VI. 1969<sup>38</sup>  
 岡山市西大寺水源地, 23. VI. 1966<sup>3</sup>  
 県下全域に普通。♂♀は♀後翅の色彩（暗色）に  
 よった。

16. *Wilemanus bidentatus* (WILEMAN)モンクロギンシャチホコ<sup>7)(13)(30)</sup>

落合町閑, 3♂, 18. VII. 1987, W  
 旭町里, 1♂, 28. VII. 1990, W  
 津山市黒沢山, 25. VI. 1960<sup>9</sup>  
 津山市内<sup>8</sup>  
 大佐町布瀬, 3. VII. 1960<sup>1</sup>  
 加茂川町高富, 1♂, 18. VII. 1990, W  
 佐伯町宇生, 1♂, 29. VII. 1992, W  
 佐伯町田賀<sup>6</sup>  
 芳井町石草, 1♀, 19. VII. 1985, N  
 総社市日羽, 1♀, 4. VII. 1989, O  
 倉敷市連島宮ノ浦, 23. VI. 1977<sup>5</sup>  
 倉敷市蟻蜂山, 25. VI. 1966<sup>46</sup>  
 倉敷市児島大池, 3. VII. 1965<sup>39)(47)</sup>  
 岡山市西大寺水源地, 25. VI. 1966<sup>3</sup>  
 岡山市小串, 1♂ 1♀, 9. VII. 1985, N  
 県北部からの記録がなく、瀬戸内沿岸低地帯を含む  
 それ以外の県下各地から広く記録されている。♂♀は  
 触角（♂は両櫛歯状、♀は微かに鋸歯状）によった。

17. *Uropyia meticulodina* (OBERTHUR)ムラサキシャチホコ<sup>7)(13)(30)</sup>

勝山町荒田, 1♂, 5. VII. 1989, W  
 落合町閑, 1♂, 18. VII. 1987, W

上齋原村, 31. V. 1971<sup>24</sup>  
 加茂町青柳, 11. VII. 1990, W  
 旭町里, 19. VI. 1990, W ; 28. VII. 1990, W  
 津山市黒沢山, 25. VI. 1960<sup>9</sup>  
 津山市大谷<sup>8</sup>  
 新見市水無山, 24. VI. 1979 ; 14. VII. 1979<sup>21</sup>  
 成羽町木之村, 1♀, 29. VII. 1987, W  
 高梁市臥牛山, 4. V. 1989 ; 4. VII. 1989 ; 25.  
 VII. 1990<sup>43</sup>  
 賀陽町大岩, 27. VII. 1991, W  
 加茂川町高富, 21. VI. 1990 ; 18. VII. 1990, W  
 加茂川町宇甘渓, 31. VII. 1980<sup>31</sup>  
 建部町田地子, 15. VI. 1991, W ; 17. VII. 1991,  
 W  
 吉井町光木, 29. VII. 1992, W  
 佐伯町宇生, 29. VII. 1992, W  
 佐伯町田賀<sup>6</sup>  
 芳井町日南, 24. VI. 1979 ; 15. VII. 1979<sup>31</sup>  
 清音村黒田, 1♂, 17. VII. 1985, N  
 倉敷市浅原, 24. VI. 1975<sup>45</sup>  
 倉敷市玉島弥高山, 1. VII. 1981 ; 29. VII. 1981 ;  
 25. VII. 1981<sup>41</sup>  
 倉敷市児島白尾, 14. VI. 1990<sup>4</sup>  
 岡山市真星長沢, 28. VII. 1987, W ; 1♂, 26. VII.  
 1987, W  
 岡山市金甲山, 16. VI. 1968<sup>3</sup>  
 邑久町知尾, 25. VII. 1990, W  
 県北の山地部で密度が薄い程度で、ほぼ県下全域に  
 分布する。♂♀は触角（♂は両櫛歯状、♀は弱い鋸歯  
 状）によった。

18. *Fentonnia ocyptete* (BREMER) ホソバシャチホコ<sup>7)(13)(30)</sup>

八束村上長田宇田, 27. VII. 1972<sup>10</sup>  
 中和村山乘山, 1♂, 9. VII. 1988, W  
 新庄村毛無山, 9. VII. 1980<sup>31</sup>  
 勝山町荒田, 1♂ 1♀, 5. VII. 1989, W  
 奥津町県立森林公园<sup>32</sup>  
 上齋原村, 28. VII. 1970<sup>24</sup>  
 加茂町倉見根知, 6. VII. 1991, W  
 加茂町青柳, 11. VII. 1990, W  
 富村のとろ原, 1♂, 5. VII. 1985, N  
 旭町里, 19. VI. 1990, W ; 28. VII. 1990, W  
 津山市黒沢山, 25. VI. 1960<sup>9</sup>  
 津山市内<sup>8</sup>  
 大佐町大佐山, 29. VI. 1985<sup>11</sup>  
 大佐町布瀬, 20. VI. 1960<sup>1</sup>  
 新見市水無山, 16. VI. 1979<sup>21</sup>

新見市井倉, 1♂, 7. VII. 1964, 横本\*

高梁市臥牛山, 20. VII. 1976; 14. VI. 1988; 4. VIII. 1989<sup>43)</sup>

賀陽町大岩, 27. VII. 1991, W

加茂川町高富, 18. VIII. 1990, W

加茂川町宇甘溪, 31. VIII. 1980<sup>31)</sup>

建部町旭川ダム, 1♂, 21. VIII. 1963, 横本\*

建部町田地子, 17. VIII. 1991, W

佐伯町宇生, 29. VII. 1992, W

佐伯町田賀<sup>6)</sup>

芳井町日南, 26. VII. 1979<sup>31)</sup>

総社市下三輪, 30. V. 1971, W

倉敷市浅原, 5. VI. 1975; 12. VI. 1975; 18. VI. 1975; 10. VII. 1975<sup>45)</sup>

倉敷市三田, 31. VII. 1975<sup>45)</sup>

倉敷市玉島弥高山, 17. VIII. 1980; 29. VII. 1981<sup>41)</sup>

倉敷市粒江七ツ池, 7. VII. 1979<sup>40)</sup>

倉敷市連島宮ノ浦, 7. VI. 1977<sup>5)</sup>

倉敷市蠍峰山, 17. VI. 1966<sup>46)</sup>

倉敷市児島宇野津, 18. VII. 1977<sup>50)</sup>

倉敷市児島白尾, 14. VI. 1990<sup>4)</sup>

倉敷市児島赤崎, 4. VI. 1978; 21. VII. 1978<sup>39)</sup>

岡山市真星長沢, 28. VII. 1987, W; 26. VII. 1987, W

岡山市稻荷山, 10. VII. 1968; 22. VII. 1968; 27. VII. 1969<sup>38)</sup>

岡山市金甲山, 29. VI. 1968<sup>31)</sup>

邑久町知尾, 25. VIII. 1990, W

県下全域に普通。♂♀は触角（♂は両櫛歯状、♀は糸状）によった。

19. *Mesopalera sigmata* (BUTLER)クロシタシャチホコ<sup>7)(13)(30)</sup>

旭町里, 1♂, 28. VII. 1990, W

津山市内<sup>8)</sup>

新見市正田, 1♀, 16. VII. 1965, 横本\*

高梁市木野山駅, 1♂, 20. VII. 1987, O

佐伯町宇生, 1♂, 29. VII. 1992, W

岡山県では比較的珍しい種で、県中部に点々と産地が知られるにすぎない。♂♀は翅形（♀は前翅が幅広い）及び後翅色彩（♀は♂に比べ淡色）によった。

20. *Disparia variegata* (WILEMAN)ホソバネグロシャチホコ<sup>7)(13)</sup>

旭町里, 1♂, 28. VII. 1990, W

津山市黒沢山, 25. VI. 1960<sup>40)</sup>

高梁市木野山駅, 2♂ 1♀, 26. VII. 1987, O

佐伯町宇生, 1♂, 29. VII. 1992, W

総社市種井, 1♂, 5. VII. 1987, O

岡山市真星長沢, 4♂, 28. VII. 1987, N・W

前種と同様、県中部から点々と記録されている。前種がヤブツバキ、本種がヒサカキと、ともにツバキ科の常緑樹を食樹とすることから、両種の分布型が似ているのも当然かもしれない。♂♀は触角（♂は両櫛歯状、♀は糸状）によった。

21. *Neodrymonia delia* (LEECH)フタジマネグロシャチホコ<sup>7)(13)</sup>

川上村鬼女台, 1♂, 10. VIII. 1991, W

八束村上長田宇田, 17. VII. 1969<sup>10)</sup>

新庄村田浪, 1♂, 3. VIII. 1985, N

勝山町荒田, 1♀, 5. VII. 1989, N

奥津町県立森林公園<sup>32)</sup>

上齋原村, 14. VII. 1972<sup>24)</sup>

鏡野町越畠, 1♂, 14. VII. 1985, N

新見市吉川, 1♀, 27. VII. 1985, N

西粟倉村若杉, 2♂, 6. VII. 1993, W

高梁市木野山駅, 1♂, 16. VII. 1987, O

賀陽町大岩, 1♂, 27. VII. 1991, W

建部町田地子, 1♂, 17. VII. 1991, W

総社市種井, 1♂, 5. VII. 1987, O

吉備高原以北で記録されているが、吉備高原での記録はやや疎である。♂♀は触角（♂は歯牙状、♀は糸状）によった。

22. *Eusentonia nihonica* (WILEMAN)オオネグロシャチホコ<sup>7)(13)</sup>

川上村鬼女台, 2♂ 2♀, 10. VIII. 1991, W

中和村山乗山, 1♂, 16. VIII. 1986, N; 1♂, 9. VII. 1988, W

新庄村毛無山, 9. VII. 1980<sup>31)</sup>

新庄村田浪, 1♀, 3. VII. 1985, N

奥津町県立森林公園<sup>32)</sup>

奥津町大鈴, 1♂, 26. VI. 1988, O

西粟倉村若杉, 2♂, 6. VII. 1993, W; 1♂, 9. VII. 1994, W

東粟倉村後山, 30. VII. 1962<sup>23)</sup>

高梁市臥牛山, 20. VII. 1976<sup>43)</sup>

県北の山地部での記録がほとんどで、吉備高原では高梁市臥牛山の記録が唯一のものである。♂♀は触角（♂は両櫛歯状、♀は糸状）によった。

23. *Phaleria takasagoensis* MATSUMURAタカサゴツマキシャチホコ<sup>7)(13)</sup>

奥津町県立森林公園<sup>32)</sup>

建部町旭川ダム, 1♂, 14. VII. 1975, 宇野\*

本種の文献記録の扱いについては、杉（1982）によ

れば、「ホソツマキ」という呼称は、本来次種「ムクツマキ」の別名であり、本種の別名は「ヒメツマキ」であるにもかかわらず、学名適用の混乱から本種のことを誤って「ホソツマキ」と呼ぶことがありうる旨の解説がなされていることから、この報告では、「ホソツマキ」の和名が使用されているもののうち学名によって次種 (*P. angustipennis*) と確認できるものはそれによったが、「ホソツマキ」の和名のみの記録の場合は、採用していない。ただし、倉敷昆虫館 (1978) 及び岡山県 (1983) における「ホソツマキ」の扱いについては、両者とも同時に「ムクツマキ」が記録されていることから、「タカサゴツマキ」として扱った。また、榎本 (1966) による倉敷市玉島及び岡山市西大寺水源地の本種の記録は、本種のラベルがついたそれぞれのデータと一致する標本が倉敷昆虫館にあったので検したところ、ムクツマキの誤同定だったので、筆者の責任で訂正しておきたい。本種の現物は、建部町旭川ダム産の個体を検しただけだが、同定は主として後翅前縁部の色彩（淡色）によった。記録自体が少ないものだが、中臣 (1993) は日本産 *Phalera* 属の食性等をまとめた中で、その羽化期について、本種とモンクロシャチホコを 8~9 月とし、他の 3 種は 6~7 月としていることから、時期を遅らせて調査すれば、新たな見方が得られるかもしれない。なお、本種を含めた *Phalera* 属の♂♀は、触角（♂は歯牙状で長い毛束、♀は糸状。次種ムクツマキの例で、写真 12 が♂、写真 13 が♀）によって同定した。

24. *P. angustipennis* MATSUMURAムクツマキシャチホコ<sup>7)(13)(30)</sup>

- 勝山町荒田, 1 ♀, 5. VIII. 1989, W
- 奥津町県立森林公園<sup>32)</sup>
- 上齋原村恩原池<sup>33)</sup>
- 旭町里, 2 ♂, 28. VII. 1990, W
- 新見市吉川, 1 ♂, 27. VII. 1985, N
- 新見市水無山, 14. VIII. 1979<sup>31)</sup>
- 新見市正田, 1 ♀, 29. VIII. 1965, 榎本\*
- 新見市草間切畑, 2 ♂, 22. VIII. 1987, W
- 備中町長屋, 2 ♂, 25. VIII. 1985, N
- 成羽町木之村, 1 ♂, 13. VIII. 1991, W
- 高梁市臥牛山, 17. VIII. 1988<sup>33)</sup>
- 加茂川町高富, 1 ♂, 18. VIII. 1990, W
- 加茂川町宇甘溪, 31. VIII. 1980<sup>31)</sup>
- 建部町田地子, 1 ♂, 17. VIII. 1991, W
- 赤坂町町刈田, 1 ♀, 27. VIII. 1975, 宇野\*
- 佐伯町宇生, 1 ♀, 29. VII. 1992, W
- 芳井町石草, 2 ♂, 19. VIII. 1985, N

芳井町日南, 15. VIII. 1979<sup>31)</sup>  
 総社市日羽, 1 ♀, 6. VIII. 1989, W  
 総社市下三輪, 2 ♀, 26. VIII. 1971, W  
 倉敷市浅原, 25. VIII. 1975<sup>35)</sup>  
 倉敷市古水江, 9. VIII. 1982<sup>32)</sup>  
 倉敷市玉島, 11. VIII. 1963<sup>38)\*</sup>  
 倉敷市玉島弥高山, 17. VIII. 1980<sup>41)</sup>  
 岡山市西大寺水源地, 20. VIII. 1965<sup>3)(18)\*</sup>  
 岡山市稻荷山, 22. VIII. 1968<sup>38)</sup>  
 邑久町知尾, 4 ♂, 25. VIII. 1990, W  
 県北東部に記録がないが、県下全域に産するものと考えてよいと思う。種の同定は、翅頂部の黄色斑の内側が黒色に縁どられるもののうち、前種の特徴にも次種の特徴にも該当しないものを本種として扱った。倉敷市玉島及び岡山市西大寺水源地の記録の扱いについては、前種の項を参照のこと。

25. *P. assimilis* (BREMER & GREY)ツマキシャチホコ<sup>7)(13)(30)</sup>

- 奥津町県立森林公園<sup>32)</sup>
  - 鏡野町越畠, 1 ♂, 14. VIII. 1985, N
  - 津山市黒沢山, 25. VI. 1960<sup>39)</sup>
  - 津山市内<sup>39)</sup>
  - 新見市神代, 1 ♀, 18. VIII. 1965, 採集者不明\*
  - 新見市井倉, 1 ♂, 19. VI. 1966, 那須\*
  - 西粟倉村若杉, 1 ♀, 6. VIII. 1993, W : 1 ♂, 9. VII. 1994, W
  - 備中町長屋, 1 ♂, 25. VIII. 1985, N
  - 高梁市臥牛山, 4. VIII. 1989<sup>43)</sup>
  - 加茂川町高富, 21. VI. 1990, W
  - 建部町田地子, 1 ♂, 17. VIII. 1991, W
  - 佐伯町宇生, 2 ♂, 29. VII. 1992, W
  - 佐伯町田賀<sup>6)</sup>
  - 倉敷市玉島陶, 7. VI. 1990<sup>51)</sup>
  - 岡山市真星長沢, 1 ♀, 28. VIII. 1987, W
  - 邑久町知尾, 1 ♂, 25. VIII. 1990, W
- 種の同定は、主として翅頂部の黄色斑の内側が紅色に縁どられること（筆者は黒色に縁どられる個体を検していない）と、前翅内横線に内接し、後縁に接する暗色斑によった。県内分布は前種の方が優勢と考えられるが、本種も県下全域に広く分布する。

26. *P. minor* NAGANO クロツマキシャチホコ<sup>31)</sup>奥津町県立森林公園<sup>32)</sup>

- 倉敷市旭町, 12. VIII. 1964<sup>17)(18)</sup>

翅頂部の黄色斑の内側が常に紅色に縁どられること、前種の特徴が現れないと、黒味が強いこと等で同定は可能と思われるが、筆者は現物を検していない。な

お、伊藤・楳本（1990）は、本種を採用していない。タカサゴツマキの項で触れたように、当時の同定の混乱を考えると妥当な措置かもしれないが、筆者は当面このままで保留しておく。

27. *P. flavescentes* (BREMER & GREY)

モンクロシャチホコ<sup>7)13)30)</sup>

加茂町倉見根知, 6. VII. 1991, W

旭町里, 1 ♀, 28. VII. 1990, W

津山市内<sup>8)</sup>

新見市新見, 1 ♀, 7. VIII. 1964, 楠本\*

新見市正田, 1 ♀, 29. VIII. 1965, 楠本\*

吉井町周匝, 9. VIII. 1955<sup>1)</sup>

佐伯町宇生, 1 ♂, 29. VII. 1992, W

佐伯町田賀<sup>6)</sup>

芳井町石草, 1 ♀, 19. VII. 1985, N

倉敷市浅原, 26. VIII. 1975<sup>15)</sup>

倉敷市古水江, 21. VII. 1981; 9. VIII. 1982<sup>12)</sup>

倉敷市住吉町農研, 21. VIII. 1951<sup>19)</sup>

倉敷市連島宮ノ浦, 25. VIII. 1978<sup>5)</sup>

倉敷市玉島弥高山, 17. VIII. 1980; 29. VIII. 1981<sup>14)</sup>

岡山市稻荷山, 10. VIII. 1968<sup>38)</sup>

岡山市西大寺水源地, 22. VIII. 1966<sup>9)</sup>

普通種という先入観からか、記録そのものも多くはないが、一応県下全域から確認されている。筆者の印象では、個体数は多くないようである。

28. *Ellida branickii* (OBERHUTH)

クロテンシャチホコ<sup>7)13)</sup>

川上村鬼女台, 1 ♂, 2. VII. 1988, O

川上村上蒜山, 1 ♂, 26. VI. 1976, 那須\*

上齋原村, 30. V. 1972; 9. VI. 1972<sup>20)</sup>

津山市黒沢山, 25. VI. 1960<sup>9)</sup>

新見市水無山, 16. VI. 1979<sup>21)</sup>

高梁市広瀬駅, 1 ♀, 26. VII. 1992, O

加茂川町高富, 1 ♂, 21. VI. 1990, W

吉備高原以北で点々と確認されている程度で、県下での記録は多くない。杉（1982）には♀の特徴が記されていないが、1個体のみ検した♀触角は、片方の根元5 mm程度が残っているだけだが、ほぼ糸状に近い。♂は両歯状。

29. *E. viridimixta* (BREMER) シロテンシャチホコ<sup>7)13)</sup>

川上村鬼女台, 1 ♀, 10. VIII. 1991, W

川上村高張山, 1 ♂, 4. VIII. 1984, N

中和村山乘山, 1 ♀, 10. VIII. 1985, N; 1 ♀, 11. VIII. 1987, W; 1 ♂ 1 ♀, 9. VIII. 1988, W

新庄村毛無山, 9. VIII. 1980<sup>31)</sup>

新庄村田浪, 1 ♀, 3. VIII. 1985, N

奥津町県立森林公園<sup>32)</sup>

上齋原村, 28. VIII. 1970; 8. VI. 1972<sup>24)</sup>

加茂町倉見根知, 2 ♂ 1 ♀, 6. VII. 1991, W

加茂町青柳, 1 ♀, 11. VIII. 1990, W

新見市水無山, 14. VIII. 1979<sup>21)</sup>

西粟倉村若杉, 1 ♂ 1 ♀, 6. VIII. 1993, W; 1 ♀, 9. VIII. 1994, W

ほぼ県北の山地部に限って記録がある。発生地での個体数は少くない。前種同様、杉（1982）には♀の特徴が記されていないが、♂♀は触角（♂♀とも両歯状、♀は枝がやや短い）及び腹端の形状によった。

30. *Nerice bipartita* BUTLER ナカスジシャチホコ<sup>7)13)30)</sup>

川上村鬼女台, 1 ♂, 10. VIII. 1991, W

上齋原村, 25. VIII. 1959; 26. VIII. 1971<sup>24)</sup>

大佐町布瀬, 30. VIII. 1961<sup>25)</sup>

新見市水無山, 14. VIII. 1979<sup>21)</sup>

加茂川町高富, 1 ♂, 18. VIII. 1990, W

建部町田地子, 1 ♂, 17. VIII. 1991, W

芳井町石草, 1 ♂, 19. VII. 1985, N

吉備高原以北に産地が点在する。個体数は少ない。杉（1982）では、本州での分布は中部以北とされているが、県下では北部山地を中心に古くから報告がある。♂触角の特徴とされる先端まで両歯状で、枝の長さも同程度の個体ばかりなので、全て♂と同定した。

31. *Gangaridopsis citrina* (WILEMAN)

アカシャチホコ<sup>7)13)</sup>

川上村鬼女台, 3 ♂, 10. VIII. 1991, W

川上村蒜山有料道路<sup>13)</sup>

奥津町県立森林公園<sup>32)</sup>

上齋原村, 10. VI. 1971<sup>24)</sup>

上齋原村天王, 28. VI. 1975<sup>44)</sup>

加茂町倉見, 1 ♀, 22. VIII. 1985, N

神郷町新郷駅, 12. VI. 1975<sup>44)</sup>

西粟倉村ミソギ峰<sup>13)</sup>

県北の山地部（ほぼブナ帯に一致）に限って記録がある。中臣（1993）のpp.223-224には、高梁市臥牛山でミスジピロードスズメの幼虫を発見したときのエピソードが書かれているが、その項に「マンサクの変種アツマンサク（地名「阿哲」による）には、アカシャチホコの若齢が見られた。」とある。文脈からいふと高梁市臥牛山の記録のようであるが、必ずしも明確ではないし、杉（1982）の「ほぼブナーミズナラ帯に産出する」という記述との差が大きいと思われる。この記録の扱いは、当面保留しておく。なお、♂♀は触角（♂♀とも両歯状、♀は枝が短い。写真14が♂、写真15が♀）によった。

32. *Hupodonta corticalis* BUTLERカバイロモクメシャチホコ<sup>7)(13)</sup>

- 川上村鬼女台, 3♂, 10. VII. 1991, W  
 上齋原村, 22. VII. 1970; 29. VII. 1970; 14. VII.  
 1972<sup>24)</sup>  
 鏡野町越畠, 1♀, 14. VII. 1985, N  
 津山市内<sup>8)</sup>  
 新見市石蟹, 1♀, 8. VII. 1965, 横本<sup>9)</sup>  
 高梁市木野山駅, 1♂, 30. VI. 1987, O  
 佐伯町宇生, 2♂, 29. VII. 1992, W  
 総社市種井, 1♂, 5. VII. 1987, O  
 吉備高原以北に記録があるが、あまり多いものではないようである。♂♀は触角（♂は両櫛歯状、♀は糸状）によった。

33. *H. tignea* MATSUMUTA スジモクメシャチホコ

- 西粟倉村若杉, 3♂, 6. VII. 1993, W (写真1)  
 恐らく岡山県初記録と思われる。深夜2時頃灯火に飛来した。♂♀触角は前種と同様。

34. *Neopheosia fasciata* (MOORE)ヘルスジシャチホコ<sup>7)(13)</sup>

- 川上村皆ヶ山, 2♂, 24. VII. 1988, O  
 川上村高張山, 1♂, 4. VIII. 1984, N  
 中和村山乘山, 1♀, 11. VII. 1984, N; 1♀, 11.  
 VII. 1987, W  
 新庄村毛無山, 9. VII. 1980<sup>31)</sup>  
 奥津町, 28. VII. 1966<sup>18)</sup>  
 上齋原村, 29. VII. 1970; 22. VII. 1971<sup>24)</sup>  
 加茂町倉見根知, 1♂, 6. VII. 1991, W  
 旭町里, 19. VI. 1990, W; 1♀, 28. VII. 1990,  
 W  
 新見市農永字山先村, 1♂, 2. VII. 1987, N  
 西粟倉村, 20. VII. 1982<sup>27)</sup>  
 賀陽町大岩, 1♂, 27. VII. 1991, W  
 建部町田地子, 1♂, 17. VII. 1991, W  
 佐伯町宇生, 1♂, 29. VII. 1992, W  
 佐伯町田賀<sup>6)</sup>  
 総社市日羽, 1♂, 4. VII. 1989, O  
 倉敷市玉島弥高山, 1. VII. 1981<sup>40)</sup>

県北から県南にかけて広く確認されているが、全県分布と言えるほどの密度ではない。西粟倉村の記録は、中臣(1993)が成虫写真で記録したものである。♂♀は触角（♂は両櫛歯状、♀は糸状）によった。

35. *Zaranga permagna* (BUTLER) アオバシャチホコ<sup>7)(13)</sup>

- 川上村皆ヶ山, 1♂, 24. VII. 1988, O; 1♂, 18.  
 VII. 1995, O  
 中和村山乘山, 1♂, 11. VII. 1984, N

湯原町湯原ダム, 24. IV. 1966<sup>18)</sup>奥津町県立森林公园<sup>32)</sup>上齋原村, 10. VI. 1971; 26. VII. 1971<sup>24)</sup>

加茂町倉見, 1♂, 22. VII. 1985, N

成羽町木之村, 1♀, 13. VII. 1991, W

高梁市臥牛山, 4. V. 1989<sup>43)</sup>加茂川町宇甘溪, 11. V. 1980<sup>31)</sup>

建部町田地子, 1♂, 17. VII. 1991, W

ここに掲げた記録からみると、県北の山地部に分布する群と吉備高原中部に分布する群の2群に大別されるようにも感じられる。今後の調査で空白地帯が埋まることを期待したい。♂♀は、大きさ、翅形及び♀後翅が暗色を帯びることによった。杉(1982)によれば触角（♂♀とも両櫛歯状、♀は枝がはるかに短い）での区別もできそうだが、筆者には明確な差異は認められなかった。

36. *Shaka atrovittatus* (BREMER)クビワシャチホコ<sup>7)(13)(30)</sup>

川上村上蒜山, 1♂, 26. VI. 1976, 那須\*

新庄村毛無山, 9. VII. 1980<sup>31)</sup>

勝山町荒田, 1♀, 5. VIII. 1989, W

上齋原村, 30. V. 1972<sup>24)</sup>

加茂町倉見根知, 1♂, 6. VII. 1991, W

加茂町青柳, 1♂, 11. VII. 1990, W

旭町里, 19. VI. 1990, W; 1♂, 28. VII. 1990,  
 W津山市黒沢山, 25. VI. 1960<sup>39)</sup>津山市内<sup>8)</sup>新見市草間, 7. VII. 1970<sup>20)</sup>

西粟倉村若杉, 1♂, 9. VII. 1994, W

成羽町木之村, 1♂, 29. VII. 1987, W

高梁市臥牛山, 4. VII. 1989<sup>43)</sup>

賀陽町大岩, 27. VII. 1991, W

加茂川町高富, 2♂, 18. VII. 1990, W

建部町田地子, 15. VI. 1991, W; 17. VII. 1991,  
 W佐伯町宇生, 1♂, 13. VI. 1992, W; 1♂, 29.  
 VII. 1992, W佐伯町田賀<sup>6)</sup>

芳井町石草, 1♀, 19. VII. 1985, N

岡山市真星長沢, 1♀, 26. VIII. 1987, W

瀬戸内低地帯を除き、県下に広く分布が確認されている。♂♀は触角（♂は弱い鋸歯状で毛束あり、♀は糸状）によった。

37. *Lophocosma sarantuja* SCHINTLMEISTER & KINOSHITAクロスジシャチホコ<sup>7)(13)</sup>

川上村鬼女台, 1♀, 17. VII. 1985, N; 1♀, 10. VIII. 1991, W  
 中和村山乗山, 1♀, 9. VII. 1988, W  
 上斎原村, 26. VII. 1970<sup>24)</sup>  
 新見市水無山, 24. VI. 1979; 14. VII. 1979<sup>21)</sup>  
 加茂川町高富, 21. VI. 1990, W  
 県下での記録は少なく、吉備高原北部以北で点々と確認されている。詳細な調査が望まれるもの一つであろう。触角が糸状なので、すべて♀と同定した。  
 38. *Rabtala cristata* (BUTLER) セダカシャチホコ<sup>7)(13)(30)</sup>  
 川上村上蒜山, 1♂, 26. VI. 1976, 那須<sup>\*</sup>  
 中和村山乗山, 1♂, 9. VII. 1988, W  
 勝山町荒田, 1♂, 5. VIII. 1989, N  
 奥津町県立森林公園<sup>32)</sup>  
 上斎原村, 24. VI. 1970<sup>24)</sup>  
 加茂町青柳, 11. VII. 1990, W  
 富村のとろ原, 1♂, 5. VII. 1985, N  
 旭町里, 19. VI. 1990, W; 28. VII. 1990, W  
 津山市黒沢山, 25. VI. 1960<sup>9)</sup>  
 津山市小田中<sup>8)</sup>  
 新見市水無山, 16. VI. 1979<sup>21)</sup>  
 新見市草間切畑, 20. VI. 1987<sup>12)</sup>  
 新見市草間切畑, 1♂, 22. VII. 1987, W  
 成羽町木之村, 1♂, 13. VII. 1991, W  
 賀陽町大岩, 27. VII. 1991, W  
 建部町田地子, 17. VIII. 1991, W  
 佐伯町宇生, 29. VII. 1992, W  
 佐伯町田賀<sup>6)</sup>  
 倉敷市浅原, 3. VI. 1975<sup>45)</sup>  
 倉敷市玉島弥高山, 1. VII. 1981<sup>40)</sup>  
 倉敷市蟻峰山, 25. VI. 1966<sup>46)</sup>  
 倉敷市児島宇野津, 8. VII. 1977; 13. VII. 1977<sup>50)</sup>  
 岡山市, 6. VII. 1959<sup>44)</sup>  
 岡山市真星長沢, 28. VII. 1987, W  
 岡山市稻荷山, 22. VIII. 1968<sup>38)</sup>  
 岡山市西大寺水源地, 13. VII. 1966<sup>33)</sup>  
 邑久町知尾, 25. VII. 1990, W  
 県下全域に広く分布。個体数も少なくない。♀(触角は糸状)は検していない。  
 39. *R. splendida* (OBERTHUR)  
     アオセダカシャチホコ<sup>7)(13)(30)</sup>

中和村山乗山, 1♀, 11. VII. 1987, W; 1♂, 9. VII. 1988, W  
 上斎原村, 22. VI. 1970; 1. VII. 1970<sup>24)</sup>  
 加茂町倉見根知, 6. VII. 1991, W  
 旭町里, 2♂, 28. VII. 1990, W

津山市黒沢山, 25. VI. 1960<sup>9)</sup>  
 津山市大谷<sup>8)</sup>  
 西粟倉村若杉, 1♂, 9. VII. 1994, W  
 成羽町木之村, 1♂, 13. VII. 1991, W  
 加茂川町高富, 21. VI. 1990, W; 1♂, 18. VII. 1990, W  
 建部町田地子, 17. VIII. 1991, W  
 佐伯町宇生, 29. VII. 1992, W  
 前種と比較すると、より高標高の地に分布が限られるよう、県下では吉備高原以北で確認されている。前種と同所的に産する所も多い。♂♀は触角(♂は両櫛歯状、♀は糸状)によった。  
 40. *Torigea plumosa* (LEECH) トリゲキシャチホコ<sup>7)(13)</sup>  
 川上村野土路<sup>23)</sup>  
 川上村皆ヶ山, 1♂, 14. VII. 1988, O  
 奥津町県立森林公園<sup>32)</sup>  
 加茂町倉見根知, 2♂ 1♀, 6. VII. 1991, W  
 西粟倉村若杉岬, 10. V. 1964<sup>23)</sup>  
 西粟倉村若杉, 1♂ 1♀, 6. VII. 1993, W  
 県北の山地部(ほぼブナ帯と一致)からの記録があるのみである。♂触角は顯著な羽毛状となるので分かりやすい。  
 41. *T. straminea* (MOORE) キシャチホコ<sup>7)(13)</sup>  
 津山市黒沢山, 22. VII. 1961<sup>22)</sup>  
 津山市大谷<sup>8)</sup>  
 大佐町布瀬, 1♂, 3. VII. 1960, 赤枝<sup>\*</sup>  
 高梁市木野山駅, 1♀, 20. VIII. 1987, O  
 佐伯町田賀<sup>6)</sup>  
 倉敷市連島宮ノ浦, 9. VI. 1977<sup>51)</sup>  
 岡山市稻荷山, 25. V. 1968; 10. VII. 1968<sup>38)</sup>  
 瀬戸内沿岸低地帯を含む県中部~南部の各地で確認されているが、記録密度はそれほど高くない。♂♀は触角(♂は両櫛歯状、♀は糸状)による。  
 42. *Mimopydna pallida* (BUTLER) ウスキシャチホコ<sup>7)(13)</sup>  
 川上村皆ヶ山, 1♂, 14. VII. 1988, O  
 新庄村毛無山, 9. VII. 1980<sup>31)</sup>  
 奥津町県立森林公園<sup>32)</sup>  
 加茂町青柳, 2♂, 11. VII. 1990, W  
 津山市黒沢山, 25. VI. 1960<sup>9)</sup>  
 津山市大谷<sup>8)</sup>  
 新見市方谷・井倉間, 9. V. 1964<sup>45)</sup>  
 高梁市木野山駅, 1♂, 26. VII. 1987, O  
 加茂川町高富, 2♂ 1♀, 18. VII. 1990, W  
 岡山市稻荷山, 25. V. 1968<sup>38)</sup>  
 瀬戸内沿岸低地帯を除く県下各地から記録があり、県下では、前種よりも広分布種と思われる。♂♀は触

角（♂は強い鋸歯状、♀は糸状）によったが、前種の♀と本種の♀（両種とも触角は糸状）は、主に翅形によって同定した。

43. *Notodonta albicosta* (MATSUMURA)

マエジロシャチホコ<sup>7)13)</sup>

- 川上村鬼女台, 1♂, 17. VII. 1985, N  
 中和村山乗山, 1♂, 10. VII. 1985, N; 1♂, 19. VII. 1986, N; 3♂, 9. VII. 1988, W; 1♂, 29. VI. 1991, W  
 新庄村毛無山, 9. VII. 1980<sup>31)</sup>  
 上斎原村, 22. VII. 1970; 29. VII. 1970<sup>24)</sup>  
 加茂町, 17. VIII. 1966<sup>23)</sup>  
 加茂町倉見, 1♂, 22. VII. 1985, N  
 加茂町倉見根知, 1♂, 6. VII. 1991, W  
 西栗倉村若杉, 1♂, 6. VII. 1993, W  
 東栗倉村後山, 30. VII. 1962<sup>24)</sup>  
 県北の山地部（ほぼブナ帯に一致）に限って分布が知られ、発生地での個体数は少なくない。♀（触角は糸状）は検していない。

44. *Peridea lativitta* (WILEMAN) アカネシャチホコ<sup>7)13)</sup>

- 川上村鬼女台, 1♂, 17. VII. 1985, N; 1♂ 1♀, 10. VII. 1991, W  
 川上村皆ヶ山, 1♂, 14. VII. 1988, O  
 中和村山乗山, 1♂, 1. IX. 1984, N; 1♂, 9. VII. 1988, W  
 上斎原村, 2. VI. 1972<sup>24)</sup>  
 新見市河本ダム, 5. IX. 1964<sup>16)</sup>

成羽町木之村, 1♂, 29. VII. 1987, W  
 確認記録が少ないのでではっきりとは言えないだろうが、主としてミズナラを食樹とする本種は、本来県北山地を分布の中心としつつも、比較的高標高の吉備高原西部地域では、かなり南まで分布を広げているようである。こうした例は、蝶のメスアカミドリシジミ等でも知られている。なお、本種を含む *Peridea* 属の♂♀は、全て触角（♂は強い鋸歯状で毛束あり、♀は糸状）によって区別した。（本種の例：写真16が♂、写真17が♀）

45. *P. gigantea* BUTLER ナカキシャチホコ<sup>7)13)30)</sup>

- 川上村上蒜山, 2♂, 26. VI. 1976, 那須<sup>\*</sup>  
 中和村山乗山, 1♂, 10. VII. 1985, N; 1♀, 9. VII. 1988, W  
 新庄村毛無山, 9. VII. 1980<sup>31)</sup>  
 勝山町荒田, 3♂, 5. VII. 1989, W  
 落合町関, 2♂, 18. VII. 1987, W  
 上斎原村, 10. VI. 1971<sup>24)</sup>  
 加茂町倉見根知, 2♂, 6. VII. 1991, W

加茂町青柳, 1♂, 11. VII. 1990, W  
 勝央町植月中, 1♂, 21. VII. 1990, W  
 旭町里, 19. VI. 1990, W; 1♂, 28. VII. 1990, W

津市内<sup>8)</sup>

新見市水無山, 24. VII. 1979<sup>21)</sup>  
 新見市正田, 1♂ 1♀, 16. VII. 1965, 横本<sup>#</sup>

新見市河本ダム, 5. IX. 1964<sup>16)※</sup>

新見市草間切畑, 20. VI. 1987<sup>12)</sup>

西栗倉村若杉, 1♂, 6. VII. 1993, W

賀陽町大岩, 1♂, 5. IX. 1992, W

加茂川町高富, 2♂, 18. VIII. 1990, W

建部町田地子, 1♂, 17. VII. 1991, W

吉井町光木, 29. VII. 1992, W

佐伯町宇生, 1♂, 29. VII. 1992, W

佐伯町田賀<sup>6)</sup>

芳井町石草, 1♂, 19. VII. 1985, N

芳井町日南, 24. VI. 1979; 26. VII. 1979<sup>21)</sup>

倉敷市玉島弥高山, 1. VII. 1981<sup>41)</sup>

岡山市真星長沢, 2♂, 28. VII. 1987, W; 1♂, 26. VIII. 1987, W

瀬戸内沿岸低地帯の記録としては倉敷市玉島弥高山の記録が唯一のものであるが、県下全域に広く分布するものと思われる。なお、新見市河本ダムの記録の扱いについては、No.64のタカムクシャチホコの項を参照のこと。

46. *P. aberthueri* (STAUDINGER)

ルリモンシャチホコ<sup>7)13)30)</sup>

- 川上村鬼女台, 1♂, 17. VII. 1985, N; 2♂ 1♀, 10. VII. 1991, W  
 八束東村塩釜, 17. VII. 1971<sup>10)</sup>  
 新庄村毛無山, 9. VII. 1980<sup>31)</sup>  
 加茂町倉見根知, 1♂, 6. VII. 1991, W  
 勝央町植月中, 1♂, 21. VII. 1990, W  
 津市黒沢山, 25. VI. 1960<sup>9)</sup>  
 津市内<sup>8)</sup>  
 高梁市臥牛山, 27. VII. 1975<sup>43)</sup>  
 建部町田地子, 1♂, 17. VII. 1991, W  
 佐伯町田賀<sup>6)</sup>  
 総社市下三輪, 1♀, 27. VII. 1971, W  
 倉敷市浅原, 23. VI. 1975; 31. VI. 1975<sup>45)</sup>  
 倉敷市古水江, 21. VII. 1981<sup>42)</sup>  
 倉敷市玉島弥高山, 1. VII. 1981; 29. VII. 1981<sup>41)</sup>  
 倉敷市蟻蜂山, 25. VI. 1970<sup>46)</sup>  
 倉敷市児島宇野津, 21. V. 1977; 8. VII. 1977; 1. VIII. 1977<sup>50)</sup>

倉敷市児島赤崎, 13. V. 1978; 21. VII. 1978; 8. IX. 1978<sup>39)</sup>  
 岡山市稻荷山, 21. VI. 1968; 22. VII. 1968; 10. VIII. 1968; 22. VIII. 1968<sup>38)</sup>  
 邑久町知尾, 1♀, 25. VIII. 1990, W  
 前種同様県下全域に分布するものと考えられる。

47. *P. elzet* KIRIAKOFF シノノメシャチホコ<sup>71(3)</sup>  
 總社市下三輪, 7. IX. 1970<sup>51)</sup>  
 總社市上林, 1♂, 3. IX. 1975, N  
 邑久町知尾, 1♂, 25. VIII. 1990, W  
 県下では珍しいものの一つであろう。片山 (1959) の津山市内という記録は、報告者自らが「種を異にするかも知れぬ。」と記しており、今回の報告では採用しないこととした。

48. *P. rotundata* (MATSUMURA) マルモンシャチホコ<sup>71(3)</sup>  
 川上村鬼女台, 2♂, 10. VIII. 1991, W  
 中和村山乗山, 2♂, 10. VIII. 1985, N; 1♂ 1♀, 11. VII. 1987, W; 1♂ 2♀, 9. VII. 1988, W; 1♂, 10. VIII. 1988, O  
 奥津町県立森林公園<sup>38)</sup>  
 上斎原村, 27. VIII. 1970<sup>24)</sup>  
 加茂町倉見根知, 3♂, 6. VII. 1991, W  
 西粟倉村若杉, 2♂, 6. VIII. 1993, W; 1♂, 9. VII. 1994, W  
 食樹がブナ・イヌブナに限定されるため、県北山地のブナ帯に限って確認されている。発生地での個体数は少くない。

49. *P. graeseri* (STAUDINGER) イシダシャチホコ<sup>71(3)</sup>  
 上斎原村, 27. VIII. 1970<sup>24)</sup>  
 久米南町坂元仏教寺, 23. IX. 1979<sup>31)</sup>  
 新見市正田, 16. VIII. 1965<sup>18)</sup>  
 新見市豊永宇山先村, 1♂, 29. VIII. 1986, N  
 備中町黒鳥ダム, 4♂, 6. IX. 1987, O  
 備中町新成羽川ダム, 1♂, 14. IX. 1975, N  
 成羽町木之村, 2♂, 29. VIII. 1987, W  
 吉備高原を中心に県北山地部の1例を含め、点々と記録されているが、確認地点は多くない。

50. *P. aliena* (STAUDINGER) ニトベシャチホコ<sup>71(3)</sup>  
 勝山町荒田, 1♂, 5. VIII. 1989, W  
 鏡野町越畠, 1♂, 14. VII. 1985, N  
 勝央町植月中, 1♂, 21. VII. 1990, W  
 旭町里, 19. VI. 1990, W; 2♂, 28. VII. 1990, W  
 加茂川町高富, 21. VI. 1990, W; 5♂, 18. VIII. 1990, W  
 建部町田地子, 1♂, 17. VIII. 1991, W

佐伯町宇生, 29. VII. 1992, W  
 芳井町日南, 26. VII. 1979<sup>31)</sup>  
 總社市日羽, 1♂, 4. VIII. 1987, O  
 吉備高原を中心とする県中部に記録が集中しているが、県北部でもわずかながら得られている。

51. *Fusadonta basilinea* (WILEMAN)  
 ネスジシャチホコ<sup>71(3)</sup>  
 勝山町荒田, 3♂, 5. VIII. 1989, W  
 加茂町青柳, 2♂, 11. VIII. 1990, W  
 旭町里, 19. VI. 1990, W  
 大佐町布瀬, 20. VI. 1960; 3. VIII. 1960<sup>16)</sup>  
 新見市水無山, 24. VI. 1979; 8. VII. 1979; 14. VII. 1979<sup>21)</sup>  
 新見市豊永宇山先村, 1♀, 2. VIII. 1987, N  
 新見市草間切畑, 20. VI. 1987<sup>12)</sup>  
 成羽町木之村, 1♂, 29. VIII. 1987, W  
 高梁市木野山駅, 1♂, 4. VI. 1987, O; 1♂, 16. VI. 1987, O; 1♂, 28. VI. 1987, O  
 佐伯町田賀<sup>41)</sup>  
 芳井町石草, 2♂, 19. VII. 1985, N  
 芳井町日南, 24. VI. 1979<sup>31)</sup>  
 總社市種井, 1♀, 13. VI. 1987, O  
 總社市日羽, 1♂, 4. VI. 1987, O  
 倉敷市児島宇野津, 17. VI. 1977<sup>50)</sup>  
 岡山市稻荷山, 10. VIII. 1968<sup>38)</sup>  
 岡山市神道山, 1♀, 1. VIII. 1975, 宇野<sup>\*</sup>  
 暖温带落葉樹林の蛾とされ、基本的には瀬戸内沿岸低地帯を含む吉備高原以南が分布の中心と考えられるが、県北部からもわずかながら得られている。♂♀は触角（♂は両櫛歯状、♀は糸状）によった。

52. *Pheosiopsis cinerea* (BUTLER) スズキシャチホコ<sup>71(3)</sup>  
 川上村鬼女台, 1♂, 7. IX. 1985, N; 4♂, 10. VIII. 1991, W  
 川上村上蒜山, 1♂, 26. VI. 1976, 那須<sup>\*</sup>  
 新庄村毛無山, 9. VIII. 1980<sup>31)</sup>  
 上斎原村, 4. VIII. 1970; 10. VI. 1971; 21. VIII. 1971<sup>24)</sup>  
 加茂町倉見, 1♂, 22. VIII. 1985, N  
 加茂町倉見根知, 1♂, 6. VII. 1991, W  
 加茂町青柳, 1♂, 11. VIII. 1990, W  
 阿波池黒岩高原, 1♂, 22. IX. 1984, N  
 旭町里, 1♂, 28. VII. 1990, W  
 津山市内<sup>42)</sup>  
 大佐町大佐山, 1♂, 14. IX. 1985, N  
 新見市正田, 1♂, 29. VIII. 1965, 模本<sup>\*</sup>  
 備中町黒鳥ダム, 1♂, 19. VIII. 1988, O

成羽町木之村, 1♂, 29. VIII. 1987, W; 1♂, 22. IX. 1990, W  
 高梁市臥牛山, 4. IX. 1989; 25. VIII. 1990<sup>43)</sup>  
 賀陽町大岩, 1♂, 5. IX. 1992, W  
 加茂川町高富, 2♂, 18. VIII. 1990, W  
 加茂川町宇甘溪, 31. VIII. 1980<sup>31)</sup>  
 芳井町日南, 13. IX. 1979<sup>31)</sup>  
 総社市日羽, 2♂, 31. VIII. 1987, O  
 県東部での記録はないが、吉備高原以北に広く分布するものと思われる。本種と次種の同定は、♂については触角（本種は歯牙状、写真18；次種は強い鋸歯状、写真19）による。♀については、触角は両種とも糸状で前翅斑紋にも明確な差異がなく、同定が完了していないので、今回は報告を見送った。

53. *P. olivacea* (MATSUMURA) ウグイスシャチホコ<sup>7)(13)</sup>  
 奥津町県立森林公園<sup>32)</sup>  
 加茂町倉見根知, 8♂, 6. VI. 1991, W  
 西粟倉村若杉, 2♂, 6. VII. 1993, W  
 ブナ・イヌブナに食樹が限定されるため、県北山地のブナ帯に限って確認されているが、記録地点は少ない。前種と同所的に得られているのは、加茂町倉見根知の一か所だけである。種の同定及び♂♀については、前種の項を参照のこと。  
 54. *Drymonia dodonides* (STAUDINGER)  
 トビモンシャチホコ<sup>7)(13)</sup>

奥津町県立森林公園<sup>32)</sup>  
 西粟倉村若杉峠, 10. V. 1964<sup>23)</sup>  
 西粟倉村若杉, 5♂, 20. VI. 1993, W  
 岡山県での記録は少なく、上記2か所で確認されているにすぎないが、ミズナラを食樹としているため、より広範な分布が予想される。出現期が5～6月と比較的早いので、その点に注意した調査を行えば、記録の蓄積も容易であろう。次種とは、斑紋及び前翅地色が灰色で銅色を帯びないことで区別した。♂♀は触角（♂は両櫛歯状、♀は糸状）によったが、♀は検していない。

55. *D. japonica* (WILEMAN) コトビモンシャチホコ<sup>7)(13)</sup>  
 川上村上蒜山, 1♂, 26. VI. 1976, 那須\*  
 八束村塩釜, 27. VII. 1972<sup>10)</sup>  
 八束村上長田宇田, 17. VII. 1969; 18. VIII. 1969<sup>10)</sup>  
 中和村山乘山, 1♂, 9. VII. 1988, W  
 新庄村毛無山, 9. VIII. 1980<sup>31)</sup>  
 勝山町荒田, 5. VIII. 1989, W  
 落合町関, 1♂, 18. VII. 1987, W  
 奥津町県立森林公園<sup>32)</sup>  
 上齋原村, 25. VII. 1959; 8. VII. 1970; 31. V.

1971; 24. VI. 1971<sup>24)</sup>  
 加茂町倉見根知, 6. VII. 1991, W  
 加茂町青柳, 2♂, 11. VIII. 1990, W  
 富村のとろ原, 1♂ 1♀, 5. VII. 1985, N  
 鏡野町越畠, 1♀, 14. VII. 1985, N  
 勝央町植月中, 1♂, 21. VII. 1990, W  
 旭町里, 19. VI. 1990, W; 1♂, 28. VII. 1990, W  
 大佐町大佐山, 29. VI. 1985<sup>11)</sup>  
 新見市水無山, 16. VI. 1979; 24. VI. 1979; 8. VII. 1979; 14. VII. 1979; 21. VII. 1979<sup>21)</sup>  
 新見市草間, 1♂, 7. VIII. 1964, 模本\*  
 高梁市臥牛山, 26. VI. 1975; 31. VIII. 1975; 12. VI. 1976; 20. VI. 1976; 14. VI. 1988; 19. VIII. 1988; 17. IX. 1988; 26. VI. 1989; 4. VIII. 1989; 4. IX. 1989; 25. VIII. 1990<sup>43)</sup>  
 賀陽町大岩, 27. VIII. 1991, W  
 加茂川町高富, 21. VI. 1990, W; 1♂, 18. VIII. 1990, W  
 加茂川町宇甘溪, 31. VIII. 1980<sup>31)</sup>  
 建部町田地子, 1♂, 15. VI. 1991, W; 17. VIII. 1991, W  
 吉井町光木, 29. VIII. 1992, W  
 佐伯町宇生, 29. VIII. 1992, W  
 佐伯町田賀<sup>6)</sup>  
 吉備高原以北に広く分布する。♂♀は触角が前種とほぼ同様なので、それによった。

56. *D. basalis* WILEMAN & SOUTH  
 ノヒラトビモンシャチホコ<sup>7)(13)</sup>  
 佐伯町田賀<sup>6)</sup>  
 総社市種井, 4♂, 18. IV. 1987, O  
 倉敷市栄町, 16. IV. 1964<sup>16)</sup>  
 岡山市稻荷山, 17. IV. 1968<sup>38)</sup>  
 県南部で点々と記録されている。発生が4～5月の早春に限られるため、調査不足というものが現状であろう。より広い分布が予想される。種の同定は、主に個体の大きさと前翅内横線基部の顕著な暗色による。♂♀は触角（♂♀とも両櫛歯状、♀は枝が極めて短い）によったが、♀は検していない。

57. *Leucodonta bicoloria* (LINNAEUS)  
 モンキシロシャチホコ<sup>7)(13)</sup>  
 奥津町県立森林公園<sup>32)</sup>  
 上齋原村赤と瀬<sup>13)</sup>  
 加茂町倉見, 6. VI. 1986, W  
 西粟倉村若杉, 1♂ 1♀, 20. VI. 1993, W  
 東粟倉村後山<sup>6)</sup>

県北の山地部（ほぼブナ帯と一致）に限って記録されている。県下では少ないものの一つである。♂♀は触角（♂は両櫛歯状、♀は糸状）によった。

58. *Semidonta biloba* (OBERTUR) カエデシャチホコ<sup>7)13)</sup>

川上村鬼女台, 1 ♂, 10. VII. 1991, W

中和村山乗山, 1 ♂, 9. VII. 1988, N

上齋原村宮ヶ谷, 1 ♂, 30. VI. 1988, O

加茂町倉見根知, 2 ♂, 6. VII. 1991, W

加茂町青柳, 1 ♂, 11. VII. 1990, W

旭町里, 2 ♂, 28. VII. 1990, W

津山市小田中<sup>8)</sup>

新見市水無山, 16. VI. 1979<sup>21)</sup>

吉備高原の北部以北から記録されている。筆者は、♀（触角は糸状）は検しておらず、前翅が暗化した個体も検していない。

59. *Microphalera grisea* BUTLER

ハイイロシャチホコ<sup>7)13)</sup>

川上村上蒜山, 1 ♂, 26. VI. 1976, 那須\*

中和村山乗山, 1 ♂, 16. VII. 1986, N

上齋原村, 26. VII. 1971<sup>24)</sup>

加茂町倉見, 1 ♀, 22. VII. 1985, N

西粟倉村若杉, 2 ♂, 6. VII. 1993, W

県北の山地部（ほぼブナ帯に一致）に限って記録されている。県下では多くない。♂♀は触角（♂♀とも両櫛歯状、♀は枝が短い）によった。

60. *Epodonta lineata* (OBERTHUR) ヤスジシャチホコ<sup>7)13)</sup>

八束村塙釜, 13. VII. 1971<sup>10)</sup>

中和村山乗山, 1 ♀, 11. VII. 1987, W; 1 ♂, 9. VII. 1988, W; 1 ♂ 1 ♀, 10. VII. 1988, O

上齋原村, 8. VII. 1970<sup>24)</sup>

加茂町倉見, 1 ♂, 22. VII. 1985, N

加茂町倉見根知, 2 ♂, 6. VII. 1991, W

津山市内<sup>8)</sup>

新見市水無山, 24. VIII. 1979<sup>21)</sup>

新見市農永宇山先村, 1 ♂, 2. VIII. 1987, N

西粟倉村若杉, 1 ♂, 9. VII. 1994, W

成羽町木之村, 1 ♂, 13. VII. 1991, W

高梁市臥牛山, 19. VIII. 1988<sup>13)</sup>

高梁市広瀬駅, 1 ♀, 9. VII. 1988, O

賀陽町大岩, 5. IX. 1992, W

加茂川町宇甘沢, 31. VIII. 1980<sup>31)</sup>

建部町旭川ダム, 1 ♀, 26. VIII. 1975, 宇野\*

建部町田地子, 1 ♂, 17. VII. 1991, W

芳井町石草, 1 ♀, 19. VII. 1985, N

岡山市真星長沢, 1 ♀, 26. VIII. 1987, W

岡山市日応寺, 8. IX. 1984<sup>29)</sup>

吉備高原以北に広く分布するが、特に吉備高原の中西部以西に密度が高い。♂♀は腹端の形状によった。杉(1982)によれば、触角での区別（♂♀とも両櫛歯状、♀は枝が短い）も可能なようだが、筆者には明確な差異がないように思われる。

61. *Phalerodonta manleyi* (LÉECH)

オオトビモンシャチホコ<sup>7)13)</sup>

上齋原村, 12. X. 1970; 17. X. 1972<sup>24)</sup>

津山市内<sup>8)</sup>

高梁市玉川町玉, 1 ♀, 29. X. 1962, 植本\*

総社市上林, 1 ♀, 15. XI. 1975, N; 1 ♂, 11. XI. 1983, N

倉敷市浅原, 5. XII. 1974; 8. XII. 1974<sup>45)</sup>

倉敷市中島, 1 ♂, 10. XII. 1986, O; 2 ♂, 22. XII. 1986, O; 1 ♂, 9. XII. 1987, O

倉敷市玉島, 1 ♂, 18. X. 1963, 植本\*

岡山市稻荷山, 11. XII. 1967<sup>38)</sup>

県南西部を主体に、県北部でも若干の記録がある。出現期が晚秋の10~11月と遅いため、十分な調査ができていないものと思われる。記録の集積により、より広い分布が明らかになると期待したい。♂♀は触角（♂は弱い鋸歯状、♀は糸状）によった。

62. *Hiradonta takaonis* (MATSUMURA)

タカオシャチホコ<sup>7)13)</sup>

奥津町立森林公園<sup>32)</sup>

勝央町植月中, 2 ♂, 21. VII. 1990, W

旭町里, 1 ♂, 28. VII. 1990, W

新見市石蟹, 31. VII. 1965<sup>18)</sup>

新見市正田, 16. VIII. 1965<sup>18)</sup>

備中町長屋, 1 ♂, 25. VII. 1985, N

成羽町木之村, 1 ♂, 29. VII. 1987, W

高梁市木野山駅, 1 ♂, 5. VII. 1987, O

加茂川町高富, 1 ♂, 18. VIII. 1990, W

建部町旭川ダム, 1 ♂, 14. VIII. 1975, 宇野\*

芳井町石草, 1 ♂, 19. VII. 1985, N

芳井町日南, 24. VI. 1979<sup>31)</sup>

総社市日羽, 1 ♂, 20. VII. 1987, O; 2 ♂, 4. VIII. 1987, O

吉備高原を中心に県北部からも少ないながら記録されている。吉備高原では西半分に確認地点が多い。♂♀は触角（♂は鋸歯状、♀は糸状）によったが、♀は検していない。

63. *Hexafrenum leucodera* (STAUDINGER)

ツマジロシャチホコ<sup>7)13)30)</sup>

川上村鬼女台, 1 ♀, 2. VII. 1988, O

川上村皆ヶ山, 1 ♀, 18. VIII. 1995, O

- 新庄村毛無山, 9. VIII. 1980<sup>31)</sup>  
 上齋原村, 28. VIII. 1970; 12. VI. 1971<sup>24)</sup>  
 加茂町倉見根知, 2♂, 6. VII. 1991, W  
 富村のとろ原, 1♂, 5. VII. 1985, N  
 勝央町植月中, 1♂, 21. VII. 1990, W  
 旭町里, 1♂, 28. VII. 1990, W  
 津山市小田中<sup>30)</sup>  
 津山市黒沢山, 25. VI. 1960<sup>9)</sup>  
 新見市水無山, 16. VI. 1979<sup>21)</sup>  
 西粟倉村若杉, 1♂, 6. VIII. 1993, W  
 高梁市木野山駅, 2♀, 31. VIII. 1987, O  
 高梁市臥牛山, 31. VIII. 1975<sup>43)</sup>  
 賀陽町大岩, 2♂, 5. IX. 1992, W  
 加茂川町高富, 21. VI. 1990, W; 2♂, 18. VIII.  
 1990, W  
 建部町田地子, 1♂, 17. VIII. 1991, W  
 佐伯町宇生, 3. X. 1992, W  
 佐伯町田賀<sup>6)</sup>  
 吉永町滝谷, 14. IX. 1980<sup>31)</sup>  
 総社市豪渓, 1♂, 16. VI. 1987, O  
 邑久町知尾, 2♂, 25. VIII. 1990, W  
 主として吉備高原以北から記録されている。瀬戸内沿岸低地帯からの記録は、邑久町知尾からの1例のみである。♂♀は触角（♂は両歯状、♀は糸状）によった。
64. *Takadonta takamukui* MATSUMURA  
 タカムクシャチホコ<sup>7)13)</sup>  
 中和村山乗山, 1♂, 10. VIII. 1985, N (写真2)  
 加茂町倉見, 1♂, 22. VIII. 1985, N  
 食樹がブナ・イヌブナに限定されるため、県北山地のブナ帯に限って確認されているが、記録地点は非常に少ない。楨本(1966)による新見市河本ダムの本種の記録については、ブナ帯からやや離れているため疑問に思っていたが、倉敷昆虫館に本種のラベルのついた同一データの標本が所蔵されていたので検したところ、ナカキシャチホコの誤同定だったので、筆者の責任で訂正しておく。♀(触角は糸状)は検していないが、♂の触角は歯牙状で毛束がある。
65. *Epinotodonta fumosa* MATSUMURA  
 ウスグロシャチホコ<sup>7)13)</sup>

倉敷昆虫館(1978)によって初めて記録されたものと思われるが、具体的なデータは示されていない。伊藤・楨本(1990)も本種を採用しているが、こちらも具体的なデータはない。杉(1982)によると、本種の本州での分布は、中部以北の比較的高地とされているので、具体的データと写真の公表によって確実な記録

- とすることが望まれる。
66. *Hagapteryx admirabilis* (STAUDINGER)  
 ハガタエグリシャチホコ<sup>7)13)</sup>  
 川上村鬼女台, 5♂, 10. VIII. 1991, W  
 中和村山乗山, 3♂, 10. VIII. 1985, N; 1♂, 16. VIII. 1986, N  
 新庄村毛無山, 9. VIII. 1980<sup>31)</sup>  
 西粟倉村若杉, 1♂, 6. VIII. 1993, W  
 高梁市臥牛山, 4. IX. 1989<sup>43)</sup>  
 加茂川町高富, 1♂, 18. VIII. 1990, W  
 芳井町日南, 13. IX. 1979<sup>31)</sup>  
 文献記録については次種と混同されている可能性を否定できないが、当面本種として扱っておく。本種と次種の同定は、♂については触角(本種は両歯状、次種は鋸歯状)によったが、次種は検しておらず、また、♀(触角は両種とも糸状)については、両種とも検していない。吉備高原の中央部以西と県北の山地部から記録されている。
67. *H. mirabilior* (OBERTHUR)  
 ゲンカイハガタシャチホコ<sup>7)</sup>  
 伊藤・楨本(1990)によって初めて記録されたものと思われるが、具体的なデータは示されていない。
68. *Ptilodon kuwayamiae* (MATSUMURA)  
 クワヤマエグリシャチホコ<sup>7)13)</sup>  
 川上村上蒜山, 1♀, 26. VI. 1976, 那須\* (写真3)  
 倉敷昆虫館(1978)によって初めて記録されたものと思われるが、その際の基礎となった記録が倉敷昆虫館所蔵標本の中にあった上記の記録であろう。杉(1982)によれば、本種の本州での分布は、中部地方の高原とされているので、貴重な記録と思われる。本種を含む*Ptilodon*属の♂♀は、触角(♂は鋸歯状、♀は葉片状)によって区別した。
69. *P. jezoensis* (MATSUMURA)  
 エゾエグリシャチホコ<sup>7)13)</sup>  
 川上村鬼女台, 1♀, 15. IX. 1984, N; 1♀, 10. VIII. 1991, W  
 上齋原村, 24. VI. 1970<sup>34)</sup>  
 加茂町倉見, 1♀, 22. VIII. 1985, N  
 西粟倉村若杉, 1♀, 9. VIII. 1994, W  
 県北の山地部(ほぼブナ帯と一致)に限って点々と記録されている。杉(1982)によれば、本種の本州での記録は中部山地とされているが、県下では比較的古くから記録されている。次種とは、後胸部の冠毛の内面の毛が淡黄色を呈し、白色を帯びないこと及び個体の大きさによって区別した。♂は検していない。

70. *P. robusta* (MATSUMURA) エグリシャチホコ<sup>7)13)</sup>  
倉敷昆虫館 (1978) によって初めて記録され、伊藤・槙本 (1990) も本種を採用しているが、具体的なデータは明らかでない。杉 (1982) によれば、前種より広い分布域を持つようだが、筆者は現物を検していない。
71. *P. okanoi* (INOUE) クロエグリシャチホコ<sup>7)13)</sup>  
中和村山乗山, 1♂, 16. VII. 1986, N  
奥津町県立森林公園<sup>32)</sup>  
県下での記録は少なく、県北山地（ほぼブナ帯と一致）から得られた上記 2 例のみ。次種とは、斑紋の不鮮明さ及び前翅後縁基部から中央部までが赤褐色を呈することにより区別した。♀は検していない。
72. *P. hoegei* (GRAESER) スジエグリシャチホコ<sup>7)13)</sup>  
上齋原村, 26. VIII. 1970<sup>34)</sup>  
鏡野町越畑, 1♂, 23. VII. 1985, N  
津山市黒沢山, 25. VI. 1960<sup>35)</sup>  
津山市黒沢山, 3. VI. 1961; 22. VII. 1961<sup>23)</sup>  
前種とはほぼ同様に、県北の山地部からわずかな記録がある。片山 (1960) の津山市黒沢山の記録は、和名はクロエグリ（前種）とされているが、学名が本種のものなので、本種として扱った。杉 (1982) によれば、本種を含む *Ptilodon* 属は日本を中心とした東北アジアの冷温帶林に多くの種を分化するとされており、国内分布をみても西日本では記録がないものや高地に限られるものばかりである。岡山県においても、本属の記録は、全体として北部山地の冷涼な地域に限られているようである。なお、本種の♀は検していない。
73. *Fusapteryx ladislai* (OBERTHUR)  
シロスジエグリシャチホコ<sup>7)13)</sup>  
川上村鬼女台, 1♂, 10. VIII. 1991, W  
加茂町倉見, 1♀, 22. VII. 1985, N  
奈義町滝山, 25. VI. 1961<sup>23)</sup>  
大佐町大佐山, 29. VI. 1985<sup>11)</sup>  
西粟倉村若杉, 1♀, 20. VI. 1993, W; 1♂, 6. VII. 1993, W; 1♀, 9. VII. 1994, W  
県北の山地部から点々と記録されている。発生地でも個体数はそれほど多くない。♂♀は触角（♂は両櫛歯状、♀は糸状）によった。
74. *Lophontosia cuculus* (STAUDINGER)  
ウスヅマシャチホコ<sup>7)</sup>  
高梁市臥牛山, 19. VIII. 1988; 25. VIII. 1990<sup>43)</sup>  
伊藤・槙本 (1990) も本種を採用しているが、発表年から類推すると、上記以外の記録を基礎にしているものと思われる。ハルニレが食樹とされる本種について、県北部からの記録が見当たらず、高梁市から記録
- されていることは、やや意外である。
75. *L. ptyeri* (BUTLER) ブライヤエグリシャチホコ<sup>7)13)</sup>  
川上村鬼女台, 1♀, 17. VIII. 1985, N  
上齋原村, 24. VI. 1970; 18. VI. 1971<sup>24)</sup>  
旭町里, 1♀, 28. VII. 1990, W  
津山市黒沢山, 22. VIII. 1961<sup>22)</sup>  
新見市水無山, 16. VI. 1979; 8. VII. 1979; 14. VII. 1979; 14. IX. 1979<sup>21)</sup>  
新見市豊永宇山先村, 1♂, 2. VIII. 1987, N  
新見市草間切畑, 1♀, 22. VII. 1987, W  
西粟倉村若杉, 2♂, 6. VIII. 1993, W  
備中町黒鳥ダム, 1♂, 6. IX. 1987, O  
芳井町日南, 24. VI. 1979; 26. VII. 1979<sup>21)</sup>  
原則として吉備高原北部より北に記録が多く、吉備高原西部ではやや南まで確認されている。杉 (1982) によっても前種との区別点がはっきりしないが、筆者は、♂については前翅表の地色が黒味を帯び、中央部の暗色帶の明瞭なものを、♀については♂と同程度のものを本種と同定した。ただし、前種の現物は検しておらず、比較して同定した訳ではない。♂♀は触角（♂は両櫛歯状、♀は糸状）によった。
76. *Ptilophora nohiraе* (MATSUMURA)  
タシヒゲシャチホコ<sup>7)</sup>  
奥津町県立森林公園<sup>32)</sup>  
高梁市臥牛山, 8. III. 1988<sup>43)</sup>  
飛び離れた上記 2 地点の記録があるのみ。次種とともに、晚秋最も遅く発生するため、調査が進んでいないものと思われる。
77. *P. jezoensis* (MATSUMURA)  
エゾクシヒゲシャチホコ<sup>7)</sup>  
奥津町県立森林公園<sup>32)</sup>  
前種と同時に採集され、当時の新聞紙上に写真入りで報道されたので、ご記憶の方も多いと思う。岡山県 (1983) には採集年月日が明示されていないので、この報告でも採集年月日は示さなかった。
78. *Togepteryx velutina* (OBERTHUR)  
タテスジシャチホコ<sup>7)13)</sup>  
中和村山乗山, 1♂, 16. VIII. 1986, N; 2♂, 9. VII. 1988, W  
奥津町大鈎, 1♂, 26. VI. 1988, O  
上齋原村, 26. VIII. 1970<sup>24)</sup>  
加茂町倉見根知, 1♂, 6. VII. 1991, W  
大佐町大佐山, 29. VI. 1985<sup>11)</sup>  
新見市水無山, 16. VI. 1979; 24. VI. 1979<sup>21)</sup>  
西粟倉村若杉, 1♂, 20. VI. 1993, W; 1♂, 9. VII. 1994, W

佐伯町田賀<sup>6)</sup>

県北の山地部にはほとんどの記録が集中している。そうした中で、佐伯町田賀の記録は、吉備高原東部の比較的低標高地であり、分布記録上興味深い。<♂♀は触角（♂は両櫛歯状、♀は鋸歯状に近い）によるが、♀は検していない。

79. *Spatialia jesoensis* WILEMAN & SOUTHエゾギンモンシャチホコ<sup>7)13)</sup>

川上村鬼女台, 1 ♂, 2. VII. 1988, O ; 1 ♂, 10. VIII. 1991, W  
中和村山乗山, 1 ♂, 10. VII. 1985, N ; 1 ♂ 1 ♀, 11. VII. 1987, W ; 1 ♂, 9. VII. 1988, W  
新庄村毛無山, 9. VII. 1980<sup>31)</sup>

奥津町県立森林公園<sup>32)</sup>

上齋原村, 26. VII. 1970 ; 26. VI. 1971<sup>24)</sup>  
加茂町倉見, 1 ♀, 22. VII. 1985, N  
加茂町倉見根知, 2 ♂, 6. VII. 1991, W  
ブナ・イヌブナを食樹とするため、県北山地のブナ帯に限って記録がある。片山(1959)の津山市内の記録は、ブナ帯から遠く離れた津山盆地の中心地であり、飛来した可能性は否定できないが、この報告では採用しない。♂♀は触角（♂は両櫛歯状、♀は糸状）によった。

80. *S. doerriesi* GRAESERウスイロギンモンシャチホコ<sup>7)13)</sup>

中和村山乗山, 2 ♂, 11. VII. 1987, W ; 1 ♀, 9. VII. 1988, W  
勝山町荒田, 1 ♂, 5. VII. 1989, W  
落合町閑, 1 ♂, 18. VII. 1987, W  
奥津町県立森林公園<sup>32)</sup>  
上齋原村, 25. VII. 1959<sup>24)</sup>  
加茂町倉見根知, 6. VII. 1991, W  
加茂町青柳, 11. VII. 1990, W  
勝央町植月中, 2 ♂, 21. VII. 1990, W  
旭町里, 19. VI. 1990, W ; 28. VII. 1990, W  
津山市内<sup>8)</sup>

津山市黒沢山, 25. VI. 1960<sup>9)</sup>新見市水無山, 8. VII. 1979 ; 14. VII. 1979<sup>21)</sup>

備中町長屋, 1 ♂, 25. VII. 1985, N

成羽町木之村, 1 ♂, 29. VII. 1987, W

川上町弥高山, 15. VII. 1965<sup>17)</sup>高梁市臥牛山, 26. VI. 1989 ; 4. VII. 1989<sup>43)</sup>

加茂川町高富, 21. VI. 1990, W

加茂川町宇甘溪, 31. VII. 1980<sup>31)</sup>

建部町田地子, 15. VI. 1991, W ; 17. VII. 1991, W

佐伯町字生, 13. VI. 1992, W ; 29. VII. 1992, W  
佐伯町田賀<sup>6)</sup>

井原市野上町頂見干手院, 31. VII. 1979<sup>31)</sup>倉敷市浅原, 18. VI. 1975<sup>45)</sup>倉敷市玉島弥高山, 1. VII. 1981<sup>41)</sup>

岡山市真星長沢, 2 ♂, 28. VII. 1987, N · W

邑久町知尾, 1 ♂, 25. VII. 1990, W

ほぼ県下全域に広く分布する。♂♀は触角（♂は鋸歯状、♀は微毛状でほとんど糸状）によった。

81. *S. dines* OBERTHUR ギンモンシャチホコ<sup>7)13)</sup>

川上村鬼女台, 1 ♂, 10. VII. 1991, W

加茂町青柳, 1 ♀, 11. VII. 1990, W

津山市黒沢山, 25. VI. 1960<sup>9)</sup>大佐町大佐山, 29. VI. 1985<sup>11)</sup>新見市水無山, 16. VI. 1979<sup>21)</sup>

成羽町木之村, 1 ♀, 29. VII. 1987, W

高梁市臥牛山, 19. VII. 1988<sup>43)</sup>佐伯町田賀<sup>6)</sup>

吉備高原以北から広く記録があるが、密度はかなり疎である。個体数も多くない。♂♀は触角（♂は鋸歯状、♀は糸状）によった。

82. *Pterostoma sinicum* MOOREオオエグリシャチホコ<sup>7)13)36)</sup>新庄村毛無山, 9. VII. 1980<sup>31)</sup>湯原町田和, 15. VII. 1971<sup>10)</sup>

落合町閑, 1 ♂, 18. VII. 1987, W

加茂町青柳, 11. VII. 1990, W

勝央町植月中, 1 ♂, 21. VII. 1990, W

旭町里, 1 ♂, 28. VII. 1990, W

津山市黒沢山, 25. VI. 1960<sup>9)</sup>

新見市吉川, 1 ♂, 27. VII. 1985, N

新見市水無山, 28. VI. 1979<sup>21)</sup>備中町新成羽川ダム, 1 ♂, 3. IX. 1975, 宇野<sup>28)</sup>

成羽町木之村, 1 ♀, 29. VII. 1987, W

高梁市臥牛山, 12. VI. 1976<sup>43)</sup>

加茂川町高富, 21. VI. 1990, W ; 18. VII. 1990, W

加茂川町宇甘溪, 11. V. 1980 ; 31. VII. 1980<sup>31)</sup>建部町旭川ダム<sup>8)</sup>

建部町田地子, 15. VI. 1991, W ; 17. VII. 1991, W

佐伯町田賀<sup>6)</sup>芳井町日南, 24. VI. 1979<sup>31)</sup>

総社市下三輪, 1 ♂, 22. IV. 1972, W ; 1 ♀, 11. IX. 1974, W

倉敷市浅原, 4. V. 1975 ; 18. VI. 1975<sup>45)</sup>

- 倉敷市鶴形山, 5. V. 1984<sup>5)</sup>  
 倉敷市由加山, 26. IV. 1975<sup>16)</sup>  
 倉敷市児島宇野津, 11. V. 1977<sup>50)</sup>  
 倉敷市児島白尾, 14. VI. 1990<sup>4)</sup>  
 岡山市真星長沢, 1 ♂, 26. VII. 1987, W  
 岡山市稲荷山, 24. IV. 1968; 11. VII. 1968<sup>38)</sup>  
 岡山市神道山, 1 ♂, 1. VIII. 1975, 宇野\*  
 岡山市金甲山, 16. VI. 1968; 28. VI. 1969<sup>3)</sup>  
 邑久町知尾, 25. VII. 1990, W  
 県下全域に広く分布。個体数も少なくない。♂♀は腹端の形状によった。杉(1982)によると、触角(♂♀とも両櫛歯状、♀は枝が短い)によっても区別可能と思われるが、筆者には困難だった。
83. *Rosama cinnamomea* LEECH  
 ギンボシシャチホコ<sup>7)13)30)</sup>  
 上齋原村, 2. VI. 1971<sup>24)</sup>  
 津山市内<sup>5)</sup>  
 新見市井倉, 7. VIII. 1964<sup>20)</sup>  
 県下での記録は少なく、3例のみである。吉備高原以北からは、もう少し記録されてもよいと思う。
84. *R. ornata* (OBERTHUR)  
 トビギンボシシャチホコ<sup>7)13)30)</sup>  
 鏡野町越畠, 1 ♂, 14. VII. 1985, N  
 勝央町植月中, 1 ♀, 21. VII. 1990, W  
 津山市内<sup>5)</sup>  
 新見市水無山, 24. VII. 1979<sup>21)</sup>  
 高梁市木野山駅, 1 ♂, 4. VI. 1987, O  
 高梁市広瀬駅, 1 ♀, 15. VI. 1989, O  
 建部町旭川ダム, 1 ♂, 14. VIII. 1975, 宇野\*  
 建部町田地子, 1 ♂ 1 ♀, 17. VIII. 1991, W  
 佐伯町宇生, 13. VI. 1992, W; 29. VII. 1992, W  
 佐伯町田賀<sup>6)</sup>  
 芳井町日南, 26. VII. 1979<sup>31)</sup>  
 総社市種井, 1 ♀, 4. VI. 1987, O; 1 ♂, 30. VI. 1987, O  
 倉敷市浅原, 18. VI. 1975<sup>45)</sup>  
 倉敷市王島弥高山, 17. VIII. 1980; 27. V. 1981<sup>41)</sup>  
 倉敷市連島宮ノ浦, 29. VIII. 1978<sup>5)</sup>  
 倉敷市蟻蜂山, 24. VI. 1966<sup>46)</sup>  
 岡山市稲荷山, 17. V. 1968; 25. V. 1968; 11. VI. 1968<sup>38)</sup>  
 岡山市西大寺水源地, 9. VII. 1966<sup>31)</sup>  
 邑久町知尾, 2 ♂ 1 ♀, 25. VII. 1990, W  
 県北部に記録密度が薄いが、その他の地域からは瀬戸内沿岸低地帯を含めて広く記録されている。♂♀は腹端の形状によった。杉(1982)によると、触角(♂

♀とも両櫛歯状、♀は枝が短い)での区別も可能なようだが、筆者には困難だった。また、♂の特徴とされる前翅表中央部の白色紋も、やや個体が古くなる(スレる)と明瞭な区別点にならない。

85. *Gonoclostera timoniorum* (BREMER)

クワゴモドキシャチホコ<sup>7)13)30)</sup>

- 川上村上蒜山, 1 ♂, 26. VI. 1976, 那須\*  
 上齋原村, 12. VI. 1970; 2. VII. 1970; 17. VI. 1971<sup>24)</sup>  
 加茂町倉見, 1 ♀, 22. VII. 1985, N  
 津山市内<sup>5)</sup>

西衆倉村若杉, 1 ♂, 20. VI. 1993, W  
 高梁市木野山駅, 1 ♂, 2. VIII. 1987, O  
 総社市種井, 1 ♂, 13. VI. 1987, O

県北の山地部を中心に、吉備高原の一部でも記録されている。岡山県では、あまり多いものではないようである。♂♀は触角(♂♀とも両櫛歯状、♀は枝が非常に短い。写真20が♂、写真21が♀)によった。

86. *Micromelalopha troglodyta* (GRAESER)

ヒナシャチホコ<sup>7)13)</sup>

- 川上村上蒜山, 1 ♀, 26. VI. 1976, 那須\*  
 新庄村毛無山, 9. VIII. 1980<sup>31)</sup>  
 上齋原村, 14. VI. 1971<sup>24)</sup>  
 勝央町植月中, 1 ♂ 1 ♀, 21. VII. 1990, W  
 旭町里, 2 ♂, 28. VII. 1990, W  
 津山市黒沢山, 25. VI. 1960<sup>9)</sup>  
 津山市小田中<sup>5)</sup>  
 賀陽町大岩, 5. IX. 1992, W  
 加茂川町高富, 1 ♂, 18. VII. 1990, W  
 加茂川町宇甘溪, 31. VII. 1980<sup>31)</sup>  
 建部町田地子, 2 ♂ 1 ♀, 17. VIII. 1991, W  
 総社市種井, 1 ♂, 13. VI. 1987, O  
 倉敷市古水江, 9. VIII. 1982<sup>42)</sup>  
 倉敷市玉島弥高山, 13. VII. 1980; 27. V. 1981<sup>41)</sup>  
 倉敷市粒江七ツ池, 2. VI. 1979<sup>40)</sup>  
 倉敷市児島宇野津, 21. V. 1977; 8. VII. 1977<sup>50)</sup>  
 邑久町知尾, 1 ♂, 25. VII. 1990, W

県西部に記録が見当らないが、中~東部にかけては広く分布している。♂♀は触角によったが、ほぼ前種と同様である。

87. *Glaphisia norea* (FABRICIUS)

コフタオビシャチホコ<sup>7)13)</sup>

- 川上村上蒜山, 1 ♂, 26. VI. 1976, 那須\*  
 川上村鬼女台, 1 ♂, 10. VIII. 1991, W  
 川上村皆ヶ山, 1 ♂, 7. VIII. 1988, O; 1 ♀, 18. VIII. 1995, O

- 八束村上長田, 24. VII. 1967; 22. VIII. 1970<sup>⑩</sup>  
 八束村塩釜, 12. VII. 1971<sup>⑩</sup>  
 勝山町荒田, 1 ♂, 5. VIII. 1989, W  
 加茂町倉見根知, 1 ♀, 6. VII. 1991, W  
 加茂町青柳, 1 ♂, 11. VIII. 1990, W  
 旭町里, 1 ♂, 19. VI. 1990, W  
 津山市大谷<sup>⑪</sup>  
 新見市水無山, 21. VII. 1979<sup>⑫</sup>  
 吉備高原北部より北に広く分布しているが、個体数は少ない。♂♀は前種とほぼ同様である。  
 88. *Closteria anachoreta* (DENIS & SCHIFFERMULLER)  
 ツマアカシャチホコ<sup>7)13)30)</sup>  
 八束村中福田<sup>⑬</sup>  
 八束村上長田, 22. VIII. 1970; 13. VIII. 1971<sup>⑩</sup>  
 新庄村毛無山, 9. VIII. 1980<sup>⑭</sup>  
 上齋原村, 12. VI. 1971; 3. IX. 1971<sup>⑮</sup>  
 久米南町坂元仏教寺, 23. IX. 1979<sup>⑯</sup>  
 津山市内<sup>⑰</sup>  
 新見市水無山, 14. VIII. 1979<sup>⑱</sup>  
 西粟倉村若杉, 1 ♀, 20. VI. 1993, W  
 加茂川町高富, 1 ♂, 18. VIII. 1990, W  
 加茂川町宇甘溪, 31. VIII. 1980<sup>⑲</sup>  
 高梁市臥牛山, 4. V. 1989; 4. IX. 1989<sup>⑳</sup>  
 総社市下三輪, 1 ♂, 3. V. 1975, W  
 吉永町滝谷, 14. IX. 1980<sup>㉑</sup>  
 倉敷市古水江, 21. VIII. 1981<sup>㉒</sup>  
 岡山市稻荷山, 10. VIII. 1968<sup>㉓</sup>  
 岡山市西大寺水源地, 3. IX. 1965<sup>㉔</sup>  
 岡山市西大寺山南中, 1. VI. 1966<sup>㉕</sup>  
 記録の密度はあまり高くないものの、県下全域から確認されている。♂♀は触角（♂♀とも両櫛歯状、♀は枝が短い）及び♂尾端の毛束が二叉することによった。  
 89. *C. anastomosis* (LINNAEUS) セグロシャチホコ<sup>7)13)</sup>  
 川上村鬼女台, 1 ♀, 10. VIII. 1991, W  
 八束村塩釜, 12. VII. 1971<sup>⑩</sup>  
 久米南町坂元仏教寺, 23. IX. 1979<sup>㉖</sup>  
 津山市内<sup>㉗</sup>  
 新見市水無山, 24. VIII. 1979; 14. IX. 1979; 24. IX. 1979; 13. X. 1979<sup>㉘</sup>  
 新見市正田, 1 ♂, 24. IX. 1965, 植木<sup>\*</sup>  
 建部町旭川ダム, 1 ♀, 14. VIII. 1975, 宇野<sup>\*</sup>  
 建部町田地子, 2 ♀, 17. VIII. 1991, W  
 佐伯町宇生, 13. VI. 1992, W; 29. VII. 1992, W; 3. X. 1992, W  
 佐伯町田賀<sup>㉙</sup>

- 総社市日羽, 2 ♀, 20. VIII. 1987, O; 1 ♀, 4. X. 1987, O; 1 ♀, 14. VIII. 1988, O  
 倉敷市浅原, 10. VII. 1975<sup>㉚</sup>  
 倉敷市三田, 31. VII. 1975<sup>㉚</sup>  
 倉敷市古水江, 21. VIII. 1981; 9. VIII. 1982<sup>㉛</sup>  
 倉敷市玉島弥高山, 17. VIII. 1980; 1. VII. 1981<sup>㉜</sup>  
 倉敷市蟻峰山, 30. VI. 1968<sup>㉖</sup>  
 倉敷市児島宇野津, 2. VII. 1977; 8. VII. 1977<sup>㉖</sup>  
 倉敷市児島赤崎, 2. X. 1978<sup>㉖</sup>  
 倉敷市下津井城山, 13. VII. 1965; 11. VIII. 1965<sup>㉖</sup>  
 岡山市真星長沢, 2 ♀, 26. VIII. 1987, W  
 岡山市稻荷山, 25. V. 1968; 10. VIII. 1968; 22. VIII. 1968<sup>㉖</sup>  
 岡山市西大寺水源地, 8. X. 1965; 25. V. 1969<sup>㉖</sup>  
 県北東部及び西部での記録が少なく、中南部から吉備高原東部にかけての記録密度が高いが、基本的には県下全域に産するものと思われる。♂♀は前種と同様である。

### III おわりに

以上、文献に発表された記録に筆者らの記録を合わせて、岡山県のシャチホコガ科の蛾89種について報告した。このほかに、杉(1982)にはホシナカグロモクメシャチホコ (*Furcula bicuspis*) が、冒頭この報告では採用しないことを明示した佐藤(1982)にはシロスジシャチホコ (*Nerice davidi*) 及びウチキシャチホコ (*Notodonta dembouskii*) が岡山県に産することとされているが、いずれも筆者の知る限りでは根拠不明と考えられるので、ここでは取り上げていない。

また、岡山県(1930)の記録のうち、モクメガ (*Dicranura vinula*) をモクメシャチホコ (*Cerura felina*) として採用し、モクメシャチホコ (*Spatialia plusiotis*) は採用せず、キシャチホコ (*Pydna pallida*) は和名・学名が一致しないので当面除外し、ミツボシシャチホコ (*Drymonia trimacula*) 及びチョウセンシモフリシャチホコ (*Quadricalcarifera coreana*) は現行の種名が分からなかったので、これも除外している。

リスト全体を概観してみると、記録の蓄積された種もある程度見られるものの、記録地点が少ないと分布像がはっきりしない種が多いように思われる。したがって、この報告を基礎として、新たな知見がますます集積され、それぞれの種の分布の全貌が明らかになることを期待するとともに、生態等に関する調査についても新たな進展があることを期待したい。

### 参考文献

- 1) 赤枝一弘, 1964. 県下で採集した蛾. すずむし,

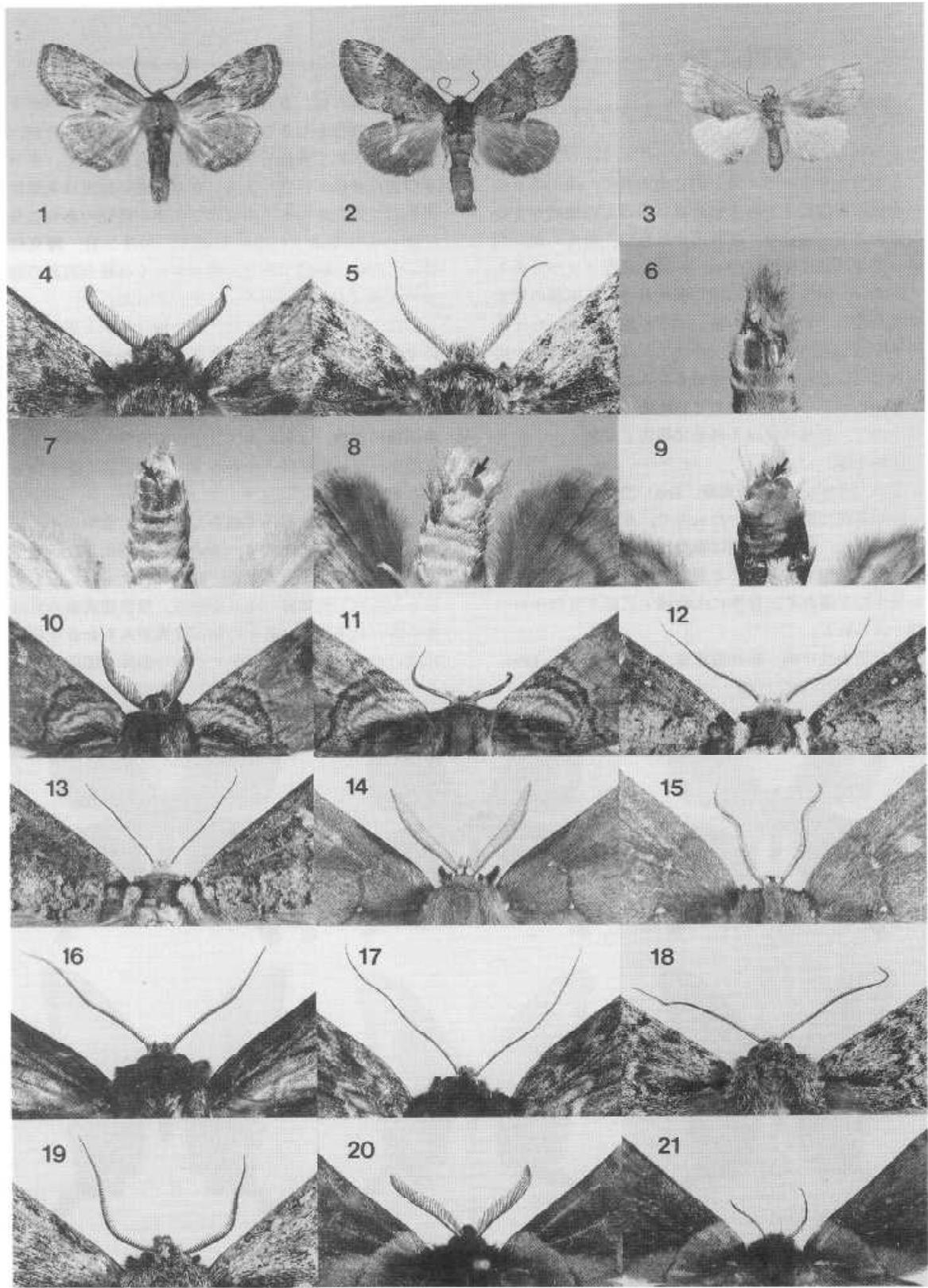
- 14 (2) : 3-4.
- 2) 赤枝一弘, 1965. 阿哲郡大佐町布瀬でナカスジ  
シャチホコ. すずむし, 15 (3) : 9.
- 3) 赤枝一弘, 1970. 岡山市の蛾類目録Ⅱ. すずむし,  
20 (1) : 12-21.
- 4) 青野孝昭, 1991. 由加山系南東部地域の昆虫〔鱗  
翅目・甲虫目〕. 倉敷市由加山系の自然—南東部地  
域(特にC地区)ー, pp.121-130. 倉敷の自然を  
まもる会, 倉敷.
- 5) 青野孝昭・奥島雄一編, 1994. 倉敷市生物目録  
<昆虫類>. 倉敷市生物目録, pp. 93-233. 倉敷  
市立自然史博物館, 倉敷.
- 6) 伊藤國彦, 1996. 岡山県自然保護センターの蛾類.  
岡山県自然保護センター研究報告別巻第1号, pp.  
35-44. 岡山県自然保護センター, 佐伯.
- 7) 伊藤國彦・植木精二, 1990. 岡山県の蛾類. 岡山  
県立短期大学研究紀要, 33 (2) : 193-218.
- 8) 片山豊八, 1959. 美作産蝶蛾目録. 岡山と昆虫,  
pp. 1-60. 日本昆虫学会第19回大会後援会事務局,  
岡山.
- 9) 片山豊八, 1960. 黒沢山蛾類一覧. 美作の自然,  
(6) : 7-13.
- 10) 桂孝次郎ほか, 1973. 蒜山(岡山県)の昆虫類.  
蒜山の生物調査報告, pp.109-173, 追手門学院大  
学生物研究会, 大阪.
- 11) 倉敷昆虫同好会, 1986. 大佐町大佐山調査会にお  
ける採集品目録. すずむし, (121) : 32-34.
- 12) 倉敷昆虫同好会, 1990. 1986, 1987年度の調査会  
における採集品目録. すずむし, (124) : 19-23.
- 13) 倉敷昆虫館, 1978. 岡山県の昆虫—岡山県昆虫生  
息調査報告書ー. 146pp. 倉敷昆虫館.
- 14) 植木精二, 1961. 都窪郡福田村産蛾類目録. す  
ずむし, 11 (1) : 1-3.
- 15) 植木精二, 1964. 方谷・井倉間蛾類採集品目録.  
すずむし, 14 (2) : 2.
- 16) 植木精二, 1965a. 1964年同定会の蛾について.  
すずむし, 14 (3) : 7.
- 17) 植木精二, 1965b. 1965年同定会の蛾について.  
すずむし, 15 (2) : 1-3.
- 18) 植木精二, 1966. 岡山県未記録の蛾. すずむし,  
(100) : 46-59.
- 19) 植木精二, 1971. 近藤光宏氏採集品目録. すずむ  
し, 20 (2) : 1-6.
- 20) 植木精二, 1972. 倉敷昆虫館新展示蛾類目録 I.  
すずむし, (109) : 31-40.
- 21) 植木精二, 1979. 水無山国有林の蛾. すずむし,  
(116) : 1-37.
- 22) 道信 順, 1961. 黒沢山「蛾類一覧」に続いて.  
美作の自然, (7) : 36-38.
- 23) 道信 順, 1966. 岡山県北部における蛾類分布資  
料. すずむし, (100) : 60-66.
- 24) 道信 順, 1977. 苫田郡上斎原村の蛾. すずむし,  
(114) : 21-42.
- 25) 中臣謙太郎, 1981. シャチホコガ科の寄主植物.  
昆虫と自然, 16 (12) : 8-13.
- 26) 中臣謙太郎, 1987. 蛾類幼虫の新知見. 昆虫と自  
然, 22 (1) : 2-5.
- 27) 中臣謙太郎, 1993. 樹と生きる虫たち. 280pp.  
誠文堂新光社, 東京.
- 28) 那須(フルネームなし), 1984a. (題名なし). み  
ちしるべ, (4) : 13.
- 29) 那須(フルネームなし), 1984b. 夜間採集とヤ  
ミ汁の会. みちしるべ, (4) : 15.
- 30) 岡山県, 1930. 岡山県内生物目録. 岡山県, 岡山.
- 31) 岡山県, 1982. 自然保護基礎調査報告書, 238pp.  
岡山県環境保健部自然保護課, 岡山.
- 32) 岡山県, 1983. 自然保護基礎調査報告書(岡山県  
立森林公園), 94pp. 岡山県環境保健部自然保護課,  
岡山.
- 33) 佐藤清明, 1982. 岡山県産昆虫類目録—鱗翅類ー.  
清心中・高紀要, (7) : 1-31.
- 34) 杉繁郎, 1982. シャチホコガ科. 井上寛ほか.  
日本産蛾類大図鑑 1 : 604-628, 2 : 322-330,  
pls137-146, 229.
- 35) 杉繁郎編, 1994. 日本産蛾類大図鑑以後の追加  
種と学名の変更, 108pp. 日本蛾類学会, 東京.
- 36) 杉繁郎編, 1995. 日本産蛾類大図鑑以後に公表  
された日本産蛾類の追加種と学名の変更. 追録 1 及  
び索引, 32pp. 日本蛾類学会, 東京.
- 37) 杉繁郎編, 1996. 日本産蛾類大図鑑以後に公表  
された日本産蛾類の追加種と学名の変更. 追録 2,  
20pp. 日本蛾類学会, 東京.
- 38) 浮田美勝・植木精二, 1972. 稲荷山の蛾. すずむ  
し, (109) : 15-30.
- 39) 宇野弘之, 1980. 竜王山山系の蛾. 倉敷の自然  
王山山系, pp.62-81. 倉敷市衛生局環境部, 倉敷.
- 40) 宇野弘之, 1981. 種松山山系の蛾. 倉敷の自然  
松山山系, pp.84-99. 倉敷市衛生局環境部, 倉敷.
- 41) 宇野弘之, 1982. 弥高山山系の蛾. 倉敷の自然  
弥高山山系, pp.95-120. 倉敷市衛生局環境部, 倉敷.
- 42) 宇野弘之, 1983. 高梁川河川敷の蛾. 倉敷の自然  
—高梁川河川敷ー, pp.59-75. 倉敷市衛生局環境

- 部、倉敷。
- 43) 宇野弘之, 1991. 鳞翅目(蛾類)採集目録. 高梁市臥牛山昆虫目録, pp.51-100. 高梁市教育委員会・「臥牛山の猿生息地」調査団.
- 44) 宇野弘之・楳本精二, 1975. 岡山県未記録の蛾. すずむし, (112) : 18-23.
- 45) 宇野弘之・楳本精二, 1976a. 福山山系の蛾. 倉敷の自然福山山系, 林熊野神社山系, 下津井城山, pp.81-101. 倉敷市企画部, 倉敷.
- 46) 宇野弘之・楳本精二, 1976b. 蟻蜂山山系の蛾. 倉敷の自然福山山系, 林熊野神社山系, 下津井城山, pp.142-152. 倉敷市企画部, 倉敷.
- 47) 宇野弘之・楳本精二, 1976c. 下津井城山の蛾.
- 倉敷の自然福山山系, 林熊野神社山系, 下津井城山, pp.166-172. 倉敷市企画部, 倉敷.
- 48) 宇野弘之・楳本精二, 1976d. 由加山の蛾. 倉敷の自然福山山系, 林熊野神社山系, 下津井城山, pp.210-220. 倉敷市企画部, 倉敷.
- 49) 宇野弘之・楳本精二, 1976e. 話題の蛾の岡山県内記録について. すずむし, (113) : 15-17.
- 50) 宇野弘之・楳本精二, 1978. 鴨ヶ辻山系の鱗翅目蛾亞目. 倉敷の自然鴨ヶ辻山系, pp.59-70. 倉敷市衛生局環境部, 倉敷.
- 51) 渡辺和夫, 1972. 岡山県で本州未発見のシノノメシャチホコを採集. 月刊むし, (11) : 38.

#### 写真説明

- 1 スジモクメシャチホコ (西粟倉村若杉産)
- 2 タカムクシャチホコ (中和村山乘山産)
- 3 クワヤマエグリシャチホコ (川上村上蒜山産)
- 4 ブライヤアオシャチホコ♂触角 (邑久町知尾産)
- 5 タ ♀触角 (勝山町荒田産)
- 6 アオシャチホコ♂第8腹板尾縁 (加茂町青柳産)
- 7 オオアオシャチホコ♂第8腹板尾縁 (成羽町木之村産)
- 8 バイバラシロシャチホコ♂第8腹板尾縁 (成羽町木之村産)
- 9 シロシャチホコ♂第8腹板尾縁 (加茂町倉見産)
- 10 ニッコウシャチホコ♂触角 (中和村山乘山産)
- 11 タ ♀触角 (芳井町石草産)
- 12 ムクツマキシャチホコ♂触角 (毛東の写りがよく

- ない; 邑久町知尾産)
  - 13 タ ♀触角 (佐伯町宇生産)
  - 14 アカシャチホコ♂触角 (川上村鬼女台産)
  - 15 タ ♀触角 (加茂町倉見産)
  - 16 アカネシャチホコ♂触角 (毛東の写りがよくない; 成羽町木之村産)
  - 17 タ ♀触角 (川上村鬼女台産)
  - 18 スズキシャチホコ♂触角 (賀陽町大岩産)
  - 19 ウグイスシャチホコ♂触角 (加茂町倉見産)
  - 20 クワゴモドキシャチホコ♂触角 (西粟倉村若杉産)
  - 21 タ ♀触角 (加茂町倉見産)
- \*〒719-11 総社市三輪203



## おとしふみ

## 庭で発生したミヤマカラスアゲハ

中 村 具 見

ミヤマカラスアゲハは一般に山地性で、岡山県下では北部の中国山地から吉備高原にかけての地域が主な生息地となっており、総社市をはじめ、県南の瀬戸内沿岸地域の特に平野部では、一般に稀なチョウである。

筆者は、かつて自宅の庭に偶然飛来した本種の夏型を得たことがあり、その後、アゲハ類の食草としてキハダを植えていたところ、ナミアゲハは毎年発生を繰り返しているものの、本種の姿をみるとことはなかった。

ところが、一昨年、初めて発生を確認することができたので、以前の記録と併せて報告しておく。

## 〔採集記録〕

1♂(夏型)、総社市真壁、Sep. 23, 1980

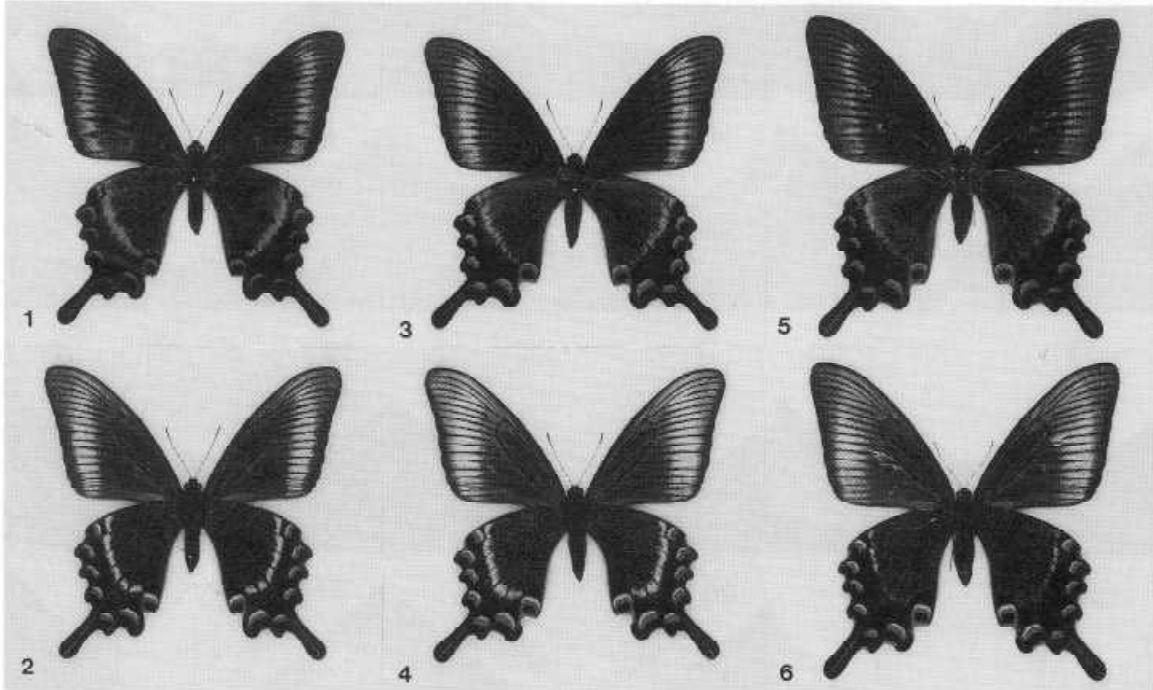
庭の草花で吸蜜していたもので、かなり汚損した個体であった。本種の夏型は春型に比べると一般にかなり大型で飛翔力も強いことが知られており、この個体も発生地を離れて、夏季に広範囲で活動する個体の一例とみられる。

終令幼虫及び蛹、総社市真壁、Oct. 2~8, 1994

家人によれば、9月中旬頃に大型の黒いアゲハがキハダの樹冠部をしきりに訪れていたと聞いていたが、特に気にとめず放置していた。しばらくたって、キハダの葉に食痕が目立つようになり、逆に幼虫は次第に成長して地上からもその大ぶりの姿が樹冠のあちこちに認められるようになったので、10月2日、脚立に登って間近に観察すると、終令もしくは終令間近の幼虫の大部分が本種であることが分かった。

ほぼ1週間後の10月8日、既に蛹化時期と思われたのでキハダの周辺を調べたところ、キハダの木そのものからは葉裏で蛹を1個体発見しただけで、隣接するウバメガシの小枝や物置のひさし、軒下の植木鉢の観葉植物の葉裏、さらにエアコンの室外機の内側など、周囲2~3mの範囲内の各所で、計27個体の蛹を得ることができた。

これらの個体は室内で越冬したのち、翌年の4月17日から5月2日にかけて、6♂21♀が羽化した。春型の個体としてはやや大型で、同一の母チョウに由来するとみられる個体群でありながら、前後翅表面の青緑色の帶の発達程度に若干の個体変異がみられる点は興味深いので、参考までにいくつかの個体を図示してお



## 写真説明

1. ♂表面, 4/22羽化 ; 2. ♂同裏面, 4/22羽化 ; 3. ♀表面, 4/26羽化 ; 4. ♀同裏面, 4/26羽化 ; 5. ♀表面, 4/30羽化 ; 6. ♀同裏面, 4/30羽化

く。

なお、筆者の自宅はJR総社駅の西方約400mに位置する市街化区域内の住宅地であり、もっとも近い総社市近郊の低山地でも数キロ以上は離れている。しかも、この付近一帯の植生はアカマツ林が主体で、山麓部にアベマキやアラカシ等の二次林がある程度であり、キハダやカラスザンショウ等、本種の食樹となる樹木はほとんど認められない。

(〒719-11 総社市真壁1048)

### 倉敷市内でウラミスジシジミを採集

土畠重人

ウラミスジシジミ（ダイセンシジミ）は、県下では最近になって、玉野市（片岡、1994；三宅、1995）や倉敷市（津田、1996）など、平野部での発見が相次いだが、筆者も、倉敷市の一角で本種を確認することができたので報告する。

1♂、倉敷市種松山、22. VI. 1996、筆者採集・保管

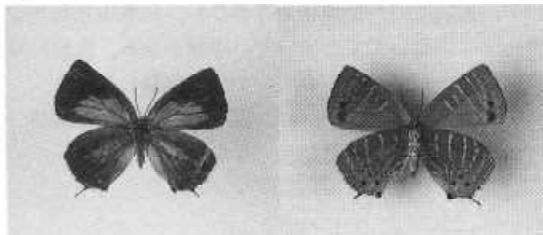


写真1 採集個体 左表面、右裏面

山裾に樹高10m弱のコナラが數本まとまって生えており、午後6時頃、その樹冠部をミズイロオナガシジミとともに活発に飛翔中の個体を探集した。恐らく当地で発生しているものと考えられる。

同様の環境は、種松山をはじめ、同市内一帯に広く見られるものなので、調査によっては県南部でのより広い分布が明らかになるものと思われる。

#### 引用文献

- 片岡一、1994. 児島半島にてウラミスジシジミを探集. みちしるべ, (17) : 93-94.  
 三宅誠治、1995. 児島半島のウラミスジシジミのその後. みちしるべ, (20) : 140-141.  
 津田和良、1996. 倉敷市街地にてウラミスジシジミを探集. すずむし, (129) : 2.

(〒711 倉敷市児島通生236-3)

### 瀬戸内海沿岸におけるシロヘリハンミョウの記録

土畠重人

シロヘリハンミョウ *Cicindela yuasai* NAKANE は、国内では、従来、本州・四国・九州の太平洋岸、伊豆諸島、対馬、屋久島、琉球などに分布するとされてきたが、奥島（1994）は、既知の分布地から大きく離れた瀬戸内海沿岸の岡山県倉敷市から本種を記録した。

筆者は、1995年、同市内の海岸で本種を探集することができたので、瀬戸内海沿岸における追加記録として報告する。

1♀、倉敷市下津井田之浦、19. VII. 1995、筆者採集・保管

採集地は海岸の岩礁地帯であり、当地付近によく見られる環境である。



#### 引用文献

- 奥島雄一、1994. 瀬戸内地方におけるシロヘリハンミョウの記録. 甲虫ニュース, (108) : 5.

(〒711 倉敷市児島通生236-3)

### キンケトラカミキリの記録

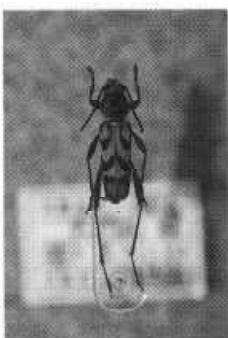
岩出 齊

岡山県下でのキンケトラカミキリ *Clytus auripilis* BATES の記録については、高梁市から脇本（1965）、青野・宇野・重井・脇本（1970）の2例が、新見市から奥島（1996）の1例が報告されている。

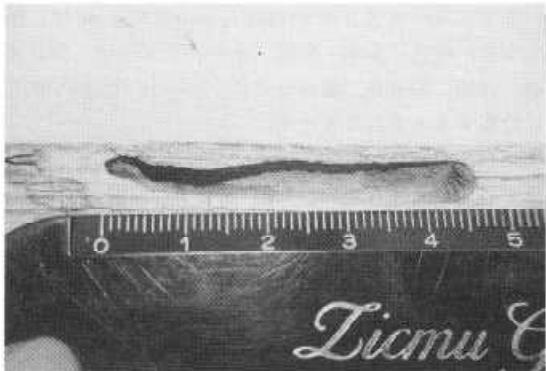
筆者は、川上町穴門山において採集した材から本種を探集したので、分布を知る上での参考になればと思い、以下に報告しておく。

川上郡川上町穴門山、8. I. 1995、材採集（筆者）6exs., 25. II. 1995~13. III. 1995、羽脱 1ex., 24. IX. 1995、死体を割り出し

穴門山神社下の沢に落ちていた枯枝を持ち帰り、保存していたところ、2月から3月にかけて羽脱。



また、しばらくたってからの9月に材を割ったところ、1頭を死体で見い出した。下記は、その際得ることのできた食坑道部の写真で、新成虫の死骸（頭部）は、向かって左端にあった。



#### 引用文献

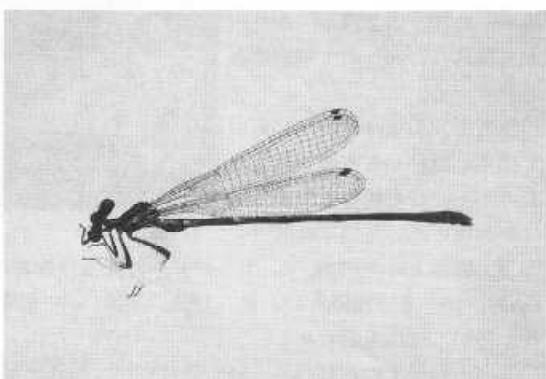
- 青野孝昭・宇野弘之・重井博・脇本浩, 1970. 岡山県のカミキリムシ. すずむし, (105) : 1-42.  
奥島雄一, 1996. キンケトラカミキリの記録. すずむし, (130) : 17-18.  
脇本浩, 1965. カミキリムシ. すずむし, 15 (2) : 9-10.  
(〒942 新潟県上越市福田526-1-31)

#### 旭川水系のグンバイトンボ、初採集記録

澤田 博仁

グンバイトンボの記録は、岡山県下の旭川水系からは報告されていないようであるが、筆者は、同水系の御津郡建部町において本種を採集しているので報告しておく。

1♂, 御津郡建部町田地子, 3. VII. 1992, 筆者採集・保管



建部町加茂山山系の中に位置する小さな池で、捕虫網を振ってヤンマ属を追っていたところ、池端の松の木の下方の葉に止まっている本種を発見し、ネットに収めたものである。

もちろん、最初は本種とは思わず、モノサシトンボ程度にしか考えていなかったのであるが、手に取って初めて本種と確認した訳である。

末筆ながら、ご教示いただいた故重井博先生と小野洋先生の両氏に感謝すると共に、重井先生のご冥福をお祈りいたします。

(〒700 岡山市厚生町2-1-8-1001)

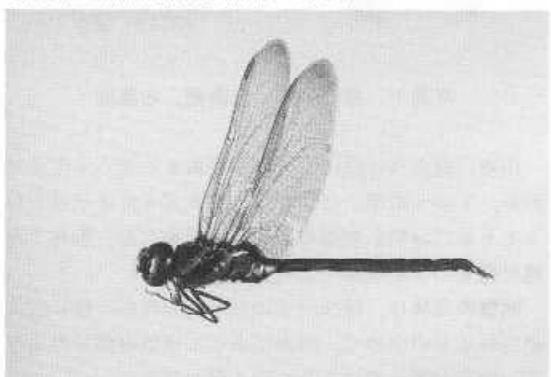
#### マルタンヤンマの記録

奥島 雄一

マルタンヤンマ *Anaciaeschna martini* (SELYS) は、岡山県下では採集例の少ないヤンマ科のトンボとして知られてきたが、最近は生態的知見が増えたためか、ぱつりぱつりと記録されるようになった。

夏に行われた倉敷市立自然史博物館主催の自然観察会で、参加の方が本種を採集され、倉敷市立自然史博物館に寄贈してくださった。本種の分布、生態の解明に役立つと思われる所以、ここに記録しておく。

1♂, 倉敷市由加山, 11. VIII. 1996, 稲若都採集, 倉敷市立自然史博物館保管 (写真)



貴重な標本を快く倉敷市立自然史博物館に寄贈してくださった稻若都氏にお礼申し上げる。

ところで、マルタンヤンマと言えば、筆者が初めて重井博先生のお名前を知ったのは、本種が岡山県下では47年ぶりに倉敷市玉島柏島で山崎晃君によって採集されたときである。重井先生ご本人による本誌「すずむし」への発表(重井, 1987)をはじめ、マスコミでも大きく取り上げられたことを覚えていた。あの出来事が筆者を本会へ誘った要因のひとつであったろう。

トンボを通してこれまでいろいろとご指導くださっ

た重井博先生にお礼申し上げるとともに、ご冥福をお祈りする。

#### 引用文献

重井博, 1987. マルタンヤンマ *Anaciaeschna martini* SELYS - 倉敷市玉島の柏島で小学生が採集一. すずむし, (122) : 35.  
(〒710 倉敷市中央2-6-1, 倉敷市立自然史博物館)

#### 樹上で一冬を越したクマゼミの死体 一山本隆朗氏が発見ー

小 野 洋

セミの鳴くシーズンであれば、死んで間もないセミが街路面にころがっていたりするのを見かけることもあるが、かなり時間の経過したと思われるセミの死体を見ることは少ない。一般的に、菌の寄生を受けたりクモの巣にかかったりしたもの除去と、野外でセミの死体を見つけることは、極めて稀とされている。

ところが、倉敷昆虫館にほど近い所にお住まいの山本隆朗氏（岡山県水泳連盟副会長、元岡山県立倉敷工業高校教諭）から「クマゼミの死体、しかもかなりきれいなままの、ほぼ完全なものを樹上で発見し、撮影した」とのご連絡を1996年3月20日にいただき、翌21日には2枚の貴重な写真（撮影距離の異なるもの—写真1, 2）を昆虫館へご持参いただいた。

写真で見ると、中胸背の盾板にある斜めの溝より内側の部分が中央部を少し残しておおむね逆三角形に褐色化しているのが目立つぐらいで、あとはいわば普通の乾燥標本と変わらず、つやもよく残っている。

山本氏によると、1996年3月3日に倉敷市昭和二丁目にある遊園地で、3本あるアラカシの一つで発見されたとのことであり、その時のことを『3月の蟬』という題でメモとして残されており、内容を紹介すると、「……、まばらな小枝一本に、くま蟬が一匹止まっている、しかも夏と全く同じかっこうで。びっくりして思わず目を凝らして見たが、やはりくま蟬だ。……。生きているわけはないし、人がつけるにはかなり高い梯子か脚立が必要な場所だし、蟬が止まったまま死んだのか、冬の間風の強い日もあっただろうし、落ちしないで……、こんな事があるのか、不思議に思えた。……。」というものである。その時の状態と、本当にびっくりされた様子がよく伝わってくる。地上約4メートルぐらいの高さの所で、小枝をかかえるように、あるいは足をからませるようにして固定された状態であったようである。写真はその後、3月8日に

脚立の上から撮影されたものである。

発生期の最後に当たる9月上旬頃のものであったとしても、冬季をはさんで少なくとも6ヶ月が経過していることになる。その間、捕食性天敵である小鳥、カマキリ、スズメバチ等とは関係がなかったようだし、セミカビやイサリア菌に寄生された跡もないよう見える。仮に、セミヤドリガヤヒグラシヤドリバエ等のようなものに寄生されたのであれば、徐々に衰弱して死んだということも考えられるが、その場合でも、普通は人の目に触れる前にアリが分解し、処分してしまうことが多いはずである。

非常に珍しい事例と思われるので、倉敷昆虫館に標本として小枝ごといたたくつもりでいたが、そのままになってしまい、採集できず、残念に思っている。

貴重な資料をご持参、提供いただいた山本隆朗氏に深謝するとともに、同氏のご了承を得て、代わってここに報告させていただく次第である。

#### 参考文献

橋本治二, 1991. セミの生活史. 284pp. esp. pp.271-278. 誠文堂新光社、東京.



写真1 クマゼミ死体遺存状況



写真2 同近接撮影

## -----目 次-----

重井博先生著述目録	2	岡山県から採集した甲虫類の記録	山地 治 50
重井博先生を偲んで	6	岡山県のシャチホコガ	渡辺和夫 51
重井博先生を悼む（先生との思い出の中から）		—おとしぶみー	
		日本初の特異型シオヤトンボ	
重井先生の思いで	7	—河内建氏が岡山市北郊で採集—	
重井先生の思いで	8		
重井先生の思いで	9		
岡山県におけるカワトンボ属			
分布調査結果について	10		
倉敷市立自然史博物館に寄贈されている			
重井博先生収集の岡山県産トンボ類標本			
	40		
岡山県におけるナニワトンボの分布と新産地		庭で発生したミヤマカラスアゲハ	中村具見 74
	45	倉敷市内でウラミスジシジミを採集	上畠重人 75
岡山県におけるルリボシヤンマの分布と新産地		瀬戸内海沿岸におけるシロヘリハンミョウの記録	
	46		
岡山県におけるオオルリボシヤンマの分布と新産地		キンケトラカミキリの記録	岩出 齊 75
	48	旭川水系のゲンバイトンボ、初採集記録	
		澤田博仁 76	
		マルタンヤンマの記録	奥島雄一 76
		樹上で一冬を越したクマゼミの死体	
		山本隆朗氏が発見	小野 洋 77

**医療法人 創和会**

理事長 重井文博

**重井病院****重井医学研究所  
附属病院****重井医学研究所**

〒710 倉敷市幸町2-30

〒701-02 岡山市山田2117

〒701-02 岡山市山田2117

☎ (086) 422-3655

☎ (086) 282-5311

☎ (086) 282-3113

**編集後記**

重井博先生がご逝去されて、早くも一周忌が近づこうとしています。倉敷昆虫同好会創立40周年を記念し、先生の肝入りで着手した岡山県内カワトンボ分布調査結果のレポートが、先生の追悼号に掲載されることになろうとは考えてもみなかったことでした。私たちの同好会が今日あるのは、物心両面で先生の絶大なお支えをいただいてきたからこそと思いますとき、このご芳志にお応えするためにも、会の目的的達成と発展に今後とも努力して参りたいと思います。

カワトンボ分布調査と追悼号の発行に対する皆様方のご協力に、心からお礼を申しあげます。（事務局）

**す す む し 131号**

1997年5月31日発行

発行者 倉敷昆虫同好会（〒710 倉敷市幸町 重井病院8階 倉敷昆虫館内）

Tel. 086(422)3655(内線359) FAX. 086(421)1991

振替口座 01210-2-6927

印刷所 サンコー印刷株（総社市真壁871-2）